

第5次朝霞市障害者プラン及び第5期朝霞市障害福祉計画
策定のための

障害福祉に関するアンケート

【平成29年6月実施】

結果報告書

平成29年8月

朝霞市 福祉部 障害福祉課

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象者	1
3 調査時期及び調査方法	1
4 回収結果	1
5 標本誤差について	2
6 報告書の見方について	4
第2章 アンケート調査結果	5
★ 回答者について	5
問1 回答者	5
1 あなたご自身のことについて	6
問2 性別・年齢	6
問3 居住環境	8
問3-1 同居者	9
問4 将来の居住環境	10
2 あなたの障害の状況について	11
問5 障害者手帳の種類・障害の程度	11
問5-1 身体障害者手帳所持者の主たる障害	15
問6 難病（特定疾患）の認定の有無	15
問7 発達障害の診断の有無	16
問8 高次脳機能障害の診断の有無	16
問9 遷延性意識障害 <small>せんえんせいいしきしょうがい</small> の状態の有無	17
問10 現在の障害の状態になった年齢	18
3 あなたの介助について	19
問11 日常生活の介助の状況	19
問11-1 主な介助者	25
問11-2 主な介助者の性別・年齢	26

4	日中活動や就労について	29
問12	外出時の主な介助者	29
問13	外出で困ること	30
問14	日中の過ごし方	32
問14-1	通園、通学で困ること	34
問14-2	保育園や幼稚園、学校に望むこと	36
問14-3	仕事の形態	38
問14-4	仕事をするうえでの不安や不満	39
問15	就労支援に必要なこと	41
5	生活全般・社会参加について	43
問16	相談相手	43
問17	福祉情報等の入手先	45
問18	現在や今後の生活での不安	47
問19	現在活動していること、今後活動したいこと	49
問20	今後の朝霞市での暮らし	51
6	障害福祉サービス等の利用について	52
問21	障害福祉サービス、地域生活支援事業の利用状況・今後の利用意向	52
7	権利擁護について	82
問22	障害者虐待防止センターの認知度	82
問23	障害者差別解消法の認知度	83
問24	差別や嫌な思いの経験	84
問24-1	差別や嫌な思いをした場所	85
問25	成年後見制度の認知度	86
問26	成年後見制度の利用	87
8	災害時の避難等について	88
問27	災害時の避難	88
問28	災害時の援護者の有無	89
問29	災害時に困ること	90
問30	避難行動要支援者名簿登録制度の登録	92
9	朝霞市のまちづくりについて	93
問31	障害者福祉施策への満足度・今後の重要性	93

第3章 自由記述のまとめ 117

1	経済的な内容について	117
2	道路、施設のバリアフリー、交通機関の充実について	118
3	障害者施設の充実・設備・定員増などに関することについて	118
4	「親亡き後」や「老老介護」、病気・医療に関することについて	119
5	市役所の手続き等に関することについて	119
6	障害福祉サービスの情報提供について	120
7	教育、進路等について	120
8	障害者理解、交流について	121
9	障害福祉サービスについて	121
10	各種障害に関することについて	122
11	就労について	122
12	権利擁護について	123
13	災害時への対応等について	123
14	その他	123

第1章 調査の概要

1 調査の目的

第4次朝霞市障害者プラン・第4期朝霞市障害福祉計画の計画期間が平成30年3月末で終了するため、新たな計画の策定にあたり、朝霞市の障害のある人の実情やニーズ、障害福祉サービスの利用状況や利用意向等を把握し、計画に反映するための基礎資料とするため実施しました。

2 調査対象者

市内にお住まいの障害者手帳所持者を対象とし、障害児世帯が1割程度の対象者となるよう、無作為抽出により実施しました。

調査区分	障害者数	障害児数	合計
身体障害者手帳所持者	640	60	700
療育手帳所持者	152	48	200
精神障害者保健福祉手帳所持者	181	19	200
難病患者見舞金を受給している難病患者	171	29	200
合計	1,144	156	1,300

3 調査時期及び調査方法

- ◆調査時期：平成29年6月12日（月）から6月30日（金）まで
- ◆調査方法：郵送による配布、回収

4 回収結果

調査区分	配布（人）	回収（人）	回収率（％）
障害のある人	1,300	575	44.2
障害のある人の内 0～17歳	156	68	43.6

5 標本誤差について

標本調査とは、ある集団の中から一部の調査対象を選び出して調査を行い、その結果をもとに、元の集団全体の状態を推計するもので、今回の調査はそれにあたります。そのため、回答結果が、集団全体に対しどの程度の精度を持った回答結果であるかを把握しておく必要があり、その精度は標本誤差で算出することができます。

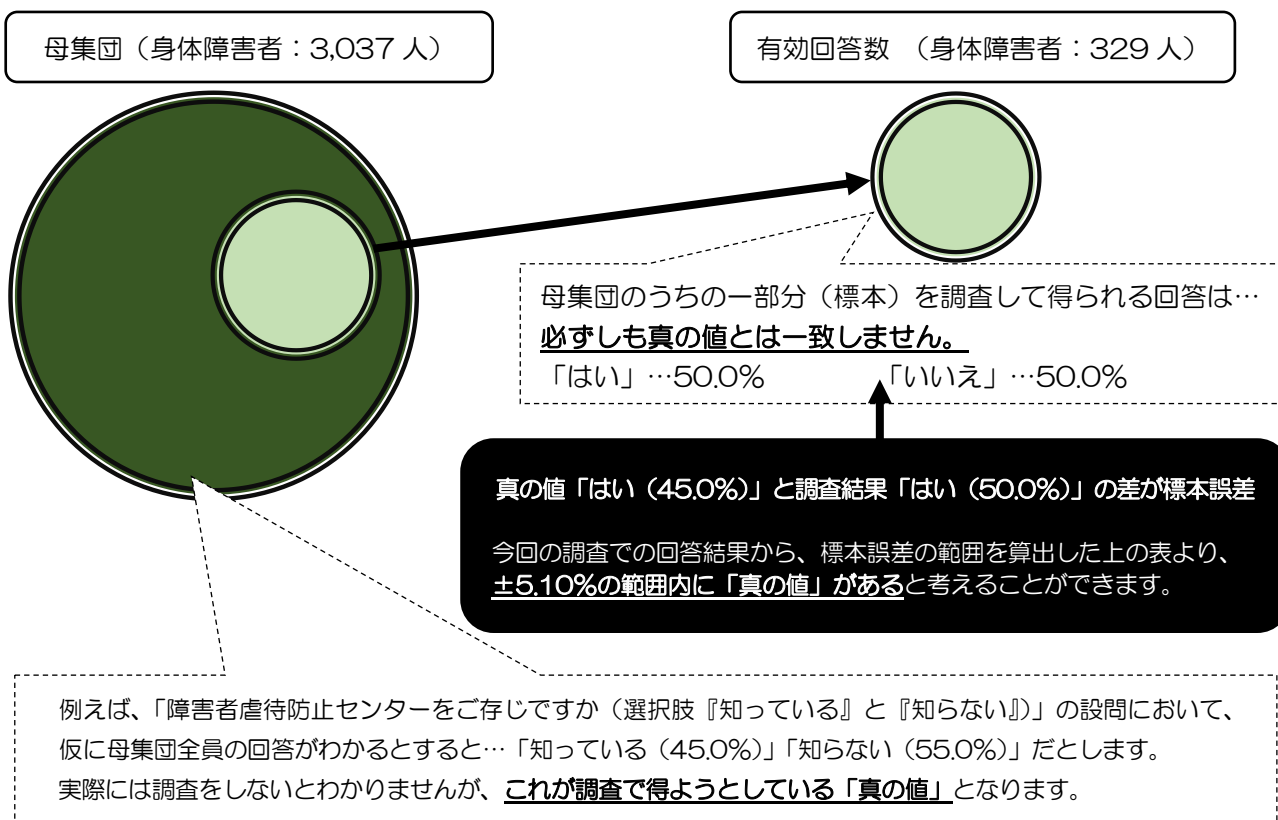
標本誤差とは、ある設問の回答結果（比率）と集団全体の結果との誤差の範囲を示しております。

今回の調査での回答結果から、標本誤差の範囲を算出すると、次の表の通りになります。

調査区分	p：結果の比率					N： 母集団	n： 有効回答数
	50%	40%・ 60%	30%・ 70%	20%・ 80%	10%・ 90%		
①身体障害者	5.10	5.00	4.68	4.08	3.06	3,037	329
②知的障害者	8.27	8.10	7.58	6.61	4.96	660	116
③精神障害者	10.12	9.91	9.27	8.09	6.07	894	85
④難病患者	8.90	8.72	8.16	7.12	5.34	776	105
⑤上記①～④のうち 0～17歳	10.84	10.62	9.94	8.67	6.51	401	68

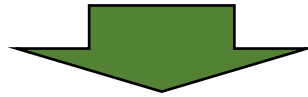
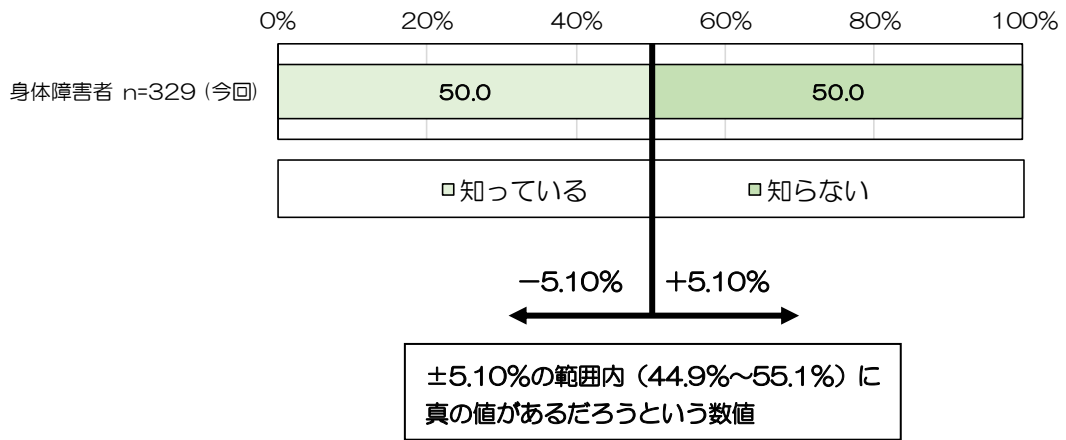
※母集団は、平成29年4月1日現在の数値を採用しています。

【標本調査の考え方】

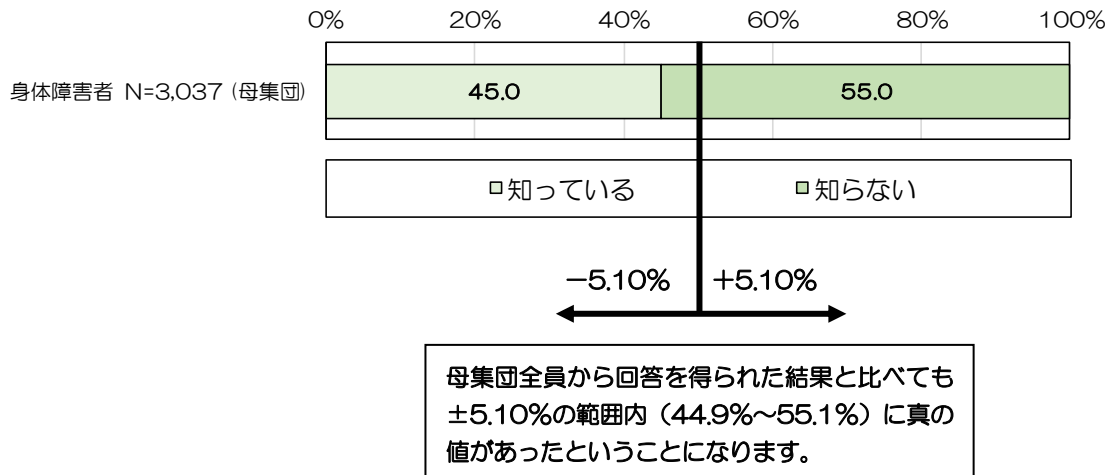


【標本調査の図解】

調査から得られた結果



母集団全員から回答を得られた結果 (真の値)



標本誤差は、調査から得られた結果（構成比）から、最大の誤差の範囲を試算したものとなります。そのため、調査から得られた結果と真の値の誤差が小さい場合もあれば、大きい場合もあるということになります。

6 報告書の見方について

【表記について】

●障害種別の表記について

図表中の区分表記において、身体障害者手帳所持者を「身体」、療育手帳所持者を「知的」、精神障害者保健福祉手帳所持者を「精神」と表記している場合があります。

●「n」について

各設問の「n」(Number of Cases)は、集計対象者総数、集計総回答数または特定の方への設問に対する限定回答者数を表しています。構成比(%)に「n」を乗じると、人数が算出されます。

●構成比「%」について

構成比の表示は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しています。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つを選ぶ方式)であっても、合計値が100%にならない場合があります。

●語句について

「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。調査票の選択肢の語句が長い場合、説明文中においては()内の語句を省略して表現しています。

●その他の回答について

0~17歳の方からのその他の回答については、下線を引いております。

●前回調査・前々回調査との比較について

今回、実施したアンケートの調査結果において、平成26年度に実施した同様のアンケート調査結果と比較している設問においては、図中において「前回」と表記しています。また、平成23年度に実施した同様のアンケート調査結果と比較している設問においては、図中において「前々回」と表記しています。

【集計について】

●障害種別の集計について

手帳を重複して所持する方がいるため、障害種別ごとの人数を合計したものは、アンケート回収数より多くなります。障害種別ごとの構成比は、障害種別ごとの総人数をもとに算出しています。
※0~17歳においても上記と同様のことが言えます。

●複数回答(複数の選択肢から2つ以上を選ぶ方式)の集計について

選択肢ごとの回答数に対して、それぞれの人数や構成比を示しています。その場合は、合計値がアンケート回収数を超え、構成比は合計値をもとに算出しています。

第2章 アンケート調査結果

★ 回答者について

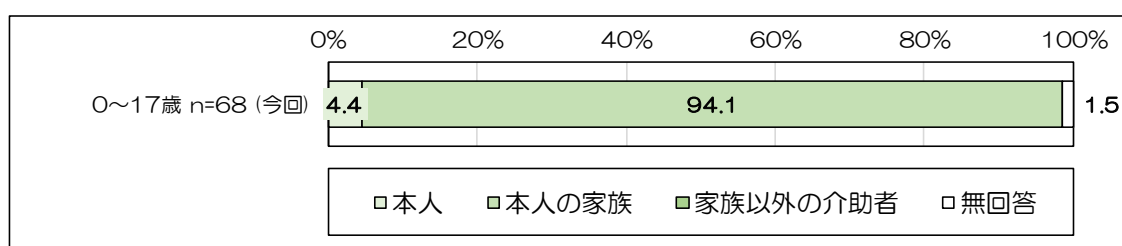
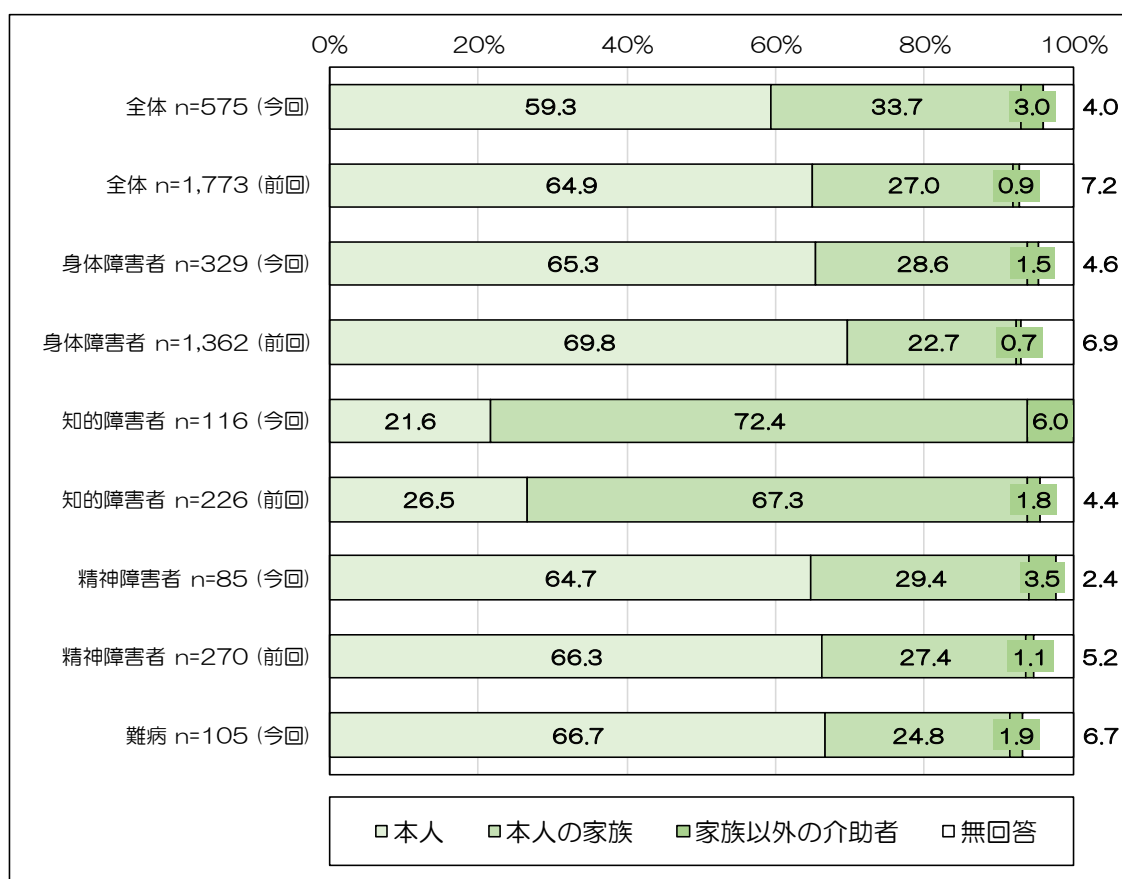
問1 お答えいただくのは、どなたですか。(〇は1つ)

本調査への回答者については、全体では「本人」が59.3%で最も高く、次いで「本人の家族」が33.7%、「家族以外の介助者」が3.0%となっています。

障害種別でみると、知的障害者では「本人の家族」が72.4%と最も高い割合を占めています。

前回調査との比較では、全体では「本人」が5.6ポイント減少し、「本人の家族」が6.7ポイント増加しています。

0～17歳でみると、「本人の家族」が94.1%で最も高く、次いで「本人」が4.4%となっています。



1 あなたご自身のことについて

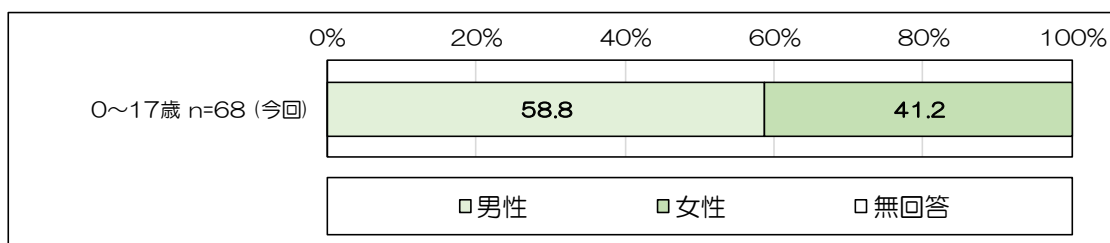
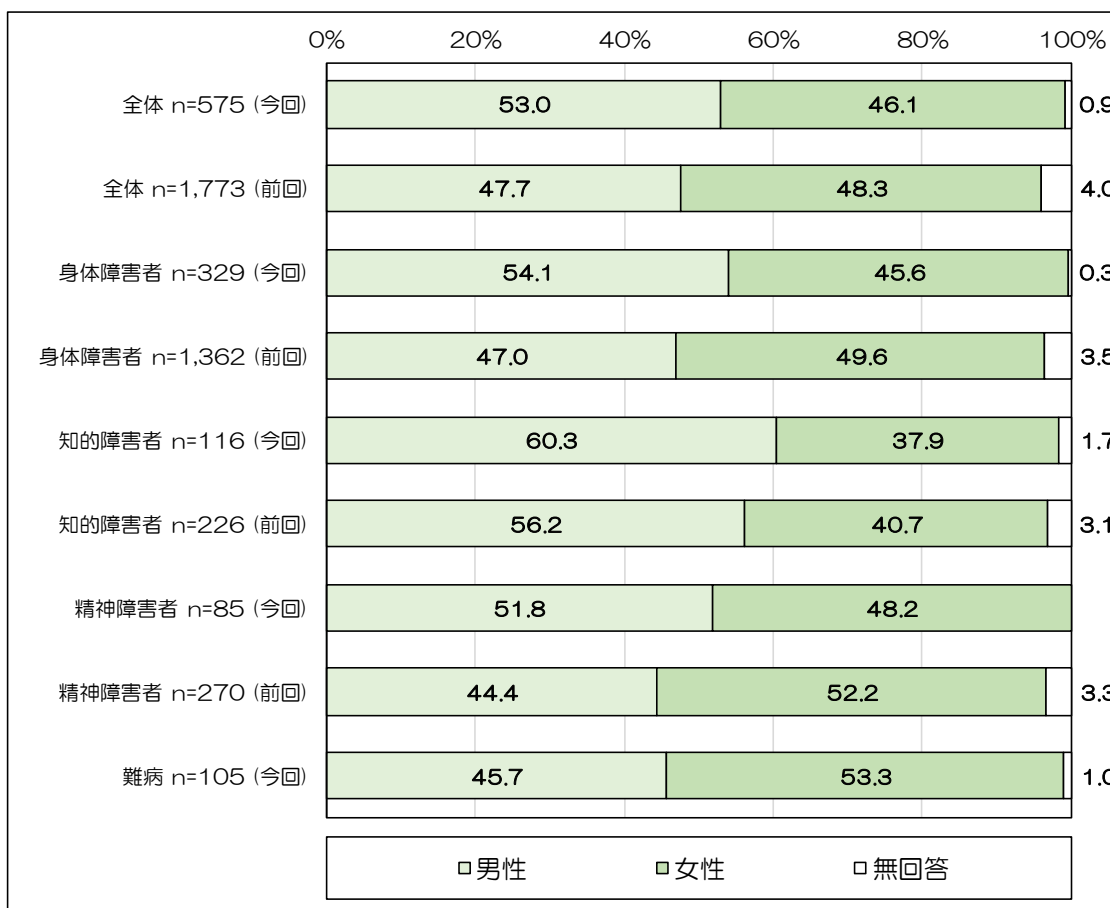
問2 あなたの性別・年齢をお答えください。

◆性別

性別については、全体では「男性」が53.0%、「女性」が46.1%と、「男性」が6.9ポイント上回っています。

障害種別で見ると、身体障害者では「男性」が54.1%、「女性」が45.6%と、「男性」が8.5ポイント上回っています。知的障害者では「男性」が60.3%、「女性」が37.9%と、「男性」が22.4ポイント上回っています。精神障害者では「男性」が51.8%、「女性」が48.2%と、「男性」が3.6ポイント上回っています。難病では「男性」が45.7%、「女性」が53.3%と、「女性」が7.6ポイント上回っています。

0~17歳で見ると、「男性」が58.8%、「女性」が41.2%と、「男性」が17.6ポイント上回っています。

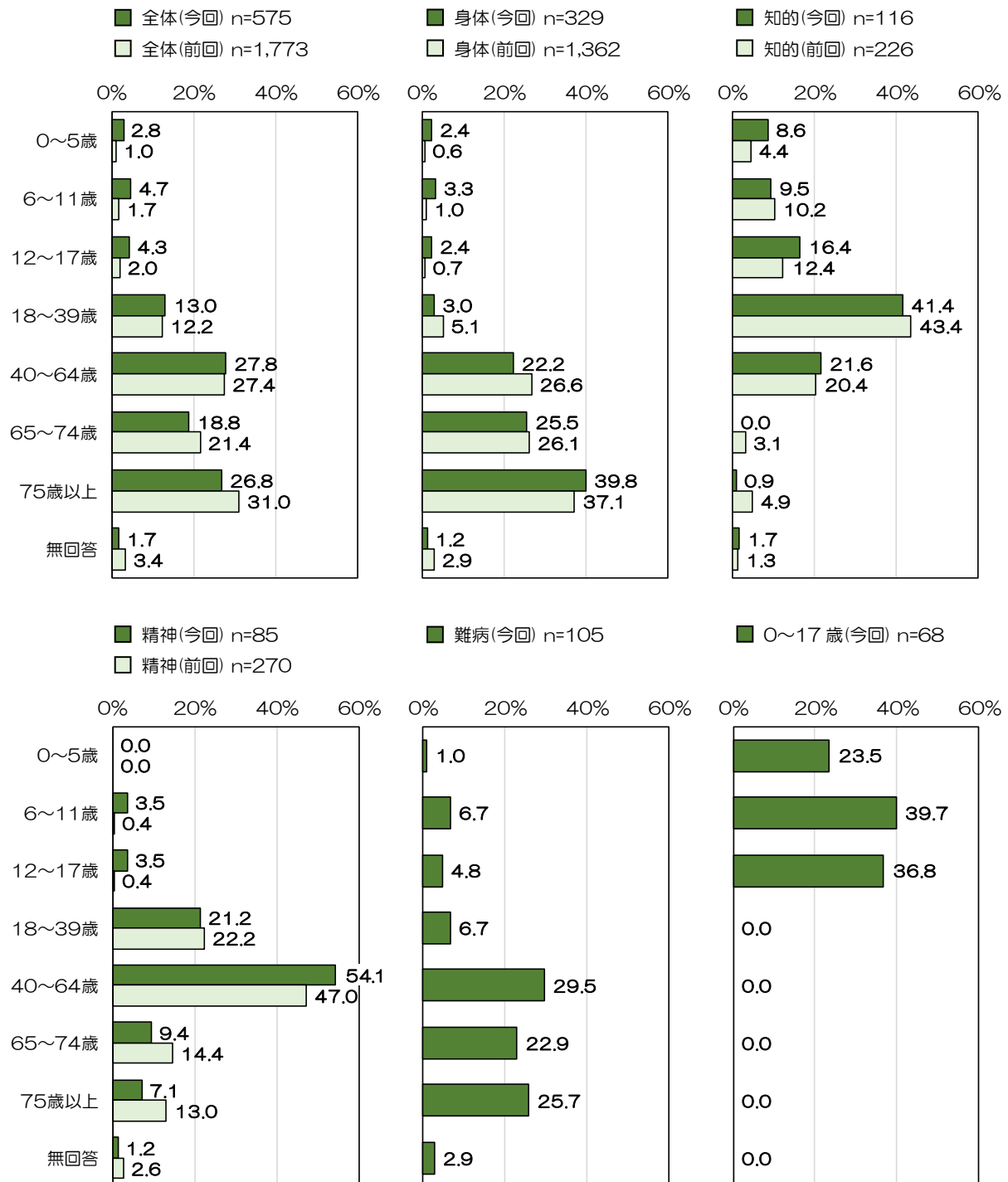


◆年齢

年齢については、全体では「40～64歳」が27.8%で最も高く、次いで「75歳以上」が26.8%、「65～74歳」が18.8%となっています。

障害種別で最も高い割合を占めている年齢は、身体障害者では「75歳以上」が39.8%、知的障害者では「18～39歳」が41.4%、精神障害者では「40～64歳」が54.1%、難病では「40～64歳」が29.5%となっています。

0～17歳でみると、「6～11歳」が39.7%で最も高く、次いで「12～17歳」が36.8%となっています。

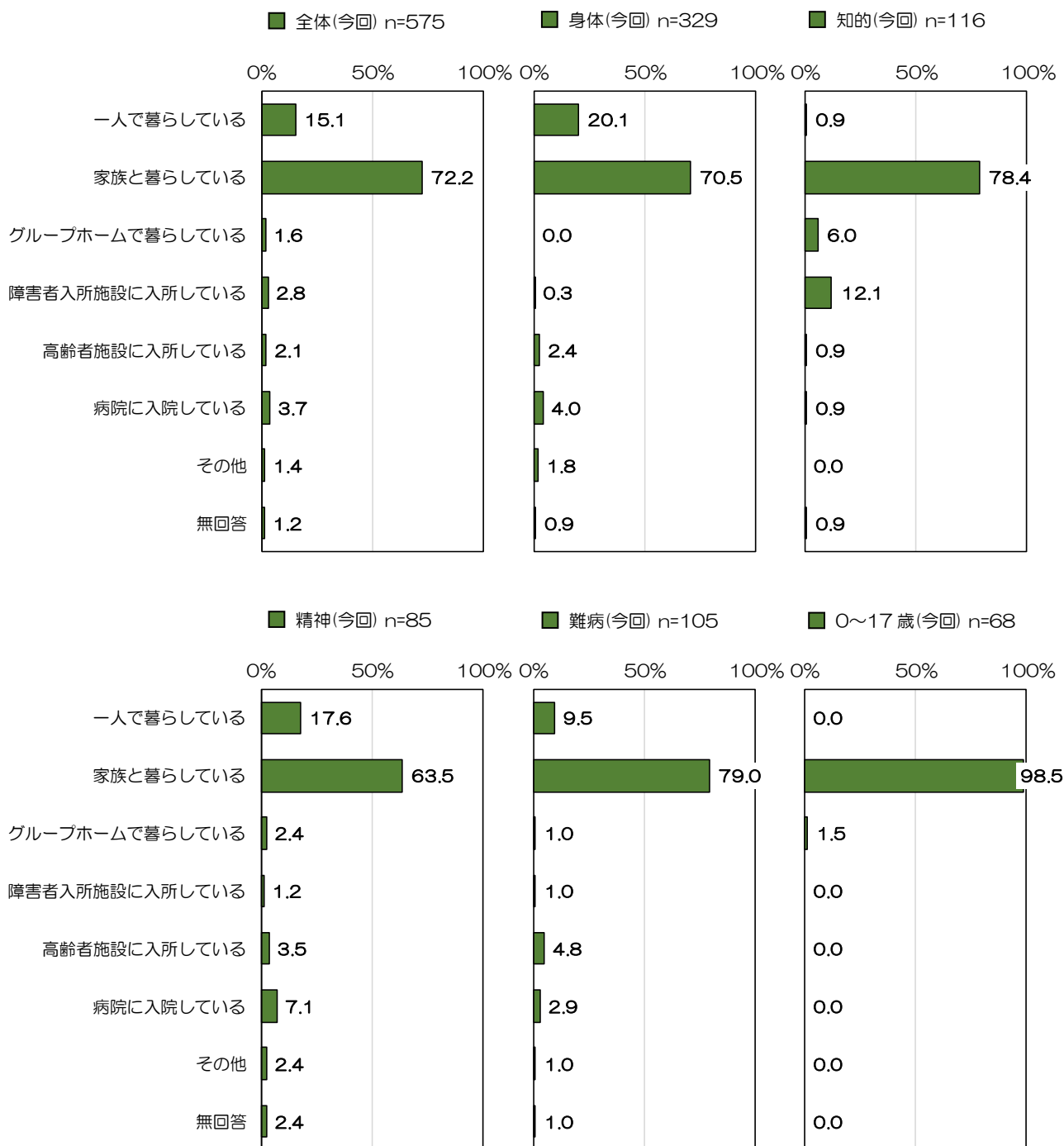


問3 あなたは、現在、どのように暮らしていますか。(〇は1つ)

現在の暮らしの状況については、全体では「家族と暮らしている」が72.2%で最も高く、次いで「一人で暮らしている」が15.1%、「病院に入院している」が3.7%となっています。

障害種別でみると、すべての種別において「家族と暮らしている」が最も高い割合を占めています。

0～17歳でみると、「家族と暮らしている」が98.5%で最も高い割合を占めています。



※その他の回答（抜粋）

- ・サービス付き高齢者住宅、介護老人保健施設、特別養護老人ホームで暮らしている。
- ・ルームシェアして暮らしている。

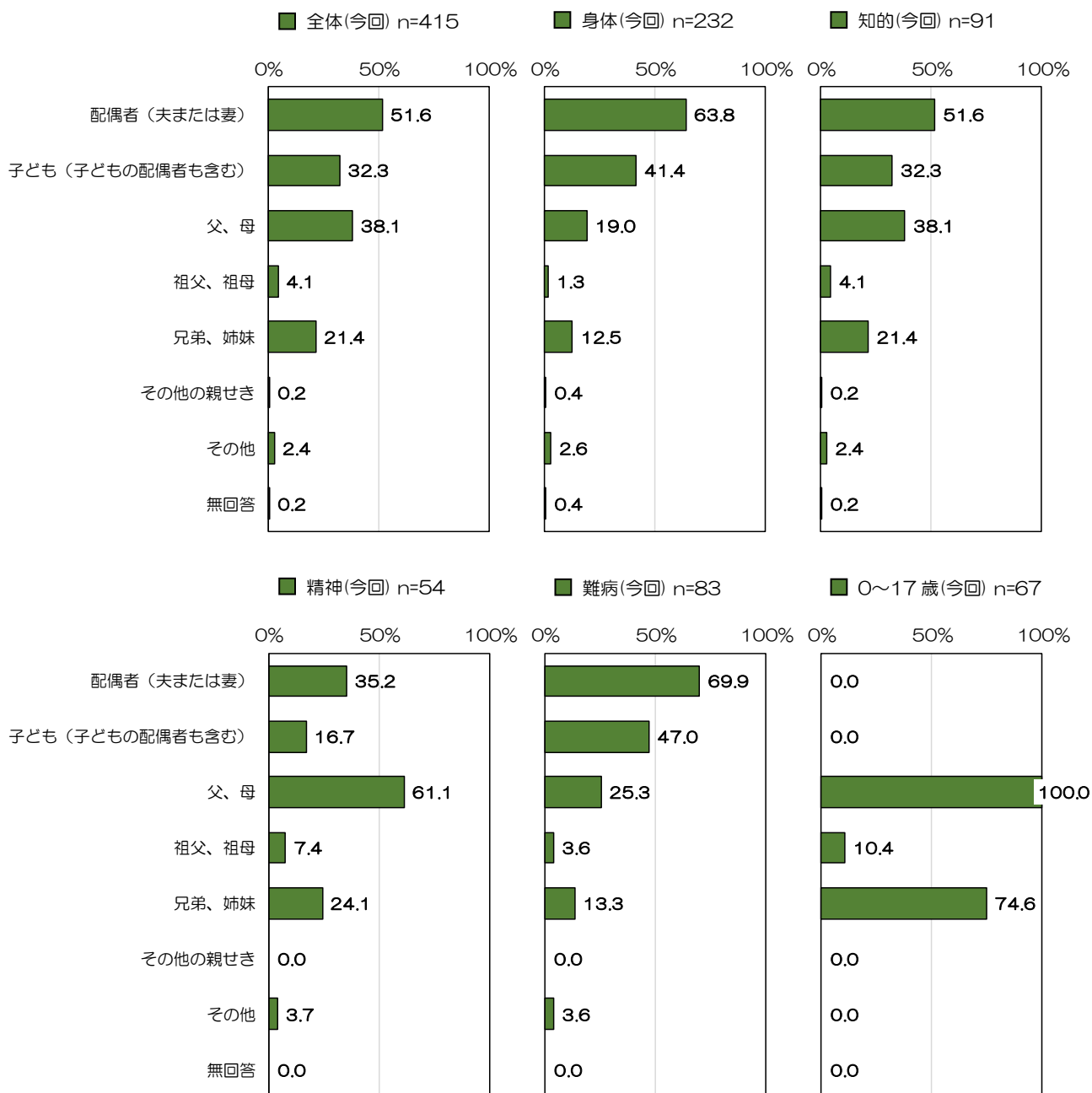
【問3で「家族と暮らしている」と回答した方にお伺いします。】

問3-1 一緒に暮らしている人は、どなたですか。(〇はいくつでも)

一緒に暮らしている家族については、全体では「配偶者」が51.6%で最も高く、次いで「父、母」が38.1%、「子ども」が32.3%となっています。

障害種別でみると、身体障害者、知的障害者、難病においては「配偶者」が最も高い割合を占めています。精神障害者においては「父、母」が最も高い割合を示しています。

0~17歳でみると、「父、母」が100.0%で最も高く、次いで「兄弟、姉妹」が74.6%となっています。



※問3-1においては、回答者数を母数として構成比を算出しています。

※その他の回答

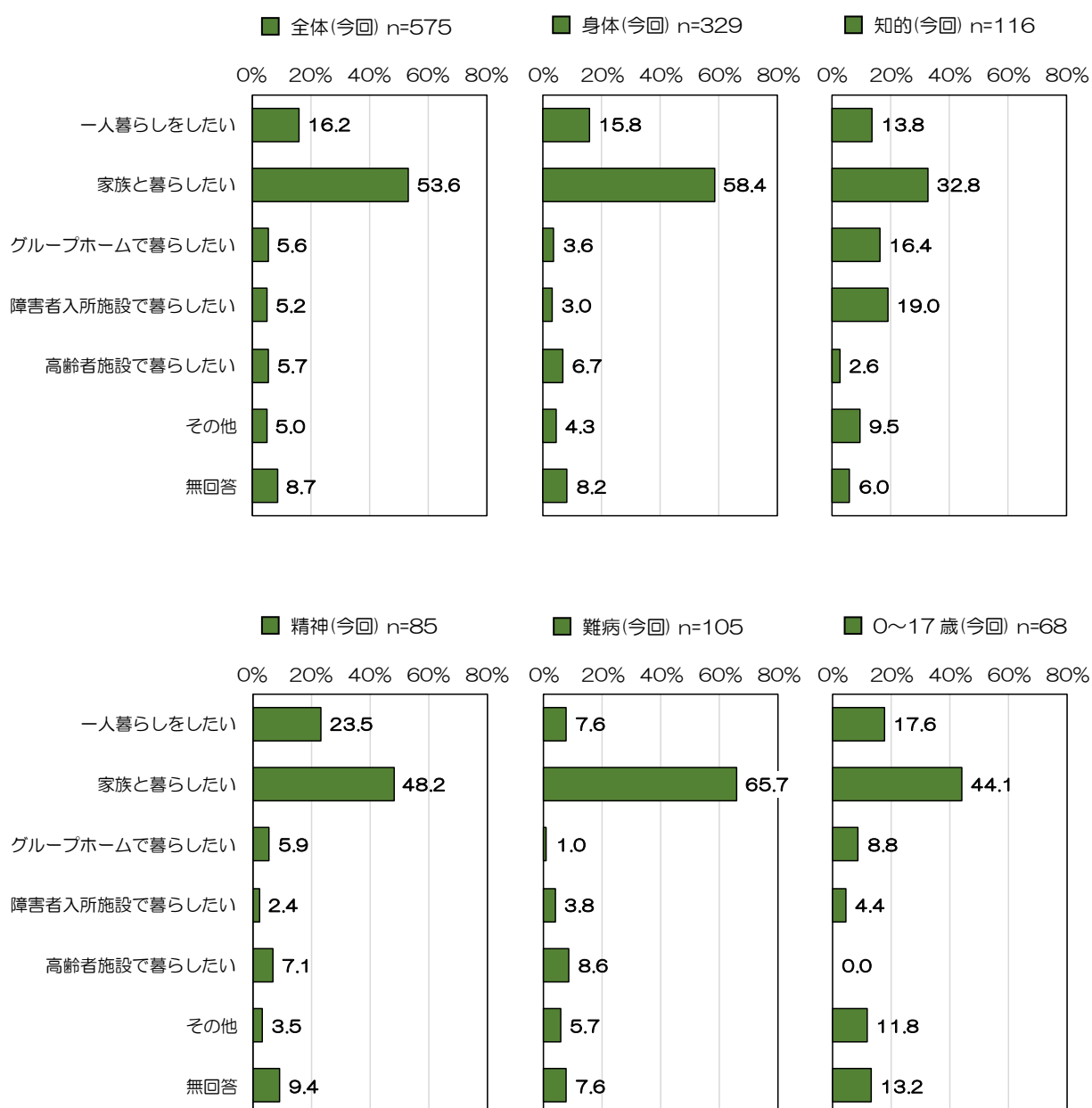
- ・義母、義父、孫

問4 あなたは、将来、どのように暮らしたいですか。(〇は1つ)

将来の暮らしの希望については、全体では「家族と暮らしたい」が53.6%で最も高く、次いで「一人暮らしをしたい」が16.2%、「高齢者施設で暮らしたい」が5.7%となっています。

障害種別でみると、すべての種別において「家族と暮らしたい」が最も高い割合を占めています。また、知的障害者においては「グループホームで暮らしたい」「障害者入所施設で暮らしたい」が、他の種別と比べて高い割合を示しています。

0～17歳でみると、「家族と暮らしたい」が44.1%で最も高く、次いで「一人暮らしをしたい」が17.6%となっています。



※その他の回答（抜粋）

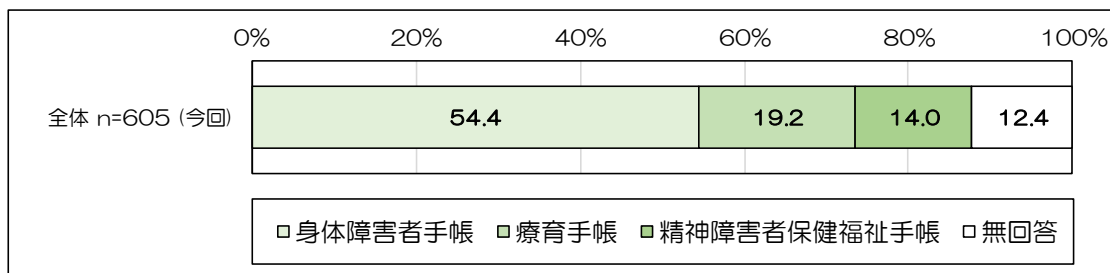
- 子どものところで暮らしたい、病院で暮らしたい
- 親としては、支援してくれる人たちに支えられながら、自分なりの生活が送れる場所

2 あなたの障害の状況について

問5 あなたがお持ちの障害者手帳及び記載された障害の程度をお答えください。
 (あてはまる障害者手帳及び障害の程度に○を付けてください。)

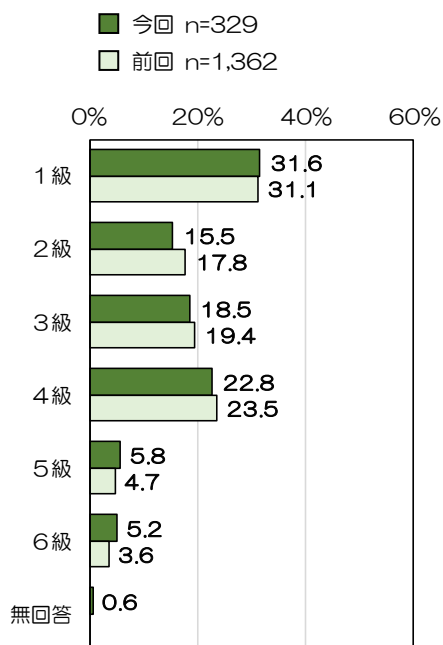
◆障害者手帳の種類

障害者手帳の種類については、「身体障害者手帳」が54.4%、「療育手帳」が19.2%、「精神障害者保健福祉手帳」が14.0%となっています。



◆身体障害者手帳所持者の等級内訳

身体障害者手帳所持者の等級内訳については、「1級」が31.6%で最も高く、次いで「4級」が22.8%、「3級」が18.5%となっています。

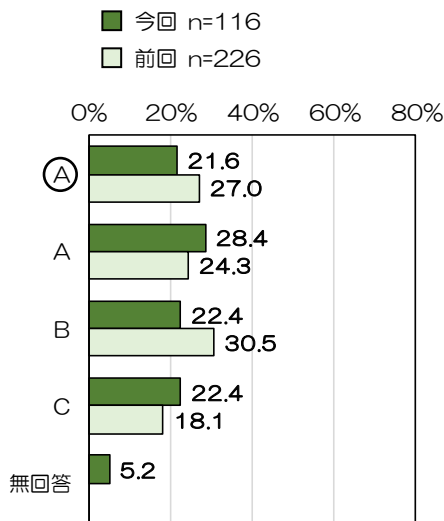


◆障害の重複状況について

- 「身体」のみ：305人
- 「身体」と「知的」：19人
- 「身体」と「精神」：4人
- 「身体」と「知的」と「精神」：1人

◆療育手帳所持者の等級内訳

療育手帳所持者の等級内訳については、「A」が28.4%で最も高く、次いで「B」「C」がともに22.4%、「**A**」が21.6%となっています。

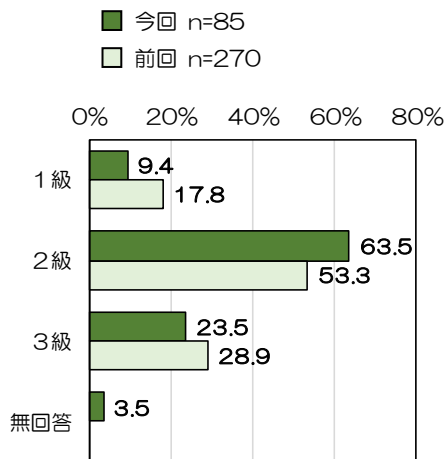


◆障害の重複状況について

- 「知的」のみ：91人
- 「知的」と「身体」：19人
- 「知的」と「精神」：5人
- 「知的」と「身体」と「精神」：1人

◆精神障害者保健福祉手帳所持者の等級内訳

精神障害者保健福祉手帳所持者の等級内訳については、「2級」が63.5%で最も高く、次いで「3級」が23.5%、「1級」が9.4%となっています。

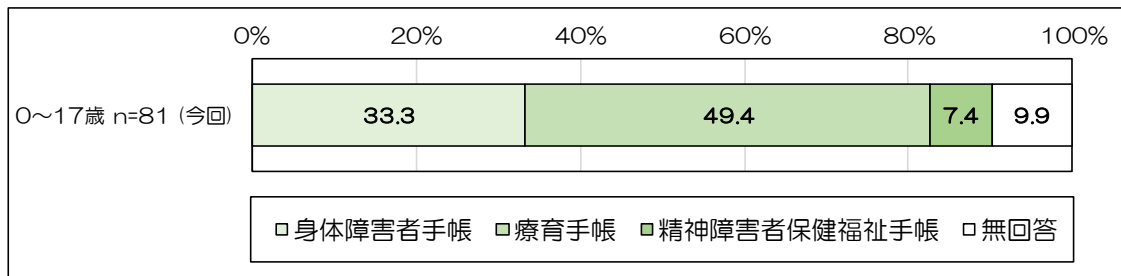


◆障害の重複状況について

- 「精神」のみ：75人
- 「精神」と「身体」：4人
- 「精神」と「知的」：5人
- 「精神」と「身体」と「知的」：1人

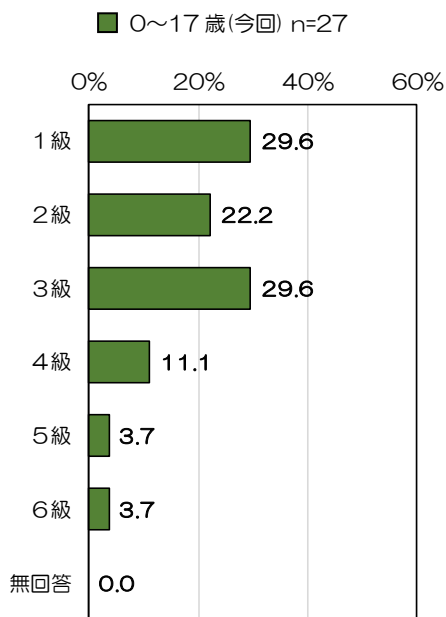
◆障害者手帳の種類（0～17歳）

障害者手帳の種類については、「身体障害者手帳」が33.3%、「療育手帳」が49.4%、「精神障害者保健福祉手帳」が7.4%となっています。



◆身体障害者手帳所持者の等級内訳（0～17歳）

身体障害者手帳所持者の等級内訳については、「1級」「3級」がともに29.6%で最も高く、次いで「2級」が22.2%、「4級」が11.1%となっています。

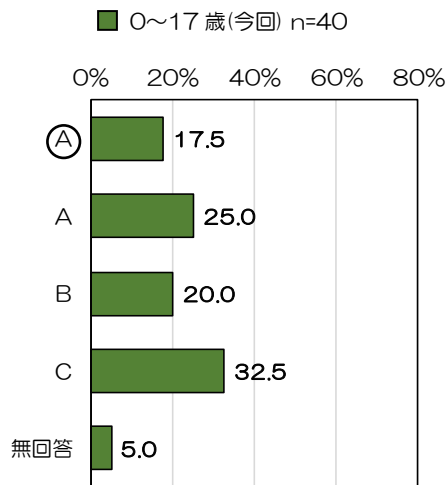


◆障害の重複状況について

- 「身体」のみ：16人
- 「身体」と「知的」：11人
- 「身体」と「精神」：0人
- 「身体」と「知的」と「精神」：0人

◆療育手帳所持者の等級内訳（0～17歳）

療育手帳所持者の等級内訳については、「C」が32.5%で最も高く、次いで「A」が25.0%、「B」が20.0%となっています。

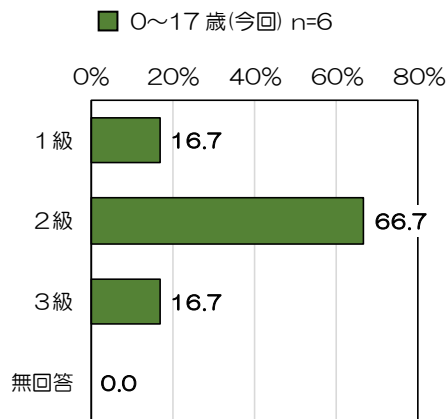


◆障害の重複状況について

- 「知的」のみ：27人
- 「知的」と「身体」：11人
- 「知的」と「精神」：2人
- 「知的」と「身体」と「精神」：0人

◆精神障害者保健福祉手帳所持者の等級内訳（0～17歳）

精神障害者保健福祉手帳所持者の等級内訳については、「2級」が66.7%で最も高く、次いで「1級」「3級」がともに16.7%となっています。



◆障害の重複状況について

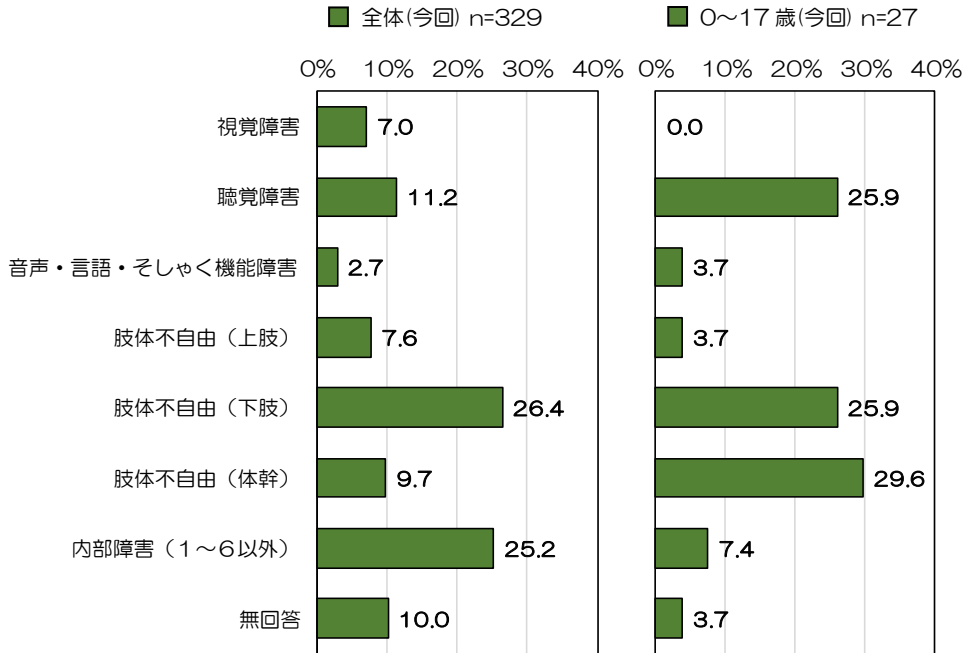
- 「精神」のみ：4人
- 「精神」と「身体」：0人
- 「精神」と「知的」：2人
- 「精神」と「身体」と「知的」：0人

【問5で「身体障害者手帳」を持っていると回答した方にお伺いします。】

問5-1 主たる障害をお答えください。(〇は1つ)

身体障害者手帳所持者の主たる障害については、全体では「肢体不自由(下肢)」が26.4%で最も高く、次いで「内部障害」が25.2%、「聴覚障害」が11.2%となっています。

0~17歳でみると、「肢体不自由(体幹)」が29.6%で最も高く、次いで「聴覚障害」「肢体不自由(下肢)」がともに25.9%となっています。

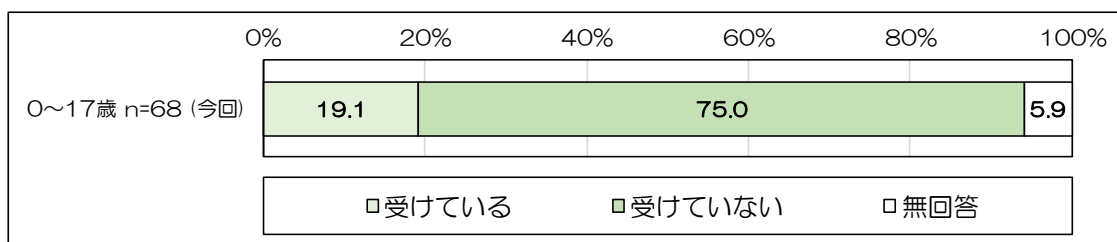
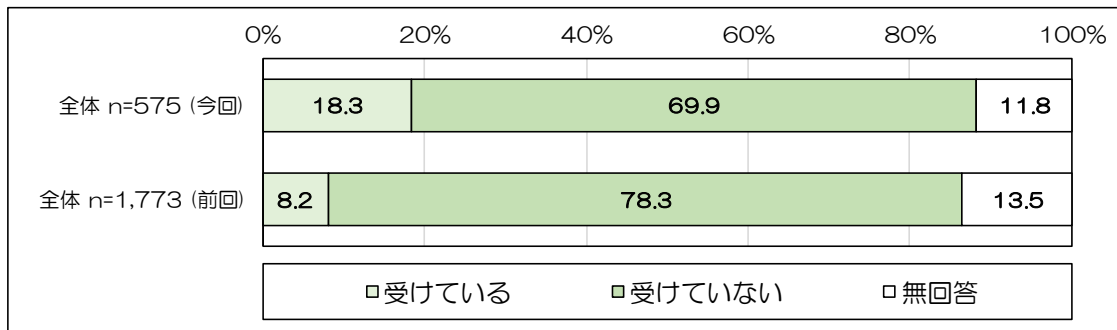


問6 あなたは、難病(特定疾患)の認定を受けていますか。(〇は1つ)

難病の認定状況については、全体では「受けている」が18.3%、「受けていない」が69.9%となっています。

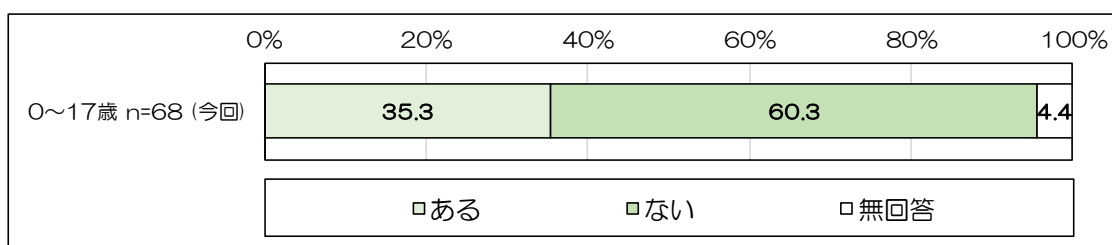
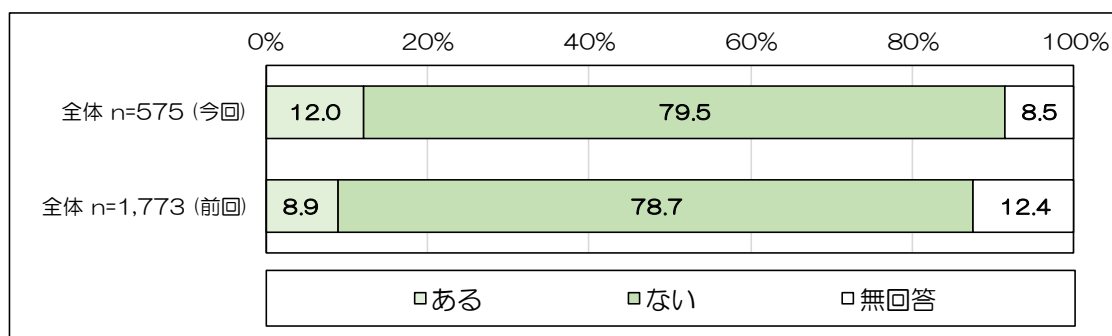
前回調査との比較では、「受けている」が10.1ポイント増加しています。

0~17歳でみると、「受けている」が19.1%、「受けていない」が75.0%となっています。



問7 あなたは、発達障害の診断をされたことがありますか。(〇は1つ)

発達障害の診断の有無については、全体では「ある」が12.0%、「ない」が79.5%となっています。前回調査との比較では、「ある」が3.1ポイント増加しています。0~17歳でみると、「ある」が35.3%、「ない」が60.3%となっています。

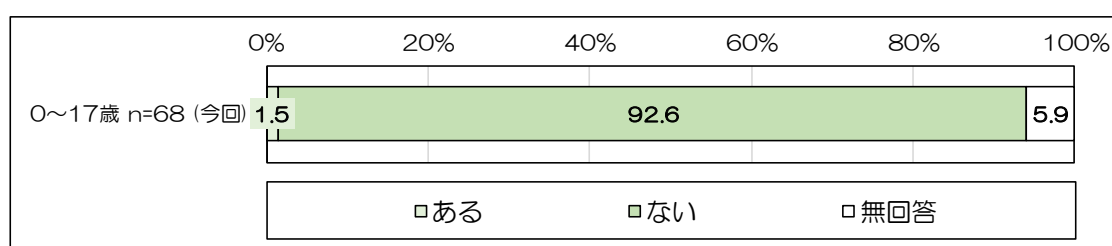
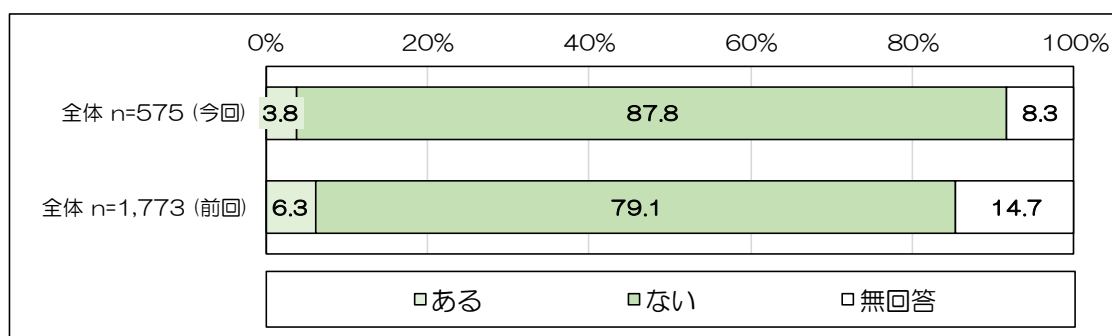


問8 あなたは、高次脳機能障害の診断をされたことがありますか。(〇は1つ)

高次脳機能障害の診断の有無については、全体では「ある」が3.8%、「ない」が87.8%となっています。

前回調査との比較では、「ある」が2.5ポイント減少しています。

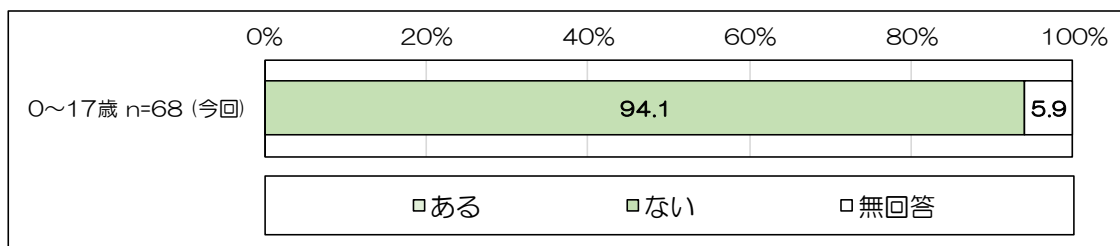
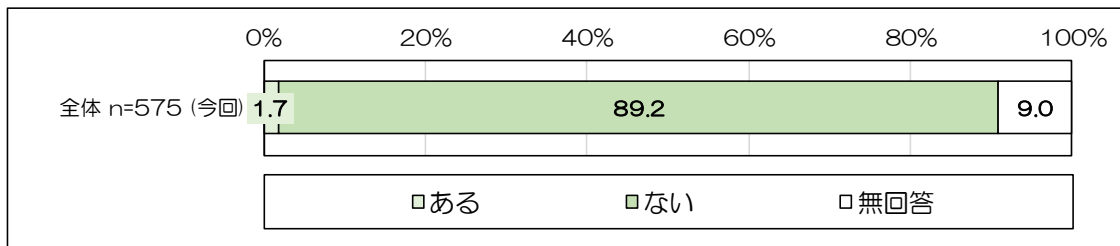
0~17歳でみると、「ある」が1.5%、「ない」が92.6%となっています。



問9 あなたは、^{せんえんせいいしきしょうがい}遷延性意識障害の状態にありますか。(〇は1つ)

^{せんえんせいいしきしょうがい}遷延性意識障害の状態にあるかについては、全体では「ある」が1.7%、「ない」が89.2%となっています。

0~17歳でみると、「ある」が0.0%、「ない」が94.1%となっています。

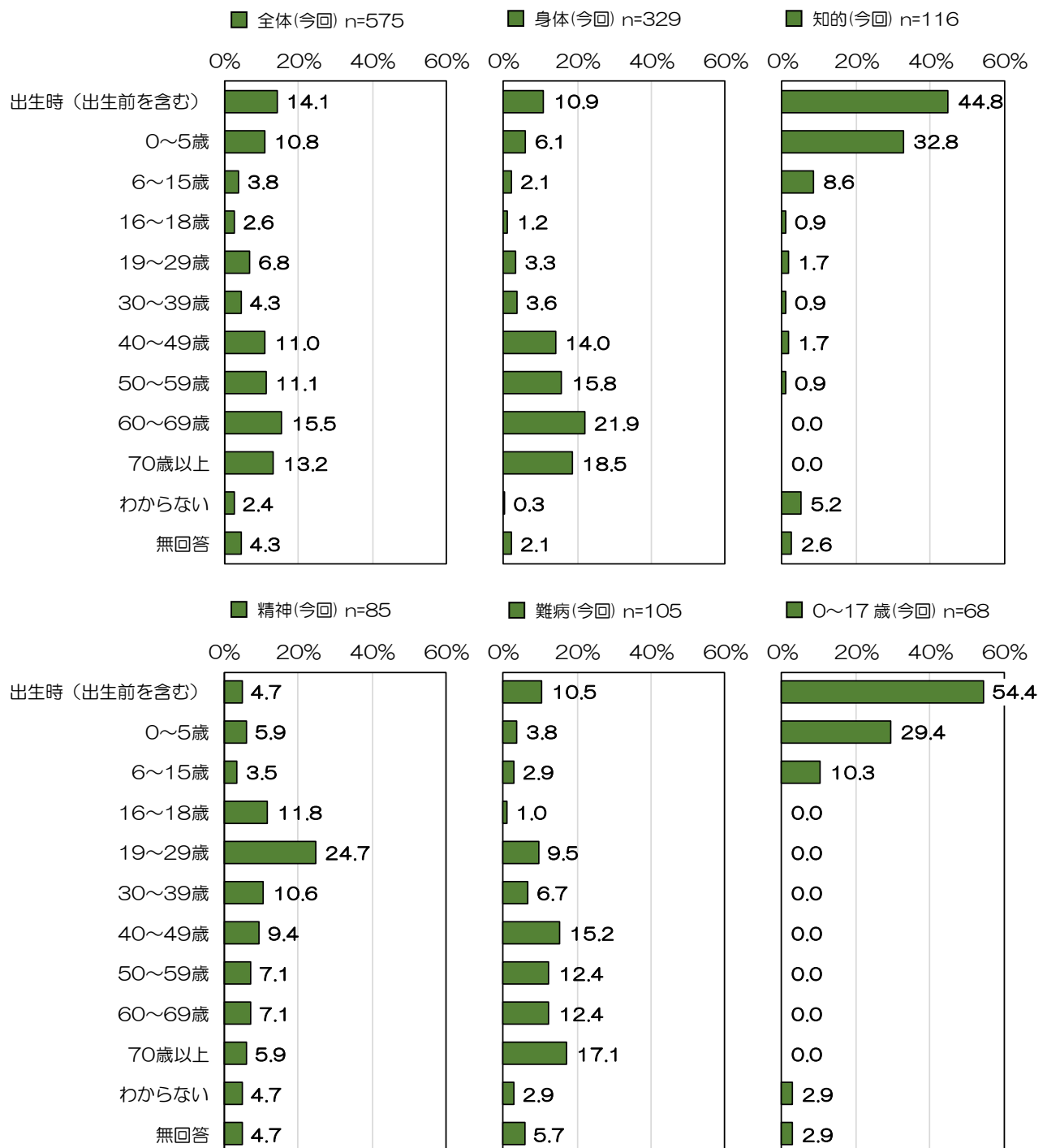


問10 あなたが現在の障害の状態になったのはいつ頃ですか。(〇は1つ)

障害の状態になった時期については、全体では「60～69歳」が15.5%で最も高く、次いで「出生時」が14.1%、「70歳以上」が13.2%となっています。

障害種別でみると、身体障害者では「60～69歳」が21.9%で最も高く、次いで「70歳以上」が18.5%となっています。知的障害者では「出生時」が44.8%で最も高く、次いで「0～5歳」が32.8%となっています。精神障害者では「19～29歳」が24.7%で最も高く、次いで「16～18歳」が11.8%となっています。難病では「70歳以上」が17.1%で最も高く、次いで「40～49歳」が15.2%となっています。

0～17歳でみると、「出生時」が54.4%で最も高く、次いで「0～5歳」が29.4%となっています。



3 あなたの介助について

問11 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。

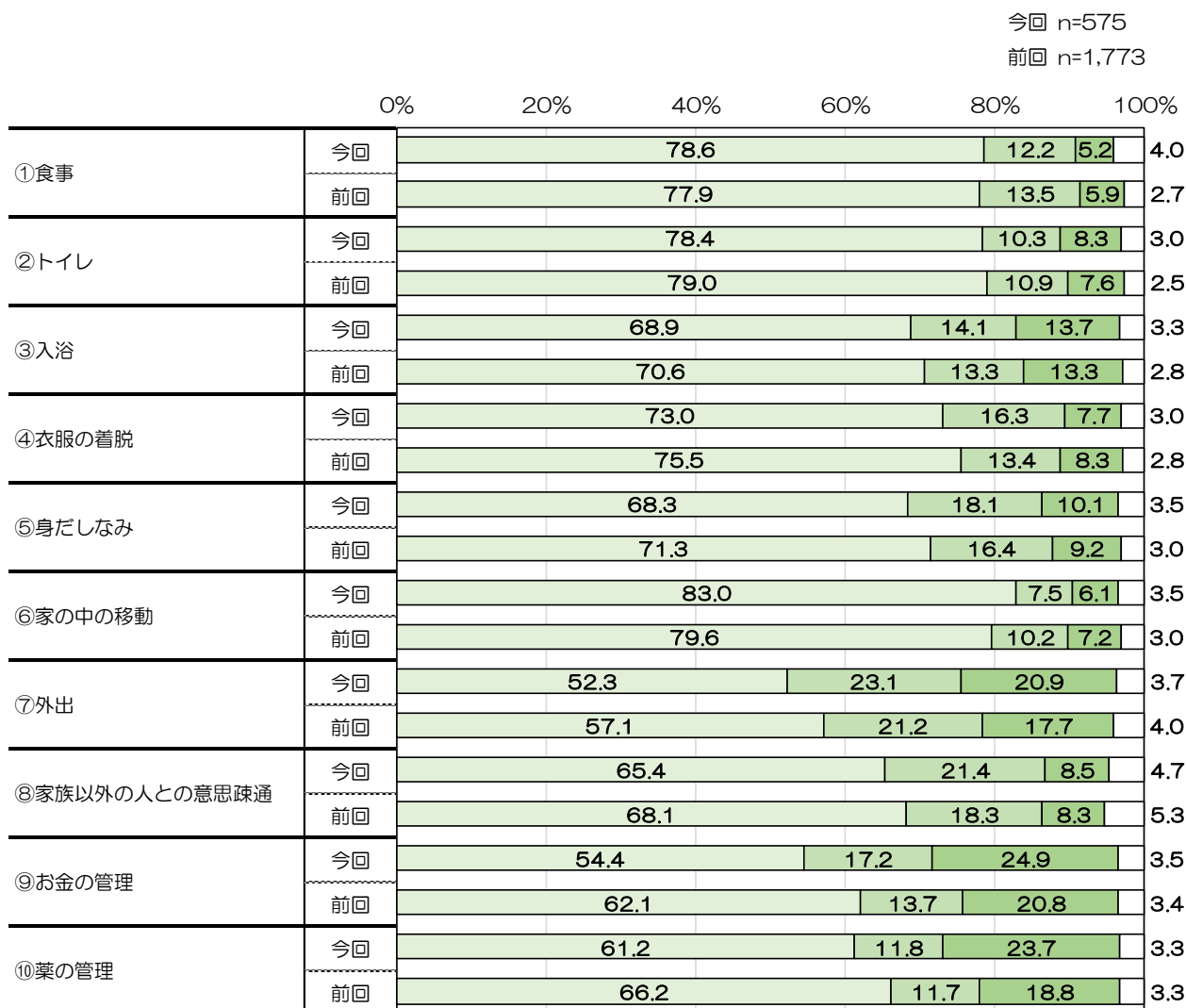
①から⑩のそれぞれにお答えください。(①から⑩それぞれ〇は1つ)

◆全体

日常生活の介助の状況については、「一部介助が必要」においては、『⑦外出』が23.1%で最も高く、次いで『⑧家族以外の人との意思疎通』が21.4%、『⑤身だしなみ』が18.1%となっています。

「全部介助が必要」においては、『⑨お金の管理』が24.9%で最も高く、次いで『⑩薬の管理』が23.7%、『⑦外出』が20.9%となっています。

前回調査との比較では、「一部介助が必要」と「全部介助が必要」の合計値で最も高い割合を占めている『⑦外出』でみると、前回調査と比べて5.1ポイント増加しています。



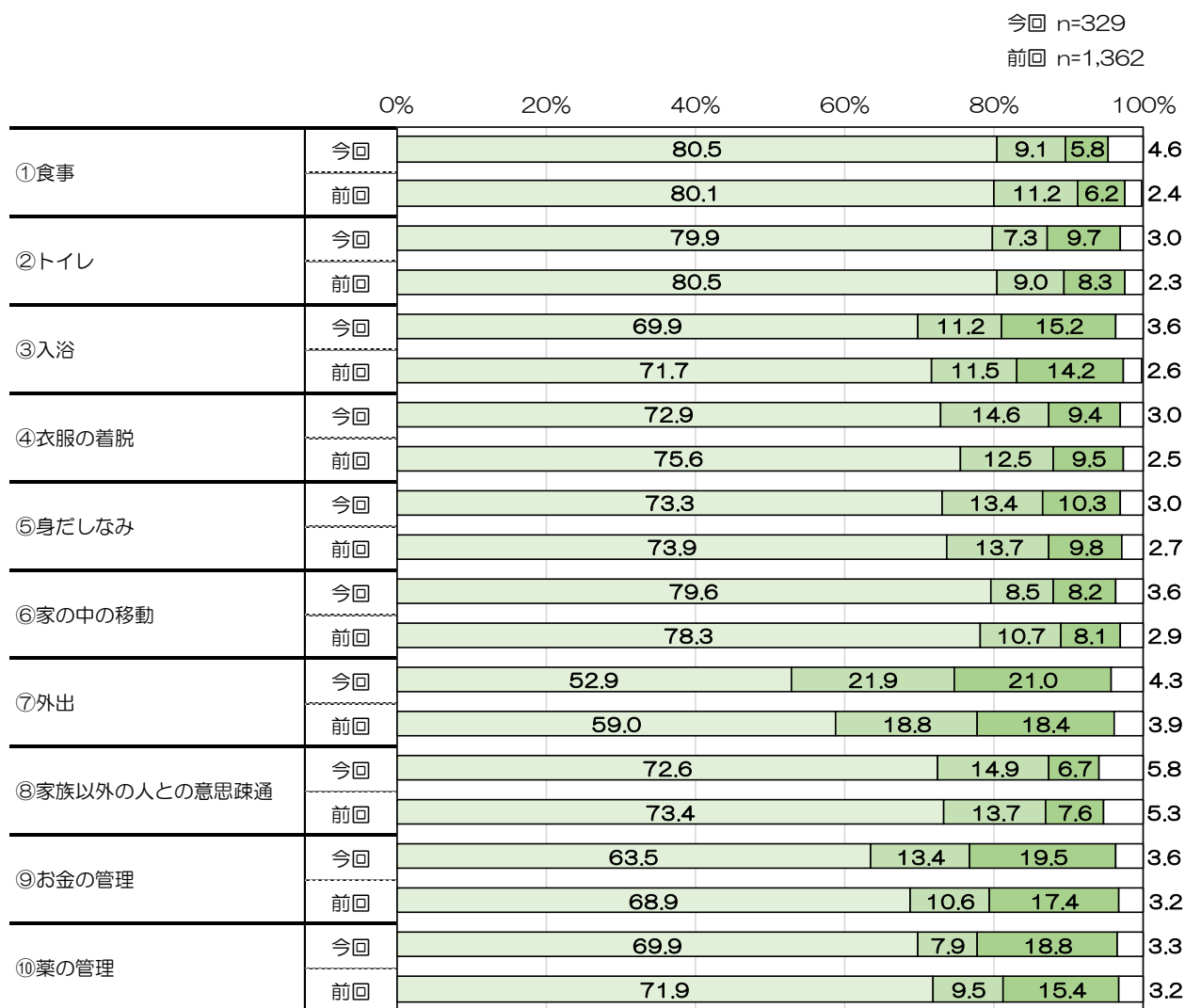
□ひとりできる □一部介助が必要 □全部介助が必要 □無回答

◆身体障害者

日常生活の介助の状況については、「一部介助が必要」においては、『⑦外出』が 21.9%で最も高く、次いで『⑧家族以外の人との意思疎通』が 14.9%、『④衣服の着脱』が 14.6%となっています。

「全部介助が必要」においては、『⑦外出』が 21.0%で最も高く、次いで『⑨お金の管理』が 19.5%、『⑩薬の管理』が 18.8%となっています。

前回調査との比較では、「一部介助が必要」と「全部介助が必要」の合計値で最も高い割合を占めている『⑦外出』でみると、前回調査と比べて5.7ポイント増加しています。



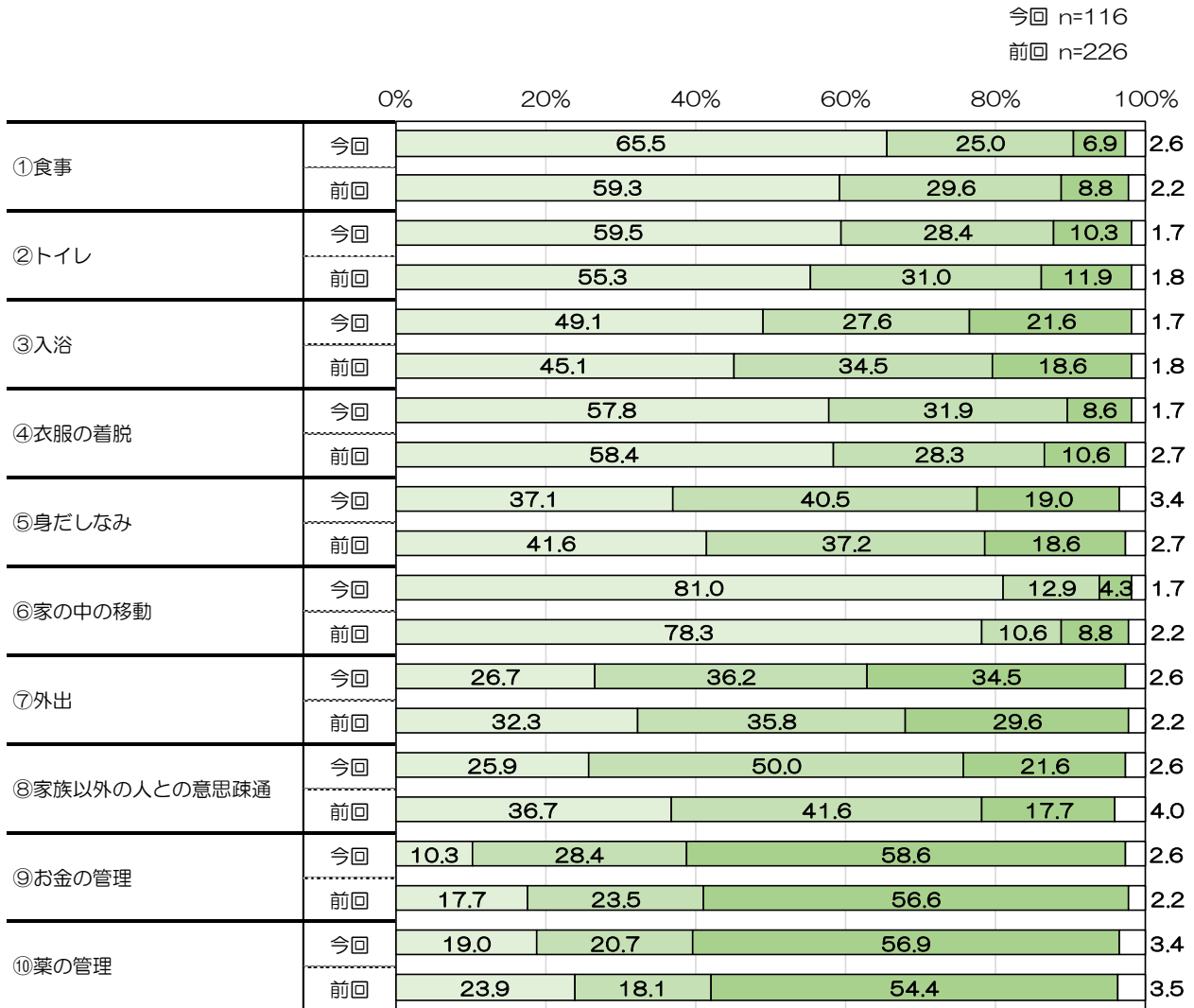
□ひとりできる □一部介助が必要 □全部介助が必要 □無回答

◆知的障害者

日常生活の介助の状況については、「一部介助が必要」においては、『⑧家族以外の人との意思疎通』が50.0%で最も高く、次いで『⑤身だしなみ』が40.5%、『⑦外出』が36.2%となっています。

「全部介助が必要」においては、『⑨お金の管理』が58.6%で最も高く、次いで『⑩薬の管理』が56.9%、『⑦外出』が34.5%となっています。

前回調査との比較では、「一部介助が必要」と「全部介助が必要」の合計値で最も高い割合を占めている『⑨お金の管理』でみると、前回調査と比べて6.9ポイント増加しています。



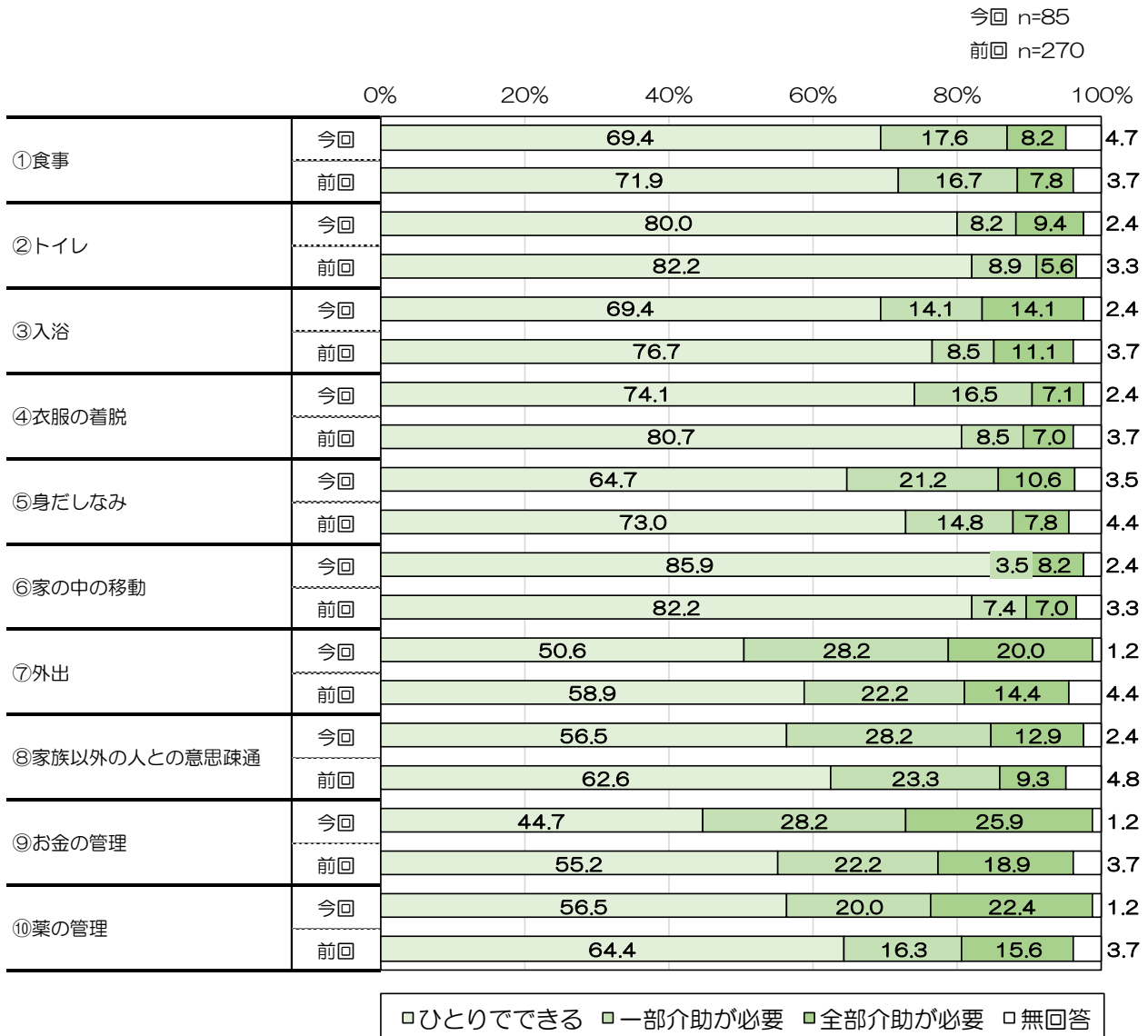
□ひとりのできる □一部介助が必要 □全部介助が必要 □無回答

◆精神障害者

日常生活の介助の状況については、「一部介助が必要」においては、『⑦外出』『⑧家族以外の人との意思疎通』『⑨お金の管理』がともに 28.2%で最も高く、次いで『⑤身だしなみ』が 21.2%、『⑩薬の管理』が 20.0%となっています。

「全部介助が必要」においては、『⑨お金の管理』が 25.9%で最も高く、次いで『⑩薬の管理』が 22.4%、『⑦外出』が 20.0%となっています。

前回調査との比較では、「一部介助が必要」と「全部介助が必要」の合計値で最も高い割合を占めている『⑨お金の管理』でみると、前回調査と比べて 13.0 ポイント増加しています。



◆難病

日常生活の介助の状況については、「一部介助が必要」においては、『④衣服の着脱』『⑦外出』がともに17.1%で最も高く、次いで『⑤身だしなみ』『⑧家族以外の人との意思疎通』がともに15.2%、『③入浴』が12.4%となっています。

「全部介助が必要」においては、『⑩薬の管理』が19.0%で最も高く、次いで『⑨お金の管理』が18.1%、『⑦外出』が16.2%となっています。

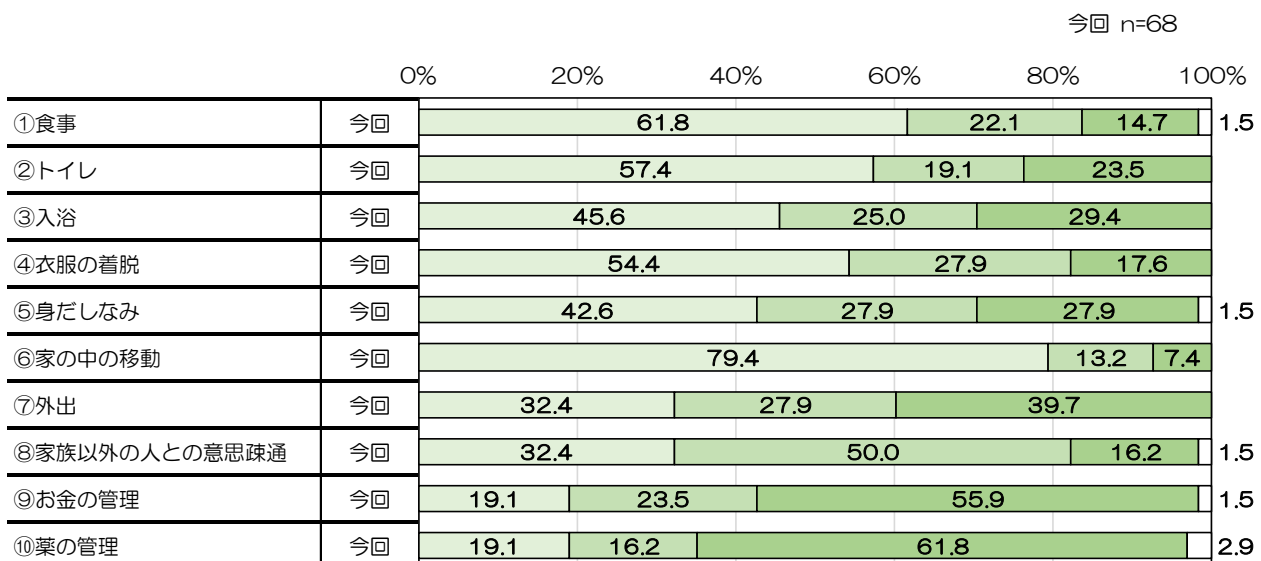


□ひとりのできる □一部介助が必要 □全部介助が必要 □無回答

◆0~17歳

日常生活の介助の状況については、「一部介助が必要」においては、『⑧家族以外の人との意思疎通』が50.0%で最も高く、次いで『④衣服の着脱』『⑤身だしなみ』『⑦外出』がともに27.9%、『③入浴』が25.0%となっています。

「全部介助が必要」においては、『⑩薬の管理』が61.8%で最も高く、次いで『⑨お金の管理』が55.9%、『⑦外出』が39.7%となっています。



□ひとりのできる □一部介助が必要 □全部介助が必要 □無回答

◆全体・障害種別・0～17歳 「ひとりでできる」

日常生活の介助の状況について、全体、障害種別、0～17歳の区分において、各項目の「ひとりでできる」の今回調査結果をまとめたものが下表となります。全体結果を下回る結果を示した部分に色付けをしています。

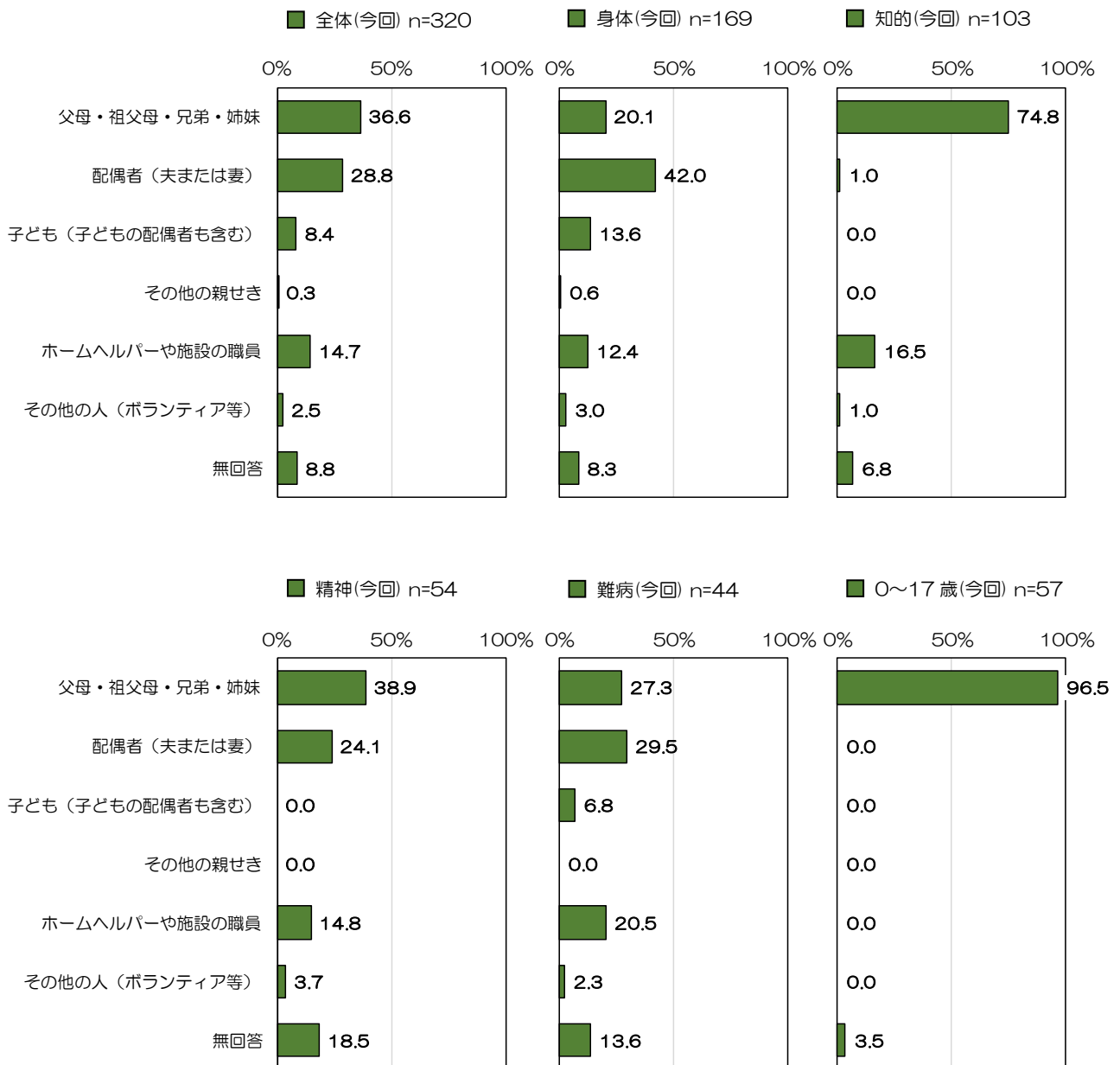
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	食事	トイレ	入浴	衣服の着脱	身だしなみ	家の中の移動	外出	家族以外の人との意思疎通	お金の管理	薬の管理
全体	78.6%	78.4%	68.9%	73.0%	68.3%	83.0%	52.3%	65.4%	54.4%	61.2%
身体障害者	80.5%	79.9%	69.9%	72.9%	73.3%	79.6%	52.9%	72.6%	63.5%	69.9%
知的障害者	65.5%	59.5%	49.1%	57.8%	37.1%	81.0%	26.7%	25.9%	10.3%	19.0%
精神障害者	69.4%	80.0%	69.4%	74.1%	64.7%	85.9%	50.6%	56.5%	44.7%	56.5%
難病	82.9%	79.0%	72.4%	73.3%	72.4%	82.9%	61.9%	74.3%	65.7%	69.5%
0～17歳	61.8%	57.4%	45.6%	54.4%	42.6%	79.4%	32.4%	32.4%	19.1%	19.1%

【問11の各項目において「一部介助が必要」「全部介助が必要」と回答した項目があった方にお伺いします。】

問11-1 あなたを介助してくれる方は主にどなたですか。(〇は1つ)

主な介助者については、全体では「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が36.6%で最も高く、次いで「配偶者」が28.8%、「ホームヘルパーや施設の職員」が14.7%となっています。

障害種別でみると、身体障害者では「配偶者」が42.0%で最も高く、次いで「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が20.1%となっています。知的障害者では「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が74.8%で最も高く、次いで「ホームヘルパーや施設の職員」が16.5%となっています。精神障害者では「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が38.9%で最も高く、次いで「配偶者」が24.1%となっています。難病では「配偶者」が29.5%で最も高く、次いで「ホームヘルパーや施設の職員」が20.5%となっています。0～17歳でみると、「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が96.5%となっています。



【問11-1で「父母・祖父母・兄弟・姉妹」「配偶者（夫または妻）」「子ども（子どもの配偶者も含む）」と回答した方にお伺いします。】

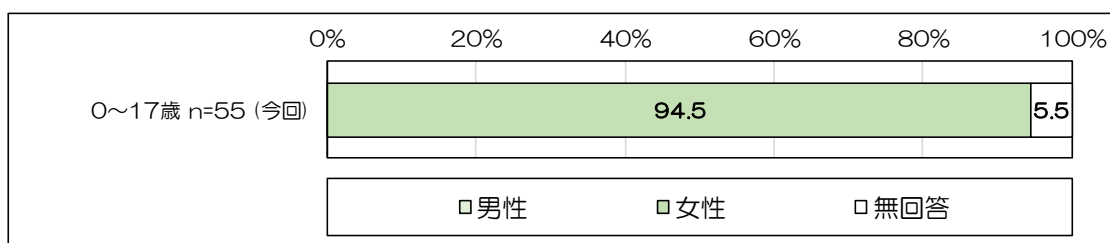
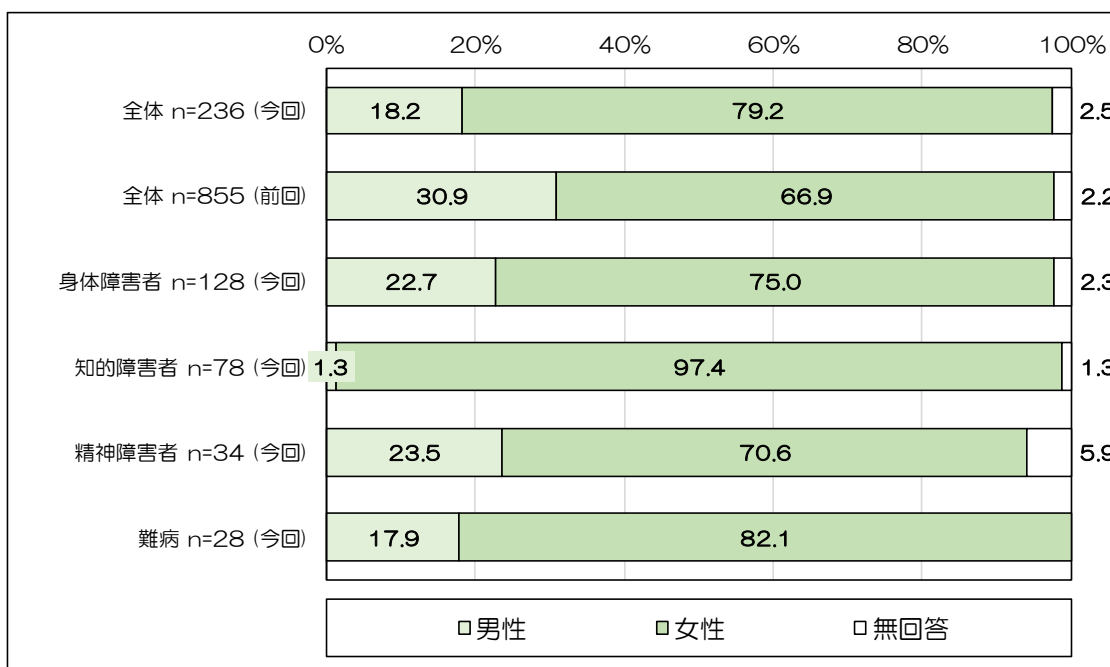
問11-2 主にあなたを介助してくれる方の性別・年齢をお答えください。

◆性別

主な介助者の性別については、全体では「男性」が18.2%、「女性」が79.2%と、「女性」が61.0ポイント上回っています。

障害種別でみると、身体障害者では「男性」が22.7%、「女性」が75.0%と、「女性」が52.3ポイント上回っています。知的障害者では「男性」が1.3%、「女性」が97.4%と、「女性」が96.1ポイント上回っています。精神障害者では「男性」が23.5%、「女性」が70.6%と、「女性」が47.1ポイント上回っています。難病では「男性」が17.9%、「女性」が82.1%と、「女性」が64.2ポイント上回っています。

0～17歳でみると、「男性」が0.0%、「女性」が94.5%となっています。



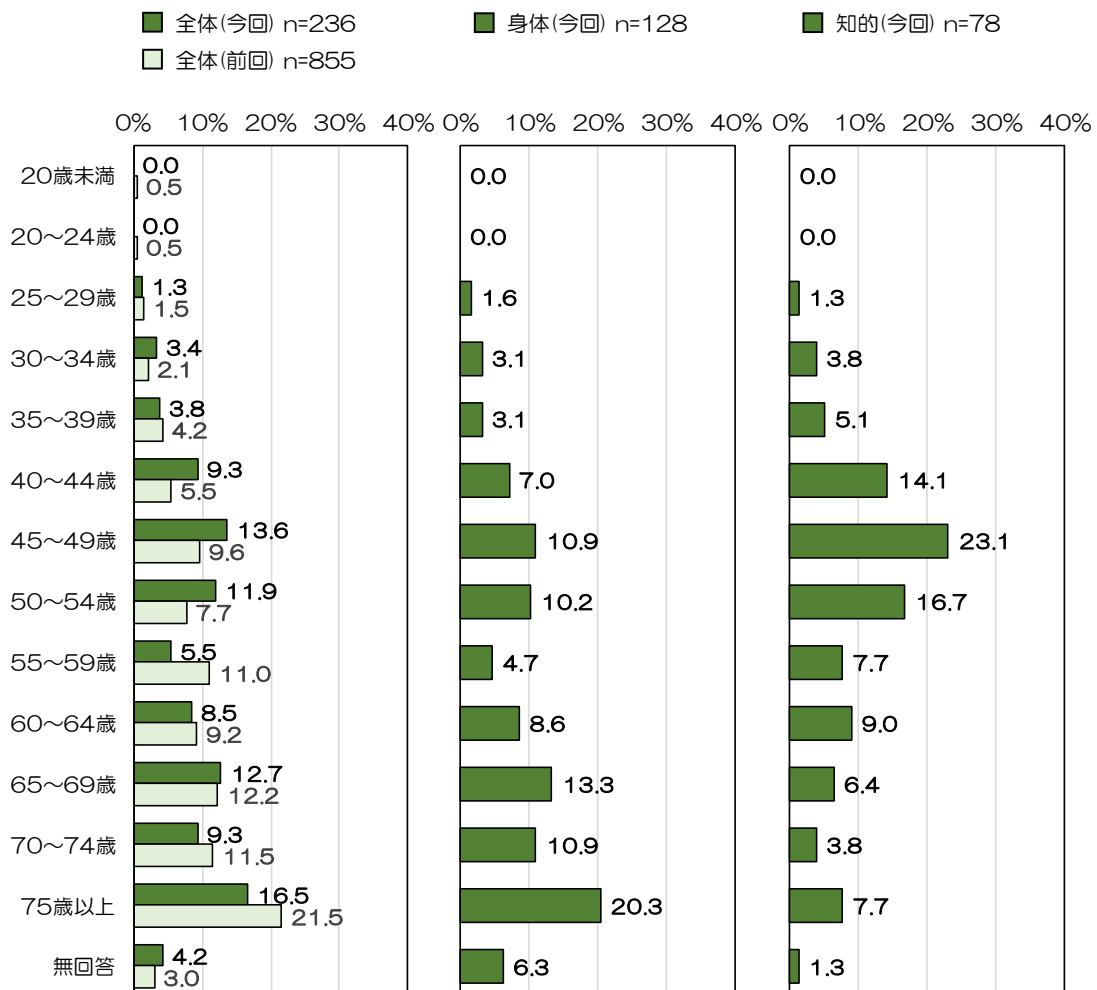
◆年齢

主な介助者の年齢については、全体では「75歳以上」が16.5%で最も高く、次いで「45～49歳」が13.6%、「65～69歳」が12.7%となっています。

障害種別でみると、身体障害者では「75歳以上」が20.3%で最も高く、次いで「65～69歳」が13.3%、「45～49歳」「70～74歳」がともに10.9%となっています。知的障害者では「45～49歳」が23.1%で最も高く、次いで「50～54歳」が16.7%、「40～44歳」が14.1%となっています。精神障害者では「65～69歳」が20.6%で最も高く、次いで「45～49歳」「50～54歳」「70～74歳」「75歳以上」がともに11.8%となっています。難病では「75歳以上」が21.4%で最も高く、次いで「40～44歳」「45～49歳」「50～54歳」「65～69歳」がともに14.3%となっています。

前回調査との比較では、「75歳以上」では5.0ポイント、「70～74歳」では2.2ポイント減少しています。一方で、「40～44歳」では3.8ポイント、「45～49歳」では4.0ポイント、「50～54歳」では4.2ポイント増加しています。

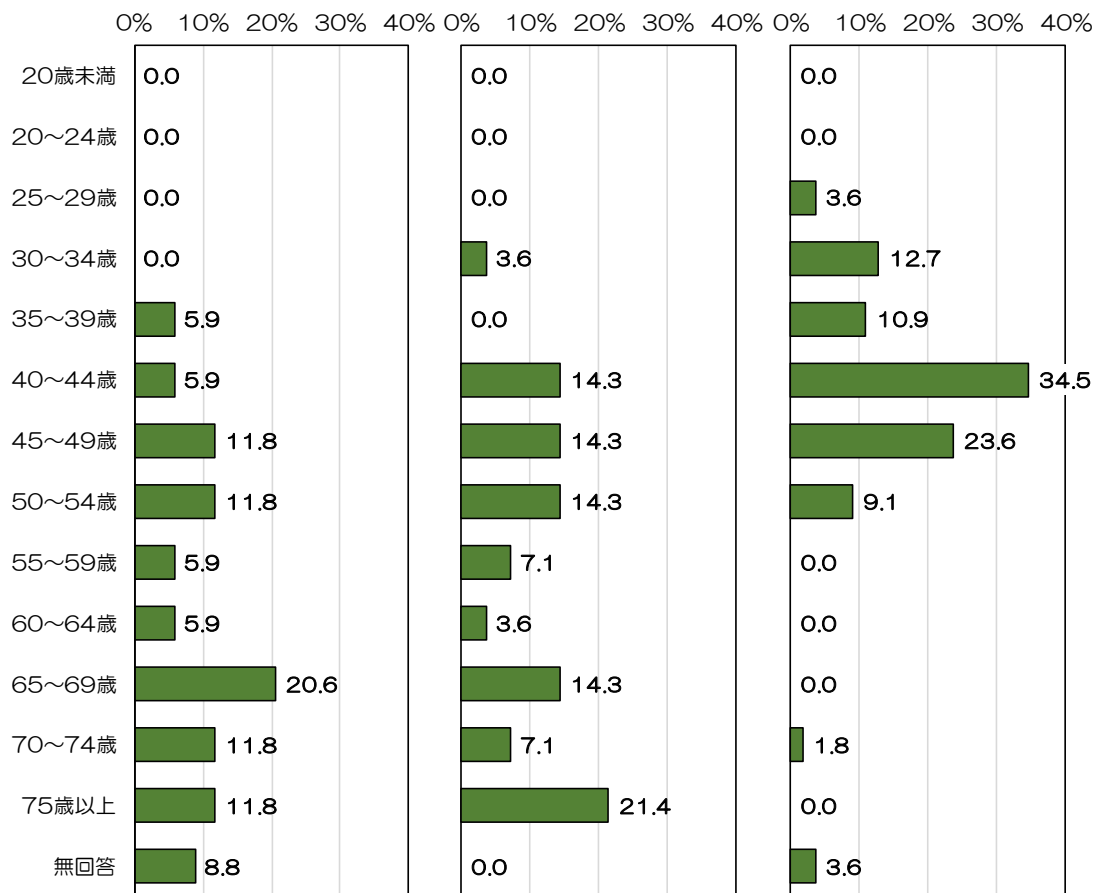
0～17歳でみると、「40～44歳」が34.5%で最も高く、次いで「45～49歳」が23.6%、「30～34歳」が12.7%となっています。



■ 精神(今回) n=34

■ 難病(今回) n=28

■ 0~17歳(今回) n=55



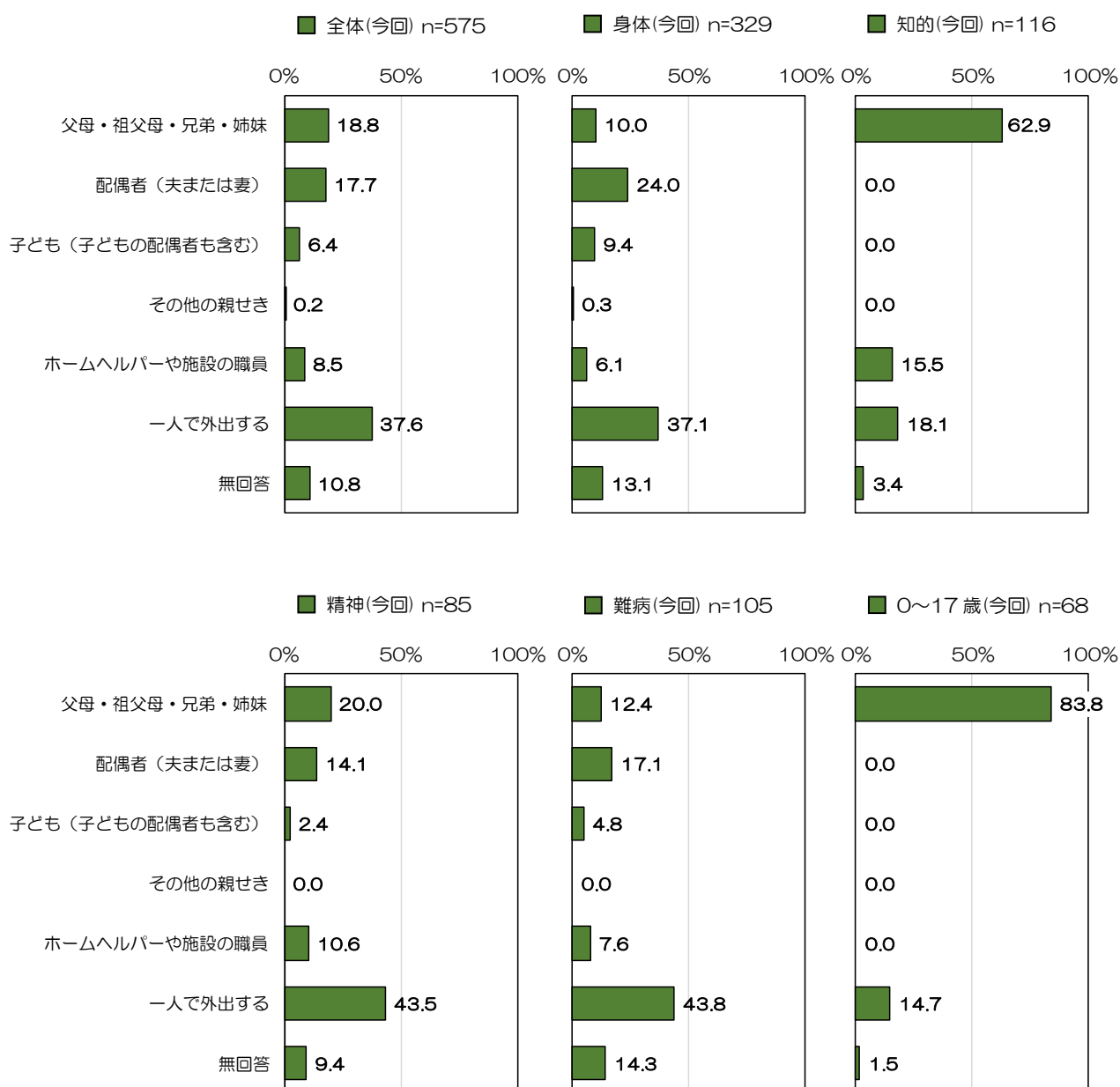
4 日中活動や就労について

問12 あなたが、外出する際の主な介助者はどなたですか。(〇は1つ)

外出する際の主な介助者については、全体では「一人で外出する」が37.6%で最も高く、次いで「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が18.8%、「配偶者」が17.7%となっています。

障害種別でみると、身体障害者では「一人で外出する」が37.1%で最も高く、次いで「配偶者」が24.0%となっています。知的障害者では「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が62.9%で最も高く、次いで「一人で外出する」が18.1%となっています。精神障害者では「一人で外出する」が43.5%で最も高く、次いで「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が20.0%となっています。難病では「一人で外出する」が43.8%で最も高く、次いで「配偶者」が17.1%となっています。

0~17歳でみると、「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が83.8%で最も高く、次いで「一人で外出する」が14.7%となっています。



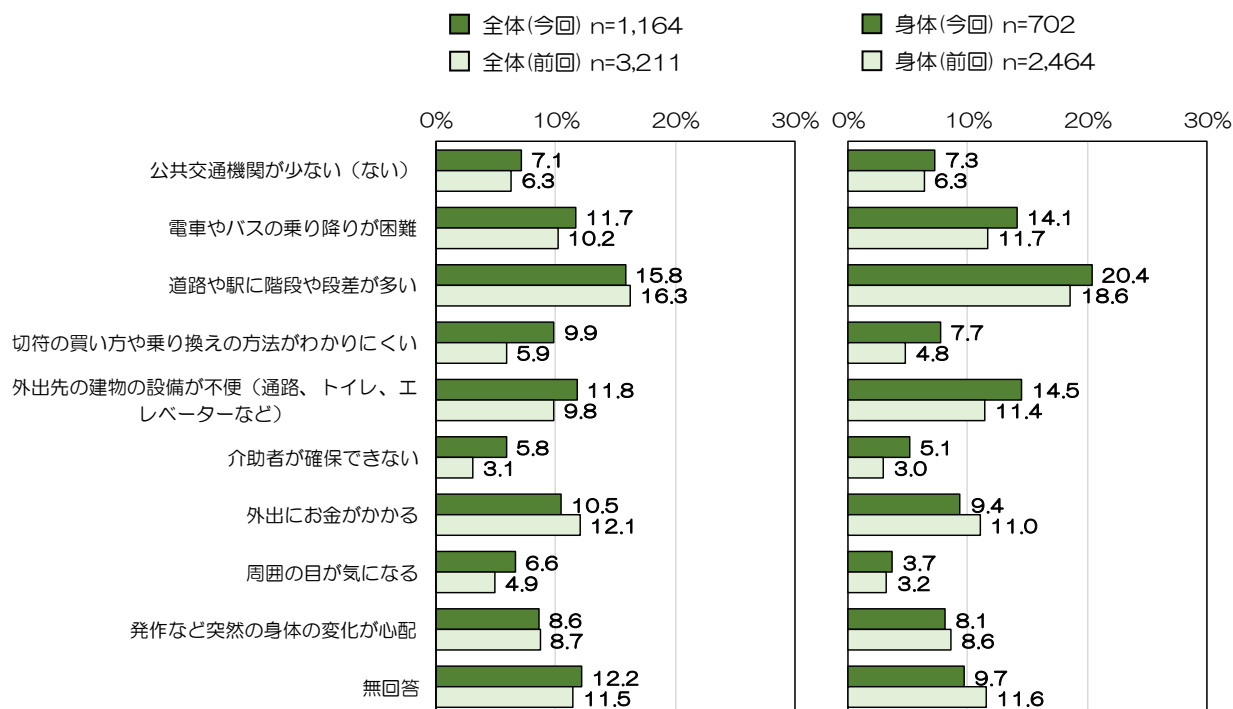
問13 あなたが外出する際、困ることは何ですか。(〇はいくつでも)

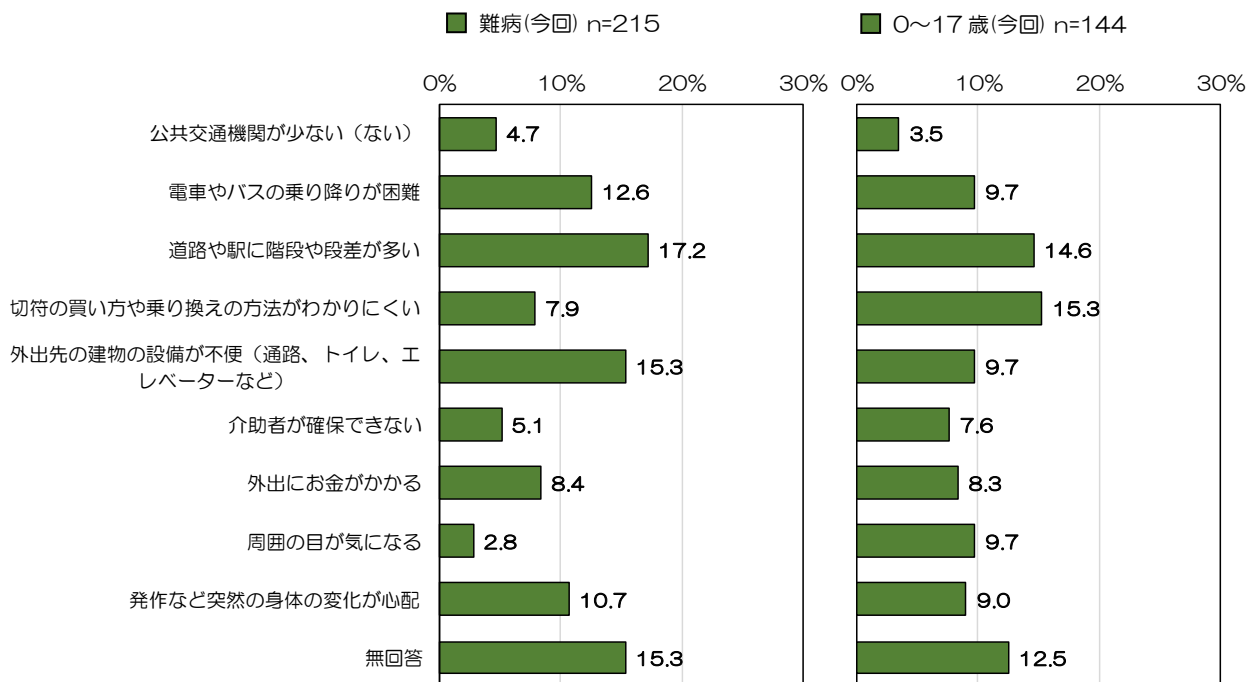
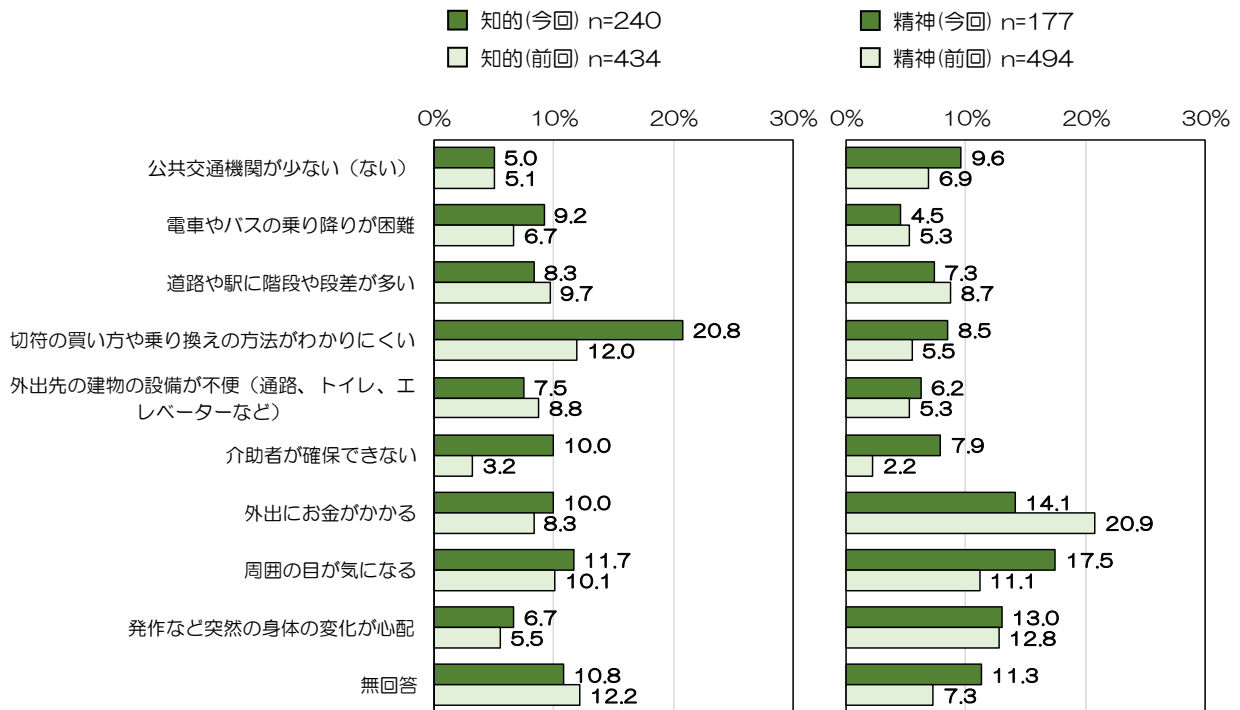
外出する際の困りごとについては、全体では「道路や駅に階段や段差が多い」が15.8%で最も高く、次いで「外出先の建物の設備が不便」が11.8%、「電車やバスの乗り降りが困難」が11.7%となっています。

障害種別でみると、身体障害者では「道路や駅に階段や段差が多い」が20.4%で最も高く、次いで「外出先の建物の設備が不便」が14.5%となっています。知的障害者では「切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい」が20.8%で最も高く、次いで「周囲の目が気になる」が11.7%となっています。精神障害者では「周囲の目が気になる」が17.5%で最も高く、次いで「外出にお金がかかる」が14.1%となっています。難病では「道路や駅に階段や段差が多い」が17.2%で最も高く、次いで「外出先の建物の設備が不便」が15.3%となっています。

前回調査との比較では、全体では「切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい」が4.0ポイント増加しています。身体障害者では「道路や駅に階段や段差が多い」が1.8ポイント、「外出先の建物の設備が不便」が3.1ポイント増加しています。知的障害者では「切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい」が8.8ポイント増加しています。精神障害者では「周囲の目が気になる」が6.4ポイント増加しています。

0~17歳でみると、「切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい」が15.3%で最も高く、次いで「道路や駅に階段や段差が多い」が14.6%となっています。



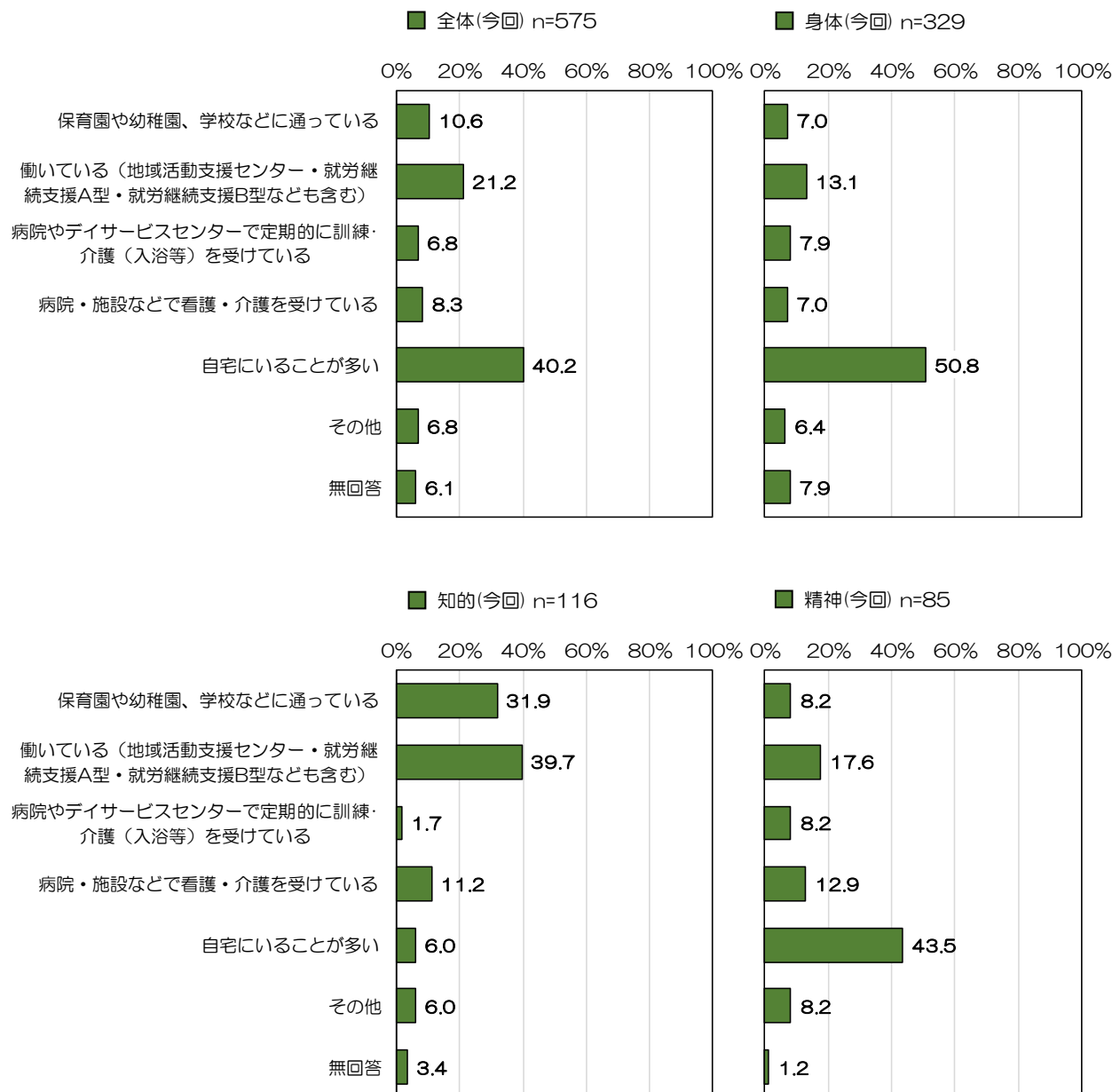


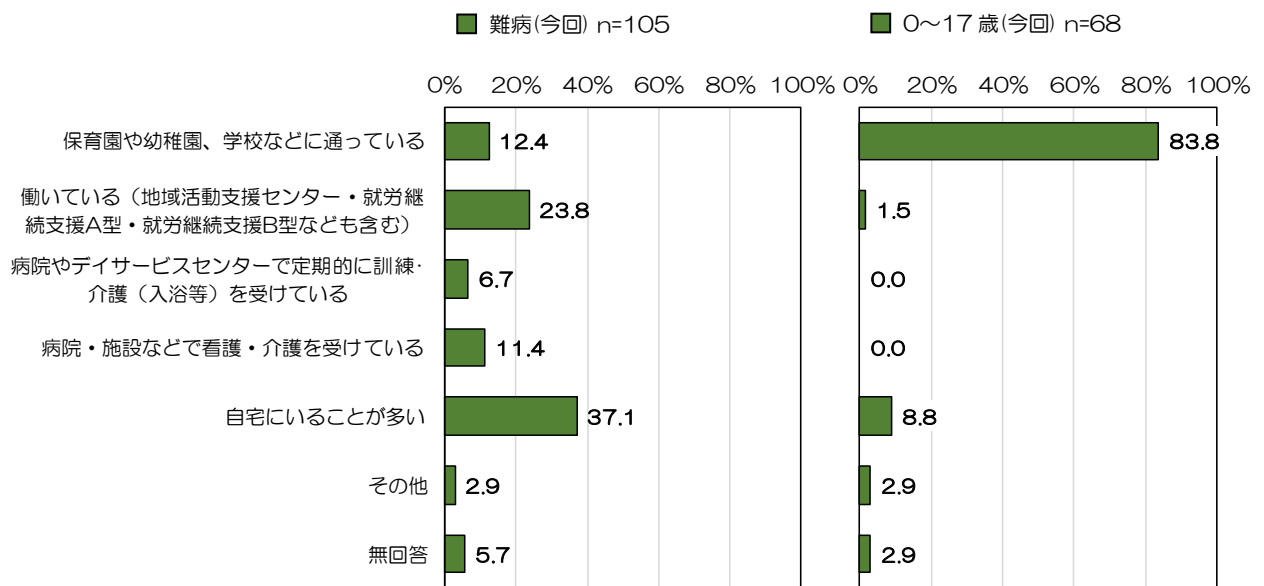
問14 あなたは、日中、主にどのように過ごしていますか。(〇は1つ)

主な日中の過ごし方については、全体では「自宅にすることが多い」が40.2%で最も高く、次いで「働いている」が21.2%、「保育園や幼稚園、学校などに通っている」が10.6%となっています。

障害種別でみると、身体障害者では「自宅にすることが多い」が50.8%で最も高く、次いで「働いている」が13.1%となっています。知的障害者では「働いている」が39.7%で最も高く、次いで「保育園や幼稚園、学校などに通っている」が31.9%となっています。精神障害者では「自宅にすることが多い」が43.5%で最も高く、次いで「働いている」が17.6%となっています。難病では「自宅にすることが多い」が37.1%で最も高く、次いで「働いている」が23.8%となっています。

0～17歳でみると、「保育園や幼稚園、学校などに通っている」が83.8%で最も高く、次いで「自宅にすることが多い」が8.8%となっています。





※その他の回答（抜粋）

- ・一人で外出している
- ・家族のための買い物
- ・施設内でのお手伝い
- ・リハビリのため散歩している
- ・就労移行支援
- ・児童発達支援センターに通っている
- ・趣味の活動
- ・友人と会う など

【問14で「保育園や幼稚園、学校などに通っている」と回答した方にお伺いします。】

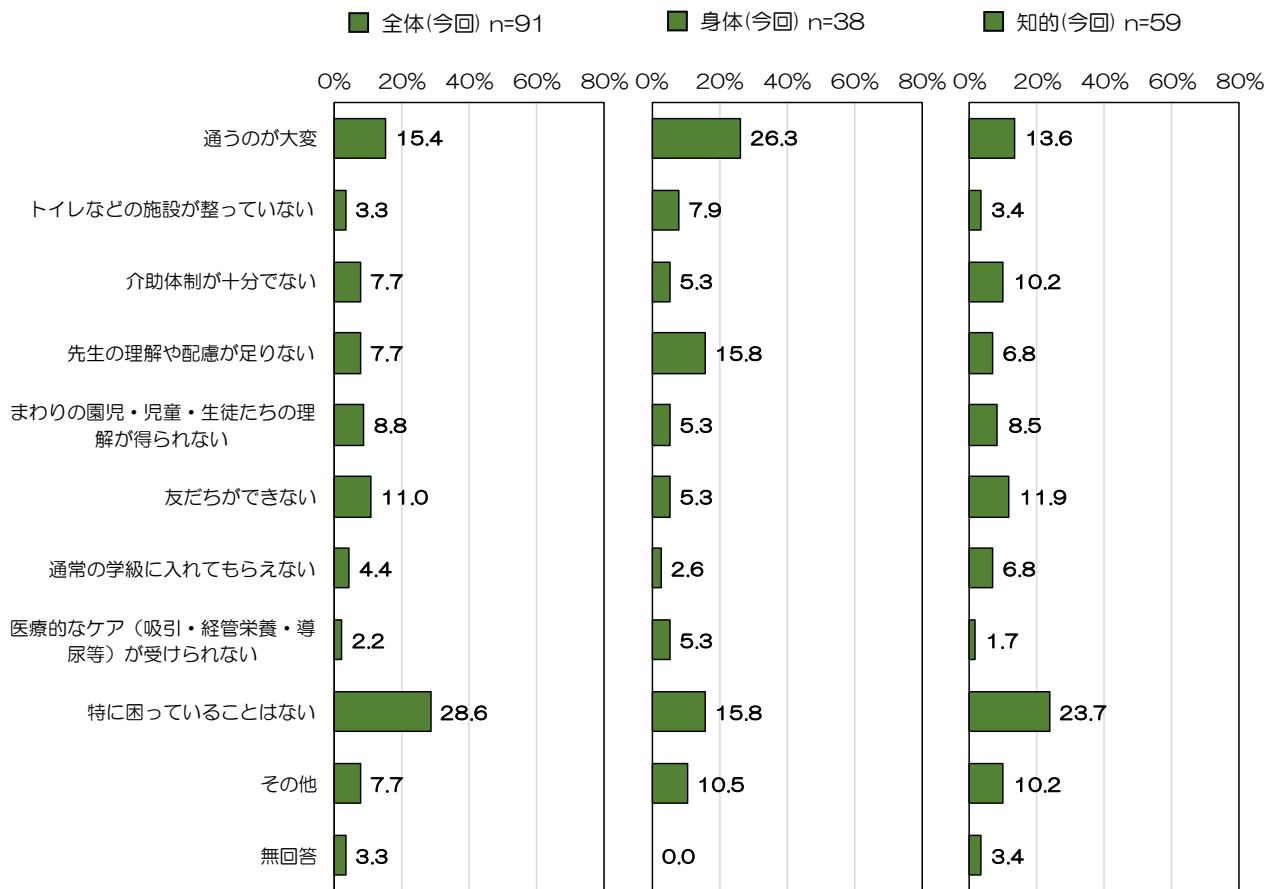
問14-1 保育園や幼稚園、学校などに通っていて困ることはありますか。

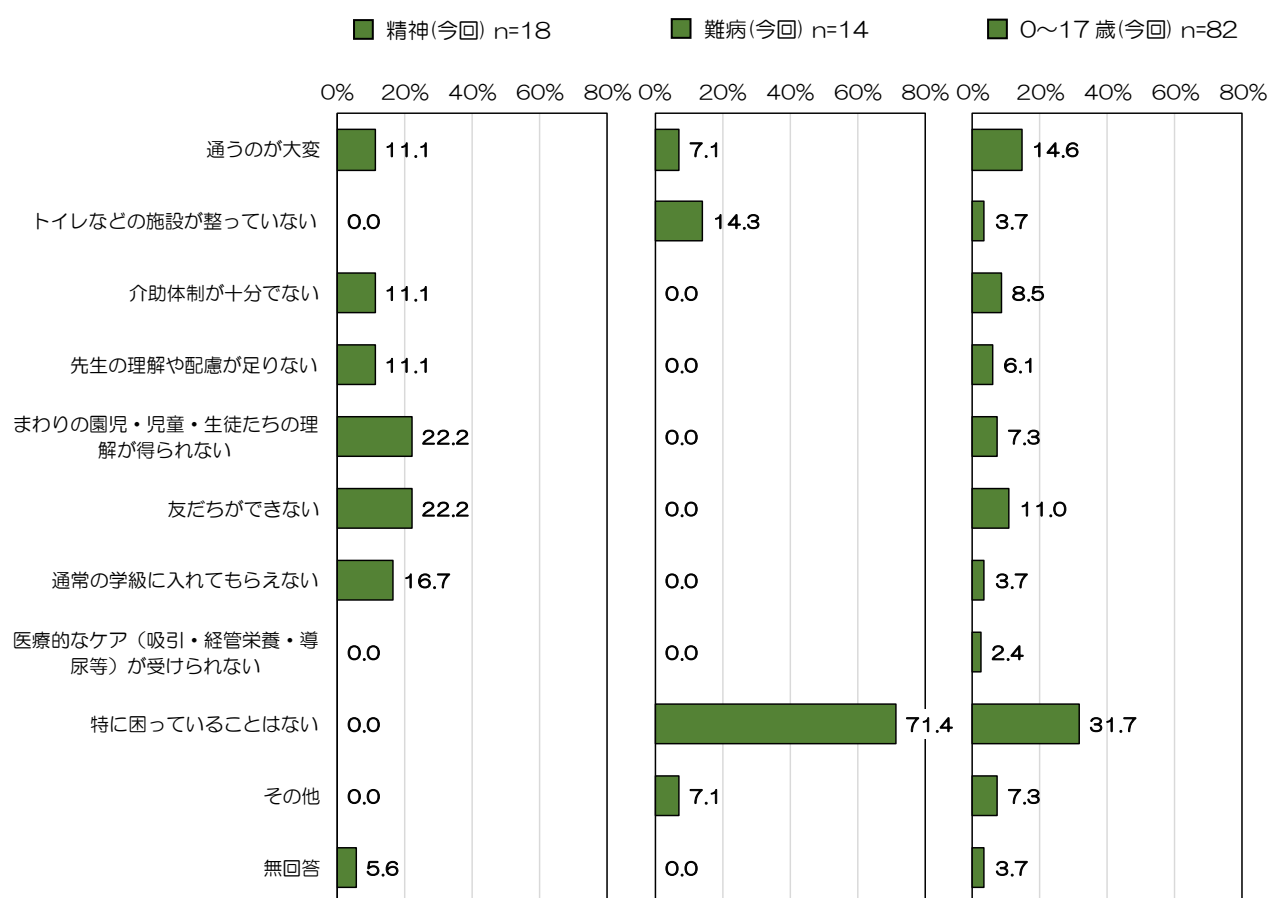
(〇はいくつでも)

保育園や幼稚園、学校などに通う際の困りごとについては、全体では「特に困っていることはない」が28.6%で最も高く、次いで「通うのが大変」が15.4%、「友だちができない」が11.0%となっています。

障害種別でみると、身体障害者では「通うのが大変」が26.3%で最も高く、次いで「先生の理解や配慮が足りない」「特に困っていることはない」がともに15.8%となっています。知的障害者では「特に困っていることはない」が23.7%で最も高く、次いで「通うのが大変」が13.6%となっています。精神障害者では「まわりの園児・児童・生徒たちの理解が得られない」「友だちができない」がともに22.2%で最も高く、次いで「通常の学級に入れてもらえない」が16.7%となっています。難病では「特に困っていることはない」が71.4%で最も高く、次いで「トイレなどの施設が整っていない」が14.3%となっています。

0~17歳でみると、「特に困っていることはない」が31.7%で最も高く、次いで「通うのが大変」が14.6%となっています。





※通うのが大変（具体的内容について）

- ・親が送り迎えしないと行けない（一人では行けない）
- ・電車等で困った時、手話や筆談が必要
- ・肢体不自由のため、送り迎えが必要
- ・学校が遠いので、通学に時間がかかる
- ・スクールバスの時間に間に合うかギリギリ
- ・朝の準備、移動支援の確保、渋滞

※その他の回答（抜粋）

- ・スクールバスの時間が遅いため、出社が遅くなってしまふ
- ・特別支援学校の教室数が足りない
- ・周囲の目が気になる
- ・先生の不足
- ・少人数教室で、特性に合った指導が受けられると良い
- ・見えないことでハンディキャップを感じる

【問14で「保育園や幼稚園、学校などに通っている」と回答した方にお伺いします。】

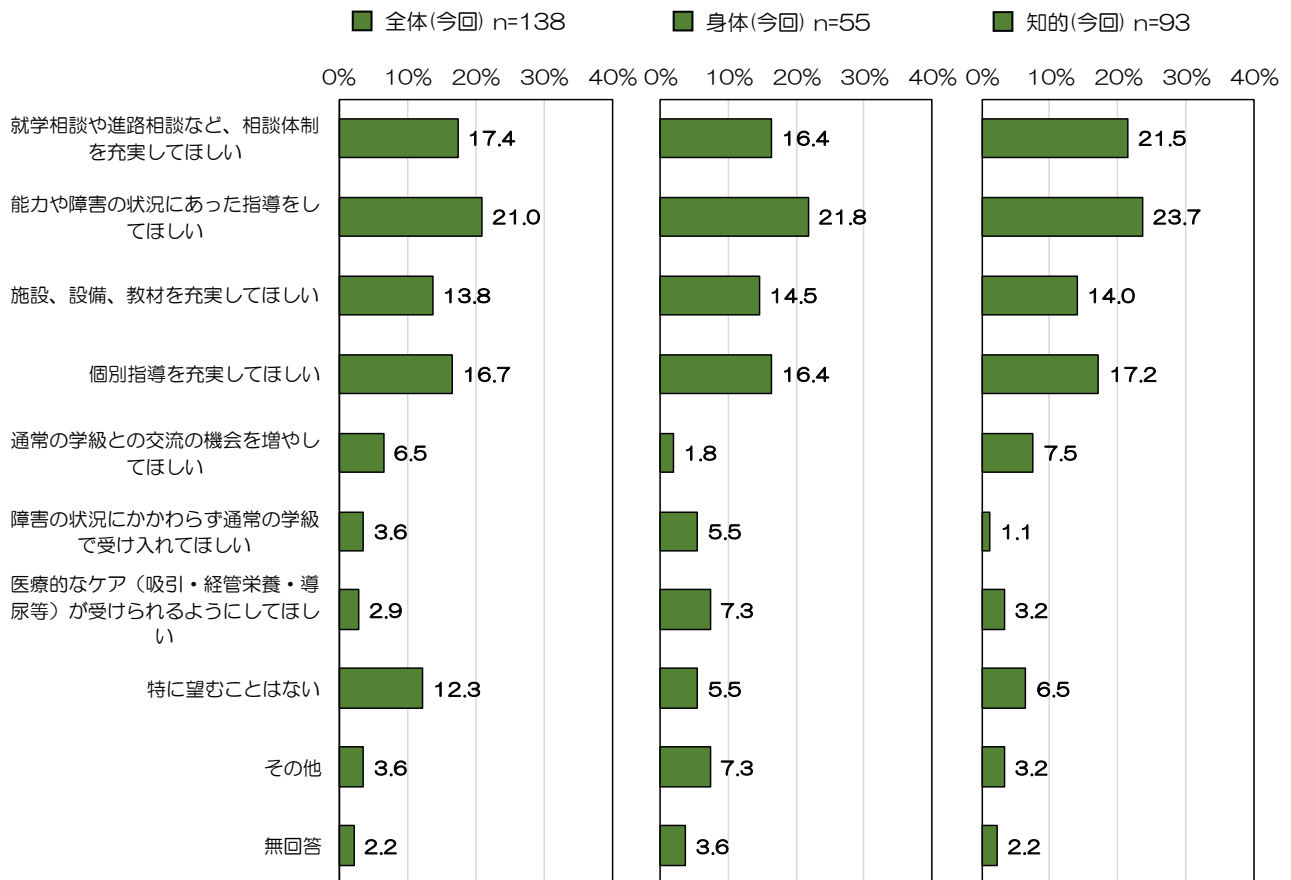
問14-2 保育園や幼稚園、学校などに望むことはどのようなことですか。

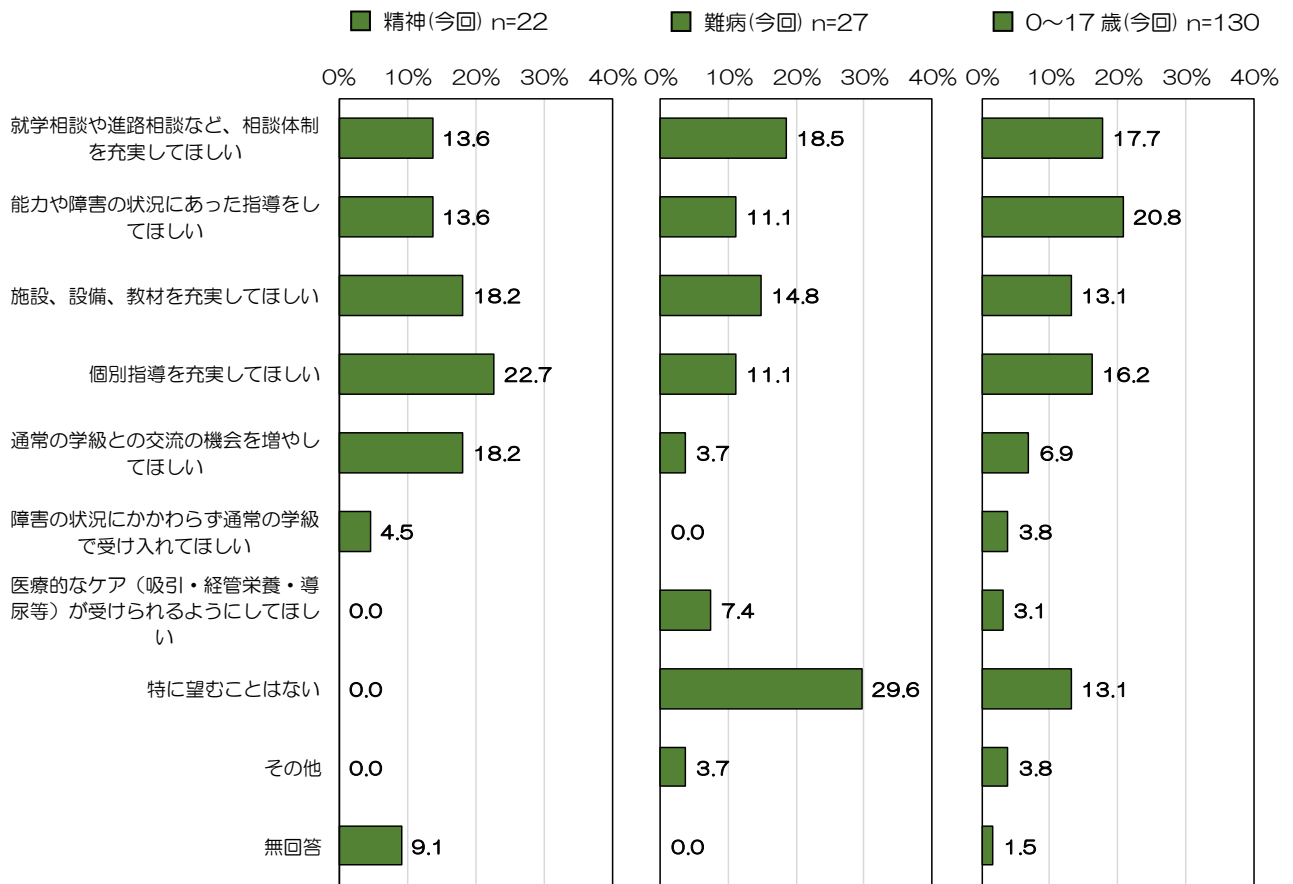
(〇はいくつでも)

保育園や幼稚園、学校などに望むことについては、全体では「能力や障害の状況にあった指導をしてほしい」が21.0%で最も高く、次いで「就学相談や進路相談など、相談体制を充実してほしい」が17.4%、「個別指導を充実してほしい」が16.7%となっています。

障害種別でみると、身体障害者では「能力や障害の状況にあった指導をしてほしい」が21.8%で最も高く、次いで「就学相談や進路相談など、相談体制を充実してほしい」「個別指導を充実してほしい」がともに16.4%となっています。知的障害者では「能力や障害の状況にあった指導をしてほしい」が23.7%で最も高く、次いで「就学相談や進路相談など、相談体制を充実してほしい」が21.5%となっています。精神障害者では「個別指導を充実してほしい」が22.7%で最も高く、次いで「施設、設備、教材を充実してほしい」「通常の学級との交流の機会を増やしてほしい」がともに18.2%となっています。難病では「特に望むことはない」が29.6%で最も高く、次いで「就学相談や進路相談など、相談体制を充実してほしい」が18.5%となっています。

0~17歳でみると、「能力や障害の状況にあった指導をしてほしい」が20.8%で最も高く、次いで「就学相談や進路相談など、相談体制を充実してほしい」が17.7%となっています。





※その他の回答（抜粋）

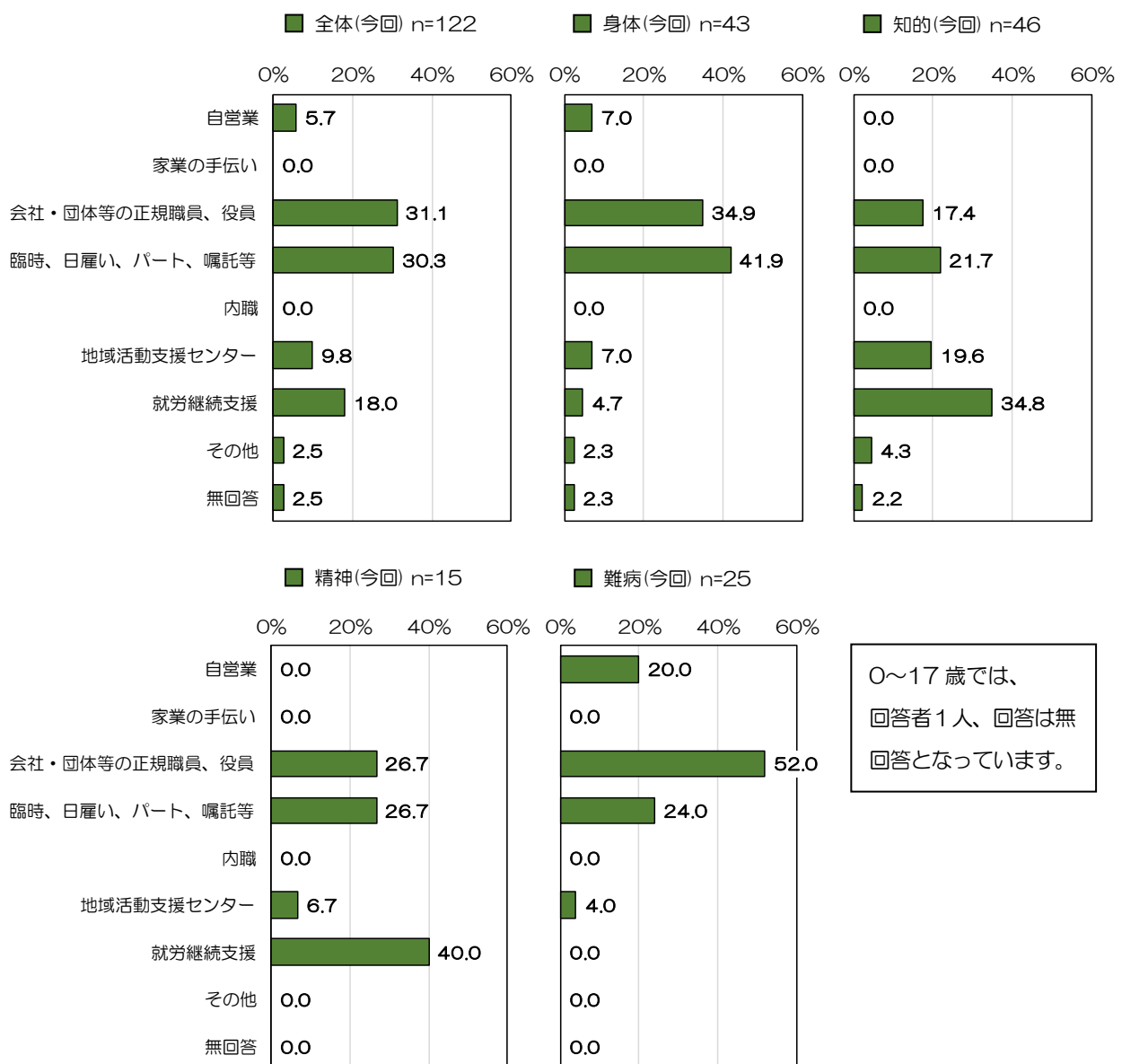
- ・ 小学校において、聴覚障害児の聞こえの教室、難聴教室には専門の先生や補聴器、人工内耳のチェックができるような言語聴覚士の先生に来てもらうなど、支援体制が整備されていると良い
- ・ 特別支援学校は下校が早いため、下校時間をもう少し遅らせてほしい
- ・ 障害児者が当たり前に行事に参加し、一緒に居られるように配慮してほしい（運動会するとき、音が苦手な子どもには教室を開放するなど）
- ・ 保育園の育成枠を増やしてほしい

【問14で「働いている」と回答した方にお伺いします。】

問14-3 仕事の形態は次のどれですか。(〇は1つ)

仕事の形態については、全体では「会社・団体等の正規職員、役員」が31.1%で最も高く、次いで「臨時、日雇い、パート、嘱託等」が30.3%、「就労継続支援」が18.0%となっています。

障害種別でみると、身体障害者では「臨時、日雇い、パート、嘱託等」が41.9%で最も高く、次いで「会社・団体等の正規職員、役員」が34.9%となっています。知的障害者では「就労継続支援」が34.8%で最も高く、次いで「臨時、日雇い、パート、嘱託等」が21.7%となっています。精神障害者では「就労継続支援」が40.0%で最も高く、次いで「会社・団体等の正規職員、役員」「臨時、日雇い、パート、嘱託等」がともに26.7%となっています。難病では「会社・団体等の正規職員、役員」が52.0%で最も高く、次いで「臨時、日雇い、パート、嘱託等」が24.0%となっています。



0~17歳では、
回答者1人、回答は無
回答となっています。

※その他の回答

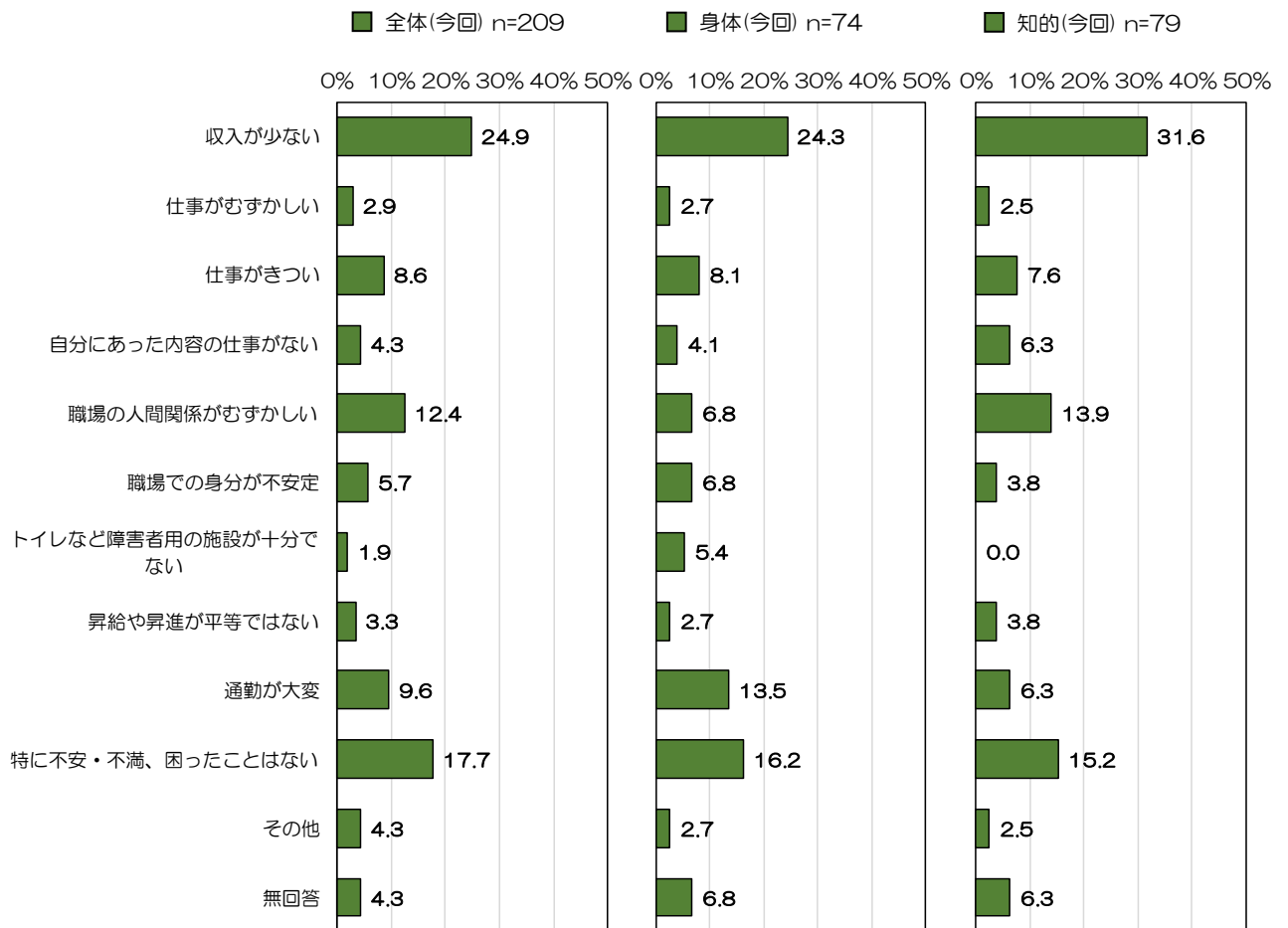
- ・施設内就労
- ・準常勤

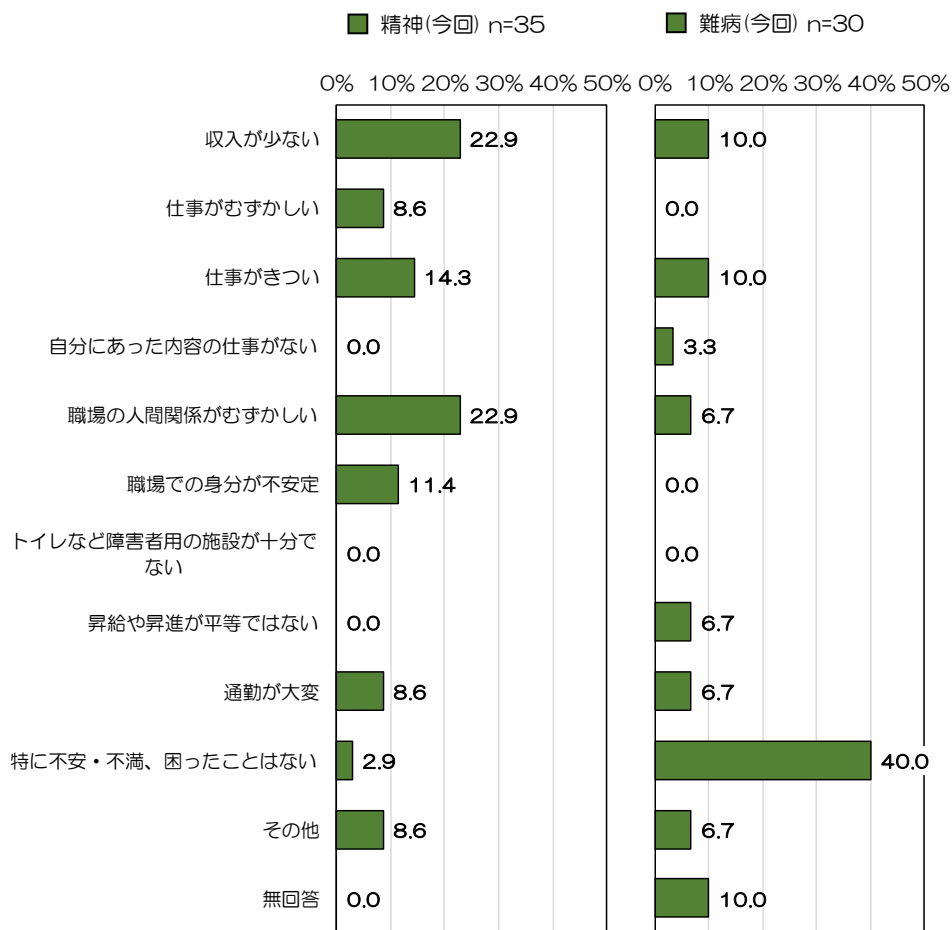
【問14で「働いている」と回答した方にお伺いします。】

問14-4 仕事をするうえで不安・不満に思ったことがありますか。(〇はいくつでも)

仕事をするうえでの不安・不満については、全体では「収入が少ない」が24.9%で最も高く、次いで「特に不安・不満、困ったことはない」が17.7%、「職場の人間関係がむずかしい」が12.4%となっています。

障害種別でみると、難病を除き「収入が少ない」が最も高い割合を示しています。身体障害者では「通勤が大変」が他の種別と比べて高くなっています。また、知的障害者と精神障害者では「職場の人間関係がむずかしい」が他の種別と比べて高くなっています。





0~17歳では、
回答者1人、回答は無
回答となっています。

※その他の回答（抜粋）

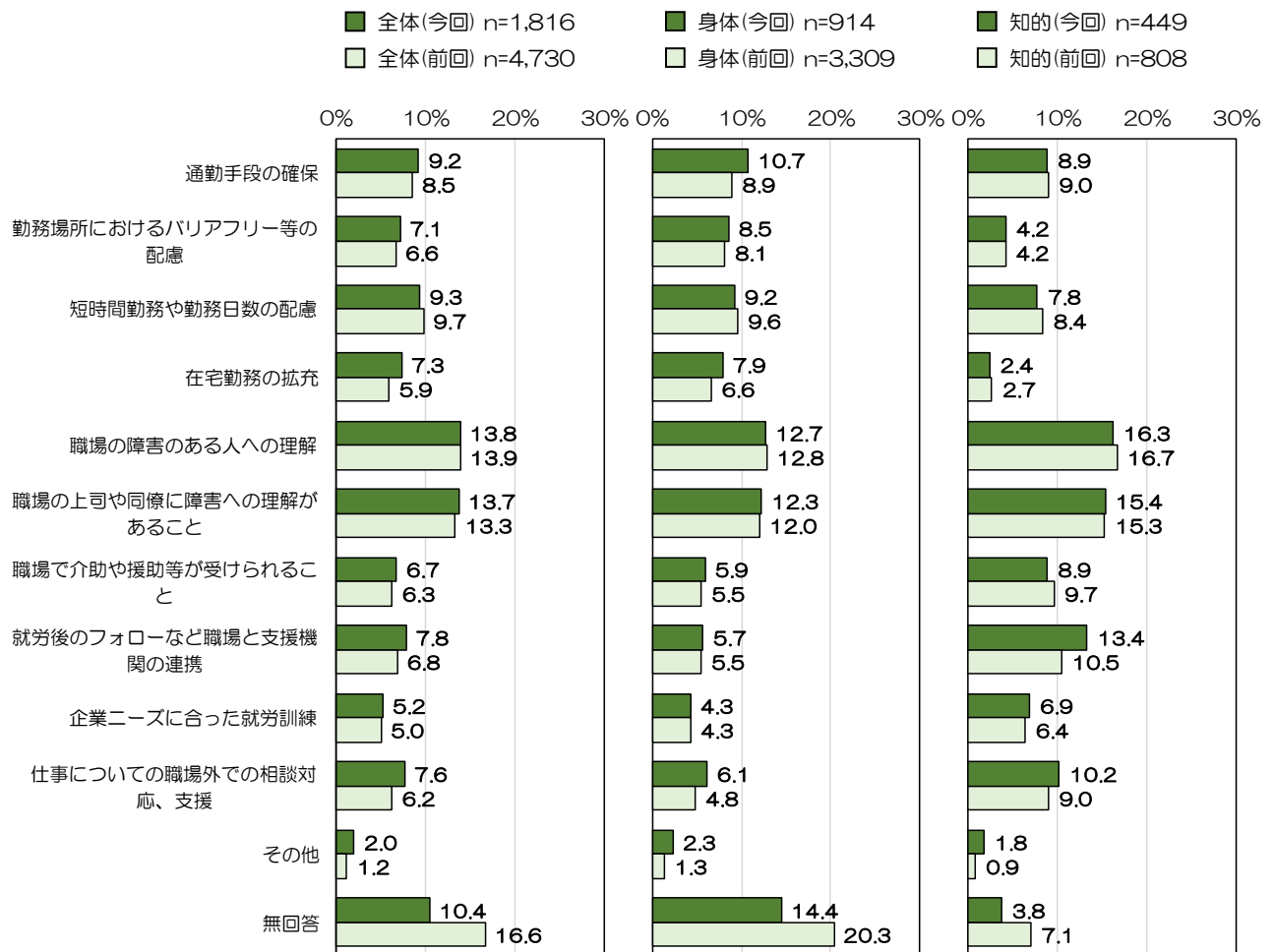
- 言葉の暴力や急な予定の変更
- 転勤により、かかりつけ医から離れるのが不安
- 常に体調を崩していることを理解されないことへの不満
- 面接の際、障害への理解がなく、面接のときには元気と嘘をつかなければ、採用してもらえない
- 職場環境（エアコンなど）
- 定年後の生活が不安
- 現在の施設が無くならないか不安
- 障害者ではないということで仕事をしているため、きつい事がある

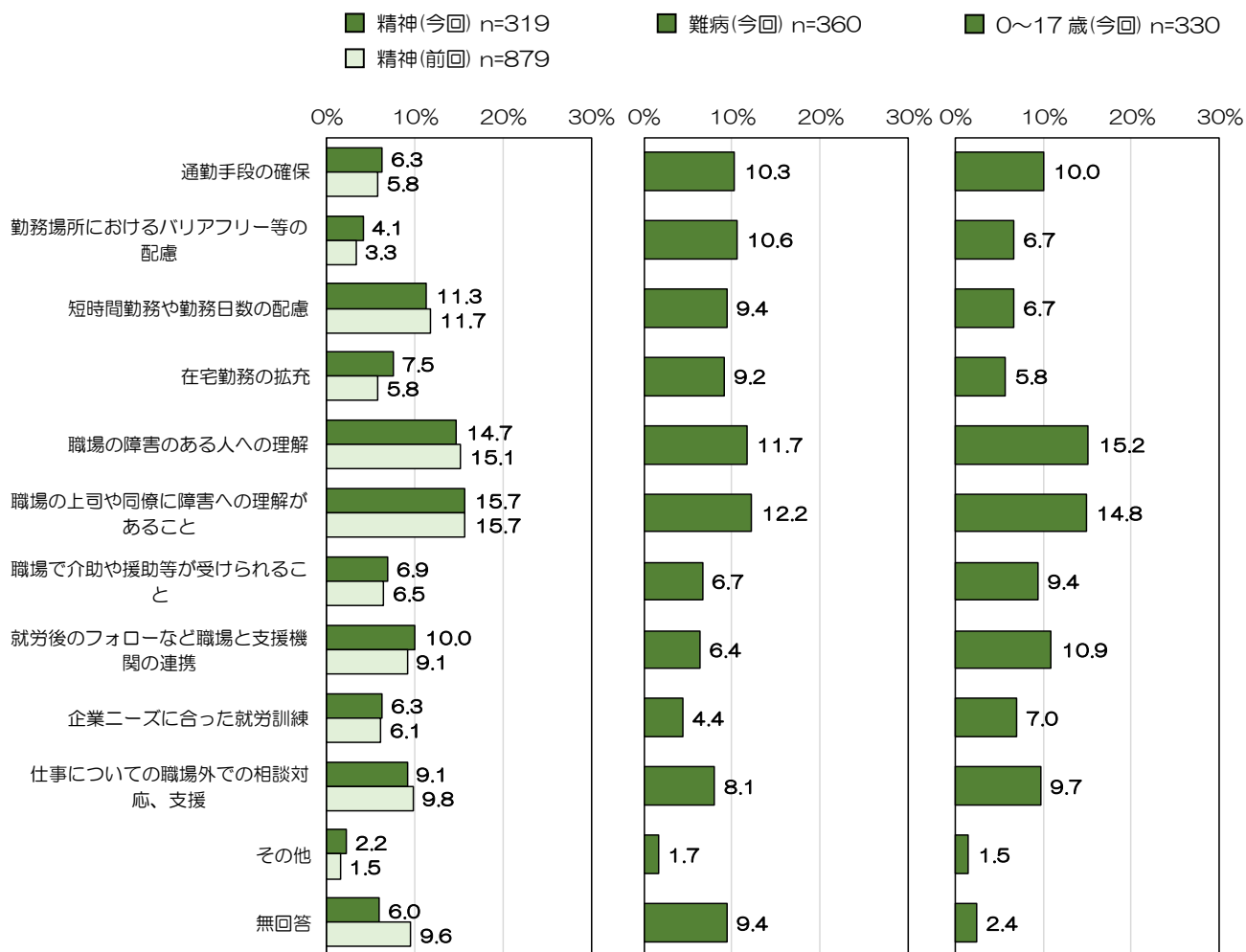
問15 あなたは、障害のある人の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

障害のある人の就労支援として必要なことについては、全体では「職場の障害のある人への理解」が13.8%で最も高く、次いで「職場の上司や同僚に障害への理解があること」が13.7%、「短時間勤務や勤務日数の配慮」が9.3%となっています。

障害種別でみると、すべての種別で「職場の障害のある人への理解」「職場の上司や同僚に障害への理解があること」が高い割合を示しています。知的障害者においては「就労後のフォローなど職場と支援機関の連携」「仕事についての職場外での相談対応、支援」の割合が他の種別と比べて高くなっています。

0~17歳でみると、「職場の障害のある人への理解」が15.2%で最も高く、次いで「職場の上司や同僚に障害への理解があること」が14.8%となっています。





※その他の回答（抜粋）

- 就職に平等なチャンスがほしい
- 周囲の暖かい対応が必要
- 体調に合わせて休めること
- 身体障害者用トイレの確保
- 障害のある人が安心して通勤できる整備
- 働く場の充実
- 定期的なカウンセリングによる支援
- 再就労支援
- 支援や配慮は必要だが、本人の努力も必要
- 家族と職場との密なコミュニケーション
- 障害のある人を受け入れた企業への支援
- 自立して生活できるだけの収入
- 一般企業であれば、適切なアドバイスやフォローができるジョブコーチの充実
- 地域社会の理解

5 生活全般・社会参加について

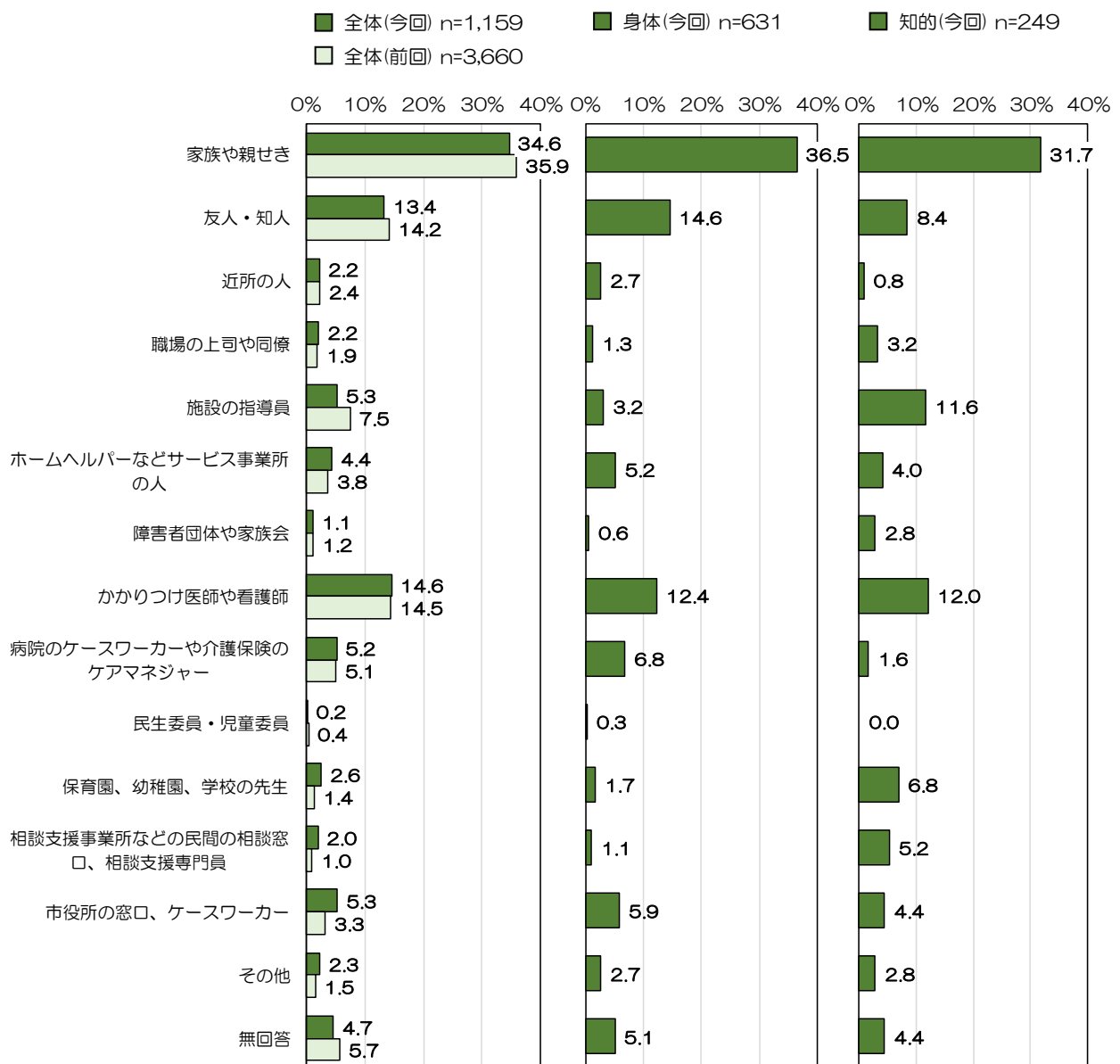
問16 あなたは、普段、悩みごとや困ったことがあるとき、どなたに相談していますか。
(〇はいくつでも)

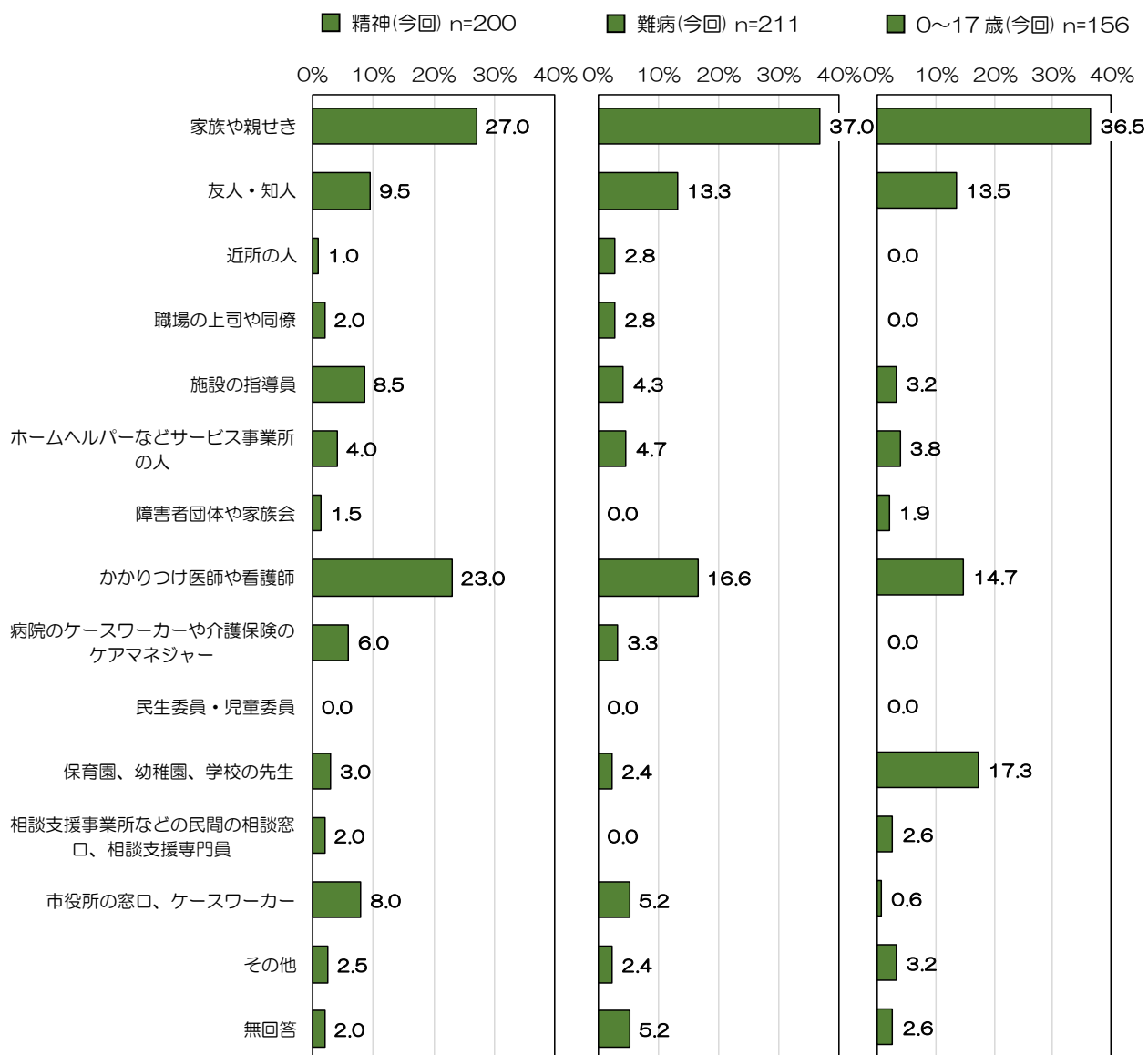
普段の悩みごとや困りごとの相談先については、全体では「家族や親せき」が34.6%で最も高く、次いで「かかりつけ医師や看護師」が14.6%、「友人・知人」が13.4%となっています。

障害種別でみると、すべての種別で「家族や親せき」が最も高い割合を示しています。知的障害者においては、「施設の指導員」の割合が他の種別と比べて高くなっています。

前回調査との比較では、「市役所の窓口、ケースワーカー」が2.0ポイント増加しています。

0~17歳でみると、「家族や親せき」が36.5%で最も高く、次いで「保育園、幼稚園、学校の先生」が17.3%となっています。





※その他の回答（抜粋）

- ネットでの相談アプリ
- カウンセラー
- 公的相談窓口
- 成年後見人
- デイサービスの職員
- 意思疎通や発語ができないため、相談できない
- リハビリの先生

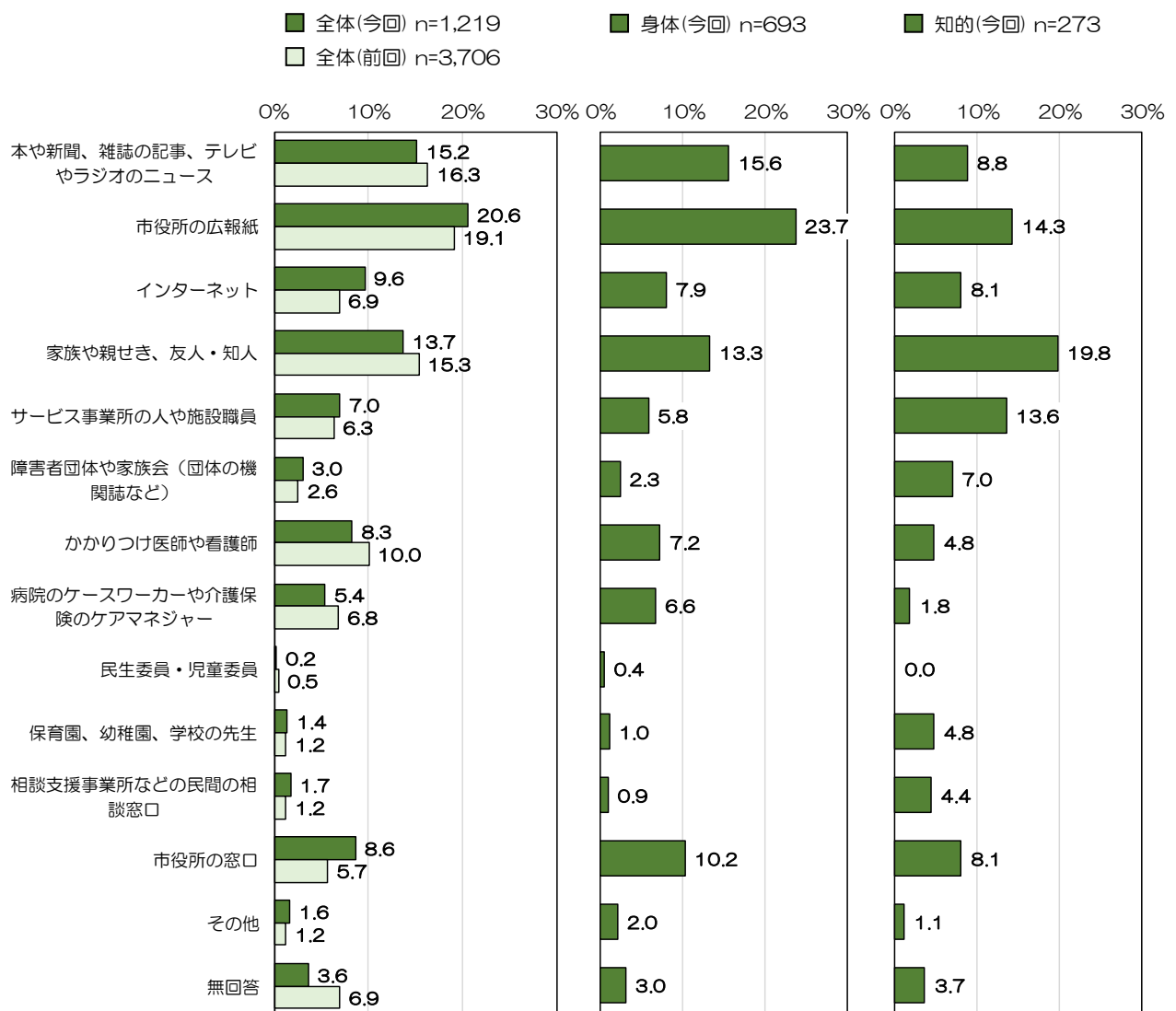
問17 あなたは障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(〇はいくつでも)

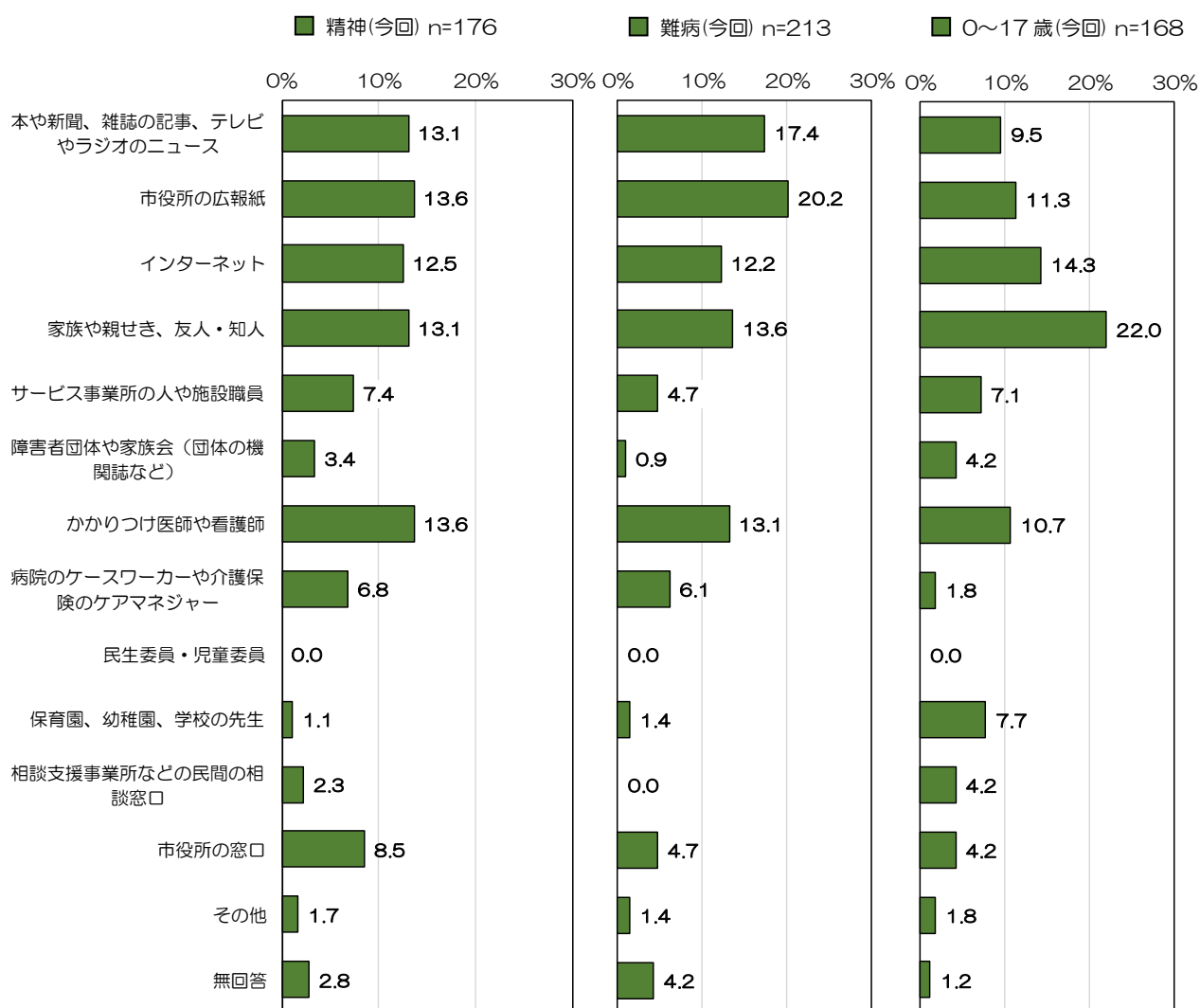
障害のことや福祉サービスの情報の入手先については、全体では「市役所の広報紙」が20.6%で最も高く、次いで「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が15.2%、「家族や親せき、友人・知人」が13.7%となっています。

障害種別で見ると、身体障害者では「市役所の広報紙」が23.7%で最も高く、次いで「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が15.6%となっています。知的障害者では「家族や親せき、友人・知人」が19.8%で最も高く、次いで「市役所の広報紙」が14.3%となっています。精神障害者では「市役所の広報紙」「かかりつけ医師や看護師」がともに13.6%で最も高く、次いで「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」「家族や親せき、友人・知人」がともに13.1%となっています。難病では「市役所の広報紙」が20.2%で最も高く、次いで「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が17.4%となっています。

前回調査との比較では、「市役所の窓口」が2.9ポイント増加しています。

0～17歳で見ると、「家族や親せき、友人・知人」が22.0%で最も高く、次いで「インターネット」が14.3%となっています。





※その他の回答（抜粋）

- ・市役所から送られてくる郵便物
- ・ポスティングのチラシ
- ・同じ病気の知人
- ・かかりつけの病院
- ・同じ障害のある家族から
- ・リハビリの先生

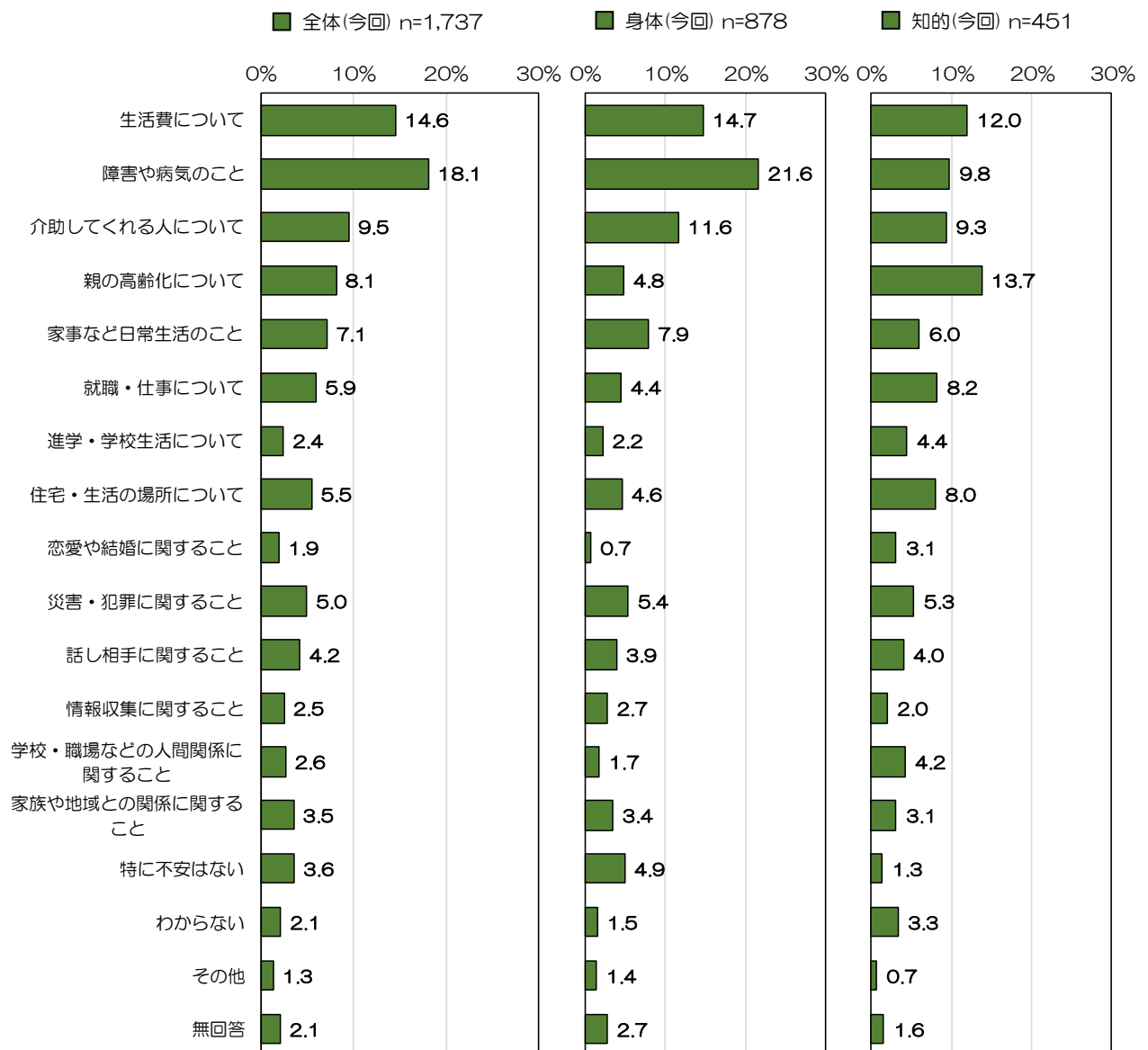
問18 あなたは、現在や今後の生活で不安に思っていることはありますか。
(〇はいくつでも)

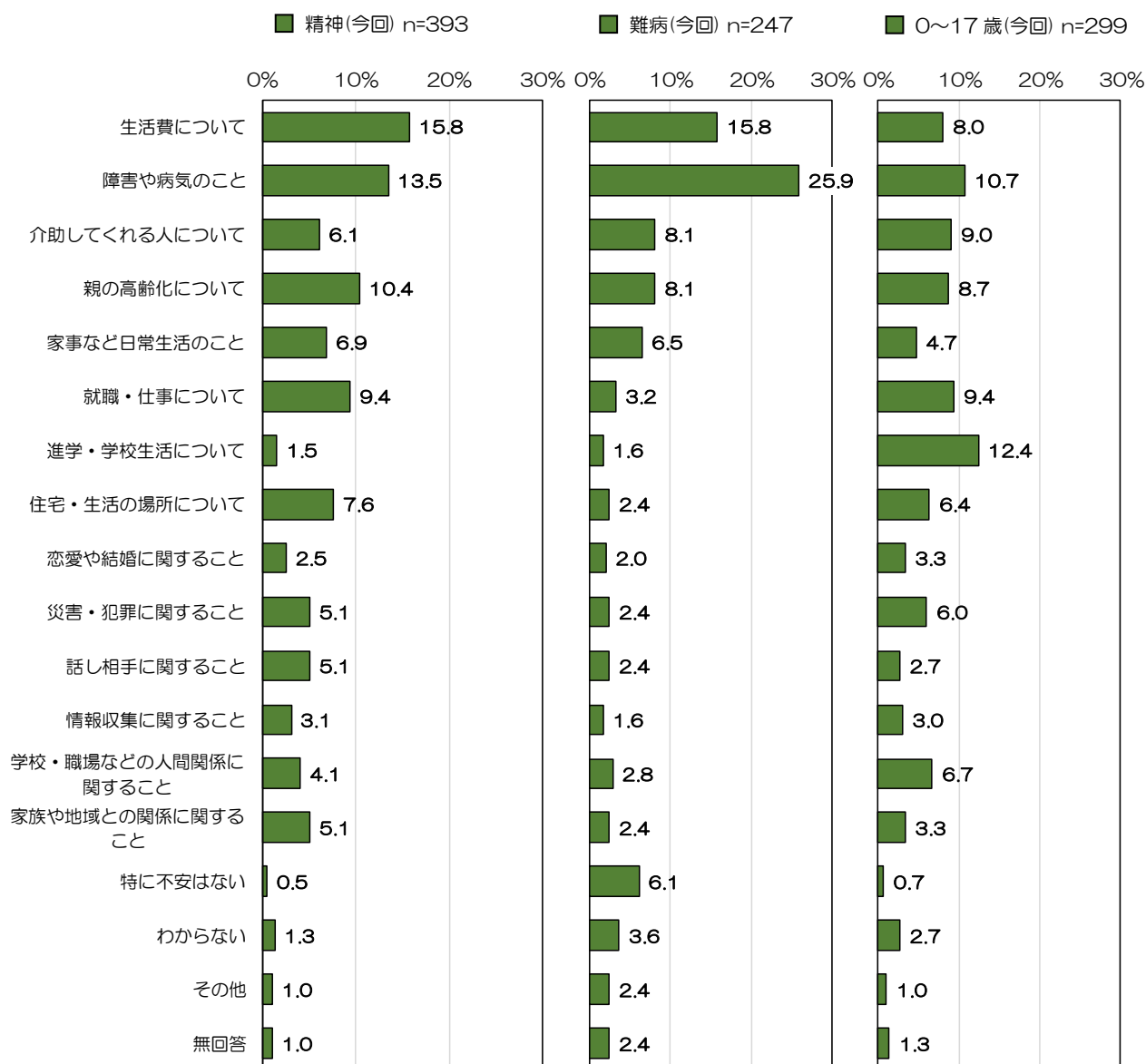
現在や今後の生活で不安に思っていることについては、全体では「障害や病気のこと」が18.1%で最も高く、次いで「生活費について」が14.6%、「介助してくれる人について」が9.5%、「親の高齢化について」が8.1%、「家事など日常生活のこと」が7.1%となっています。

障害種別でみると、身体障害者では「障害や病気のこと」が21.6%で最も高く、次いで「生活費について」が14.7%となっています。知的障害者では「親の高齢化について」が13.7%で最も高く、次いで「生活費について」が12.0%となっています。精神障害者では「生活費について」が15.8%で最も高く、次いで「障害や病気のこと」が13.5%となっています。難病では「障害や病気のこと」が25.9%で最も高く、次いで「生活費について」が15.8%となっています。

他の種別と比べると、知的障害者においては「親の高齢化について」、精神障害者においては「就職・仕事について」が高くなっています。

0~17歳でみると、「進学・学校生活について」が12.4%で最も高く、次いで「障害や病気のこと」が10.7%、「就職・仕事について」が9.4%となっています。





※その他の回答（抜粋）

- 一人になったとき、日常生活や住む場所、生活費のことが心配
- 現在の体力をいつまで維持できるか、いつまで働けるか心配
- 現在の収入で介護施設に入所できるか心配
- 治療費や薬代への心配
- 子育てへの不安
- 今後の福祉制度への不安
- 病気になるリスクが高いことへの不安
- 機器の買い替え時の金銭面に対する不安
- 学校卒業後の進路や余暇活動の場がないことへの不安

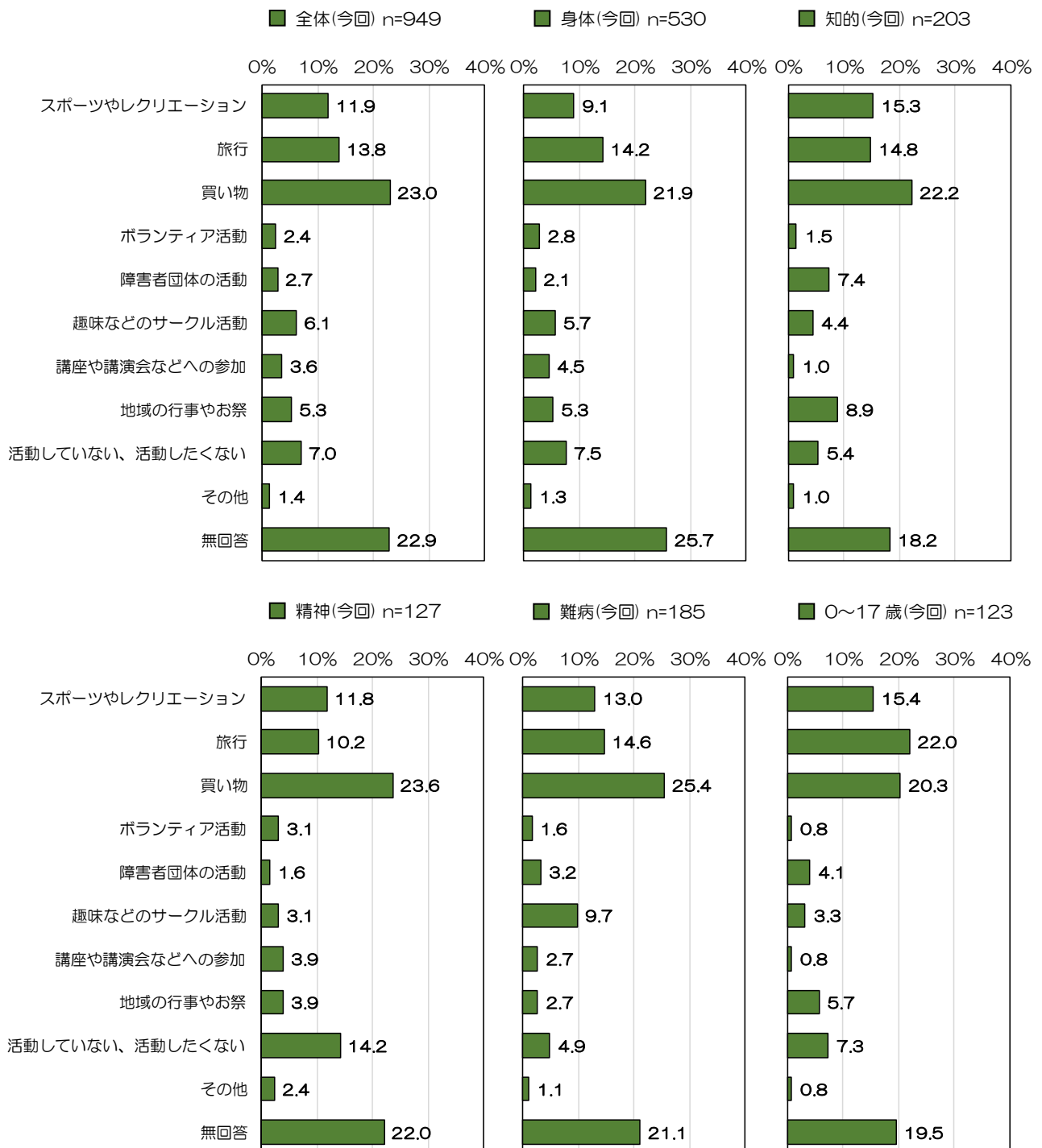
問19 あなたは、現在行っている活動、今後活動したいと思うことは何ですか。
(それぞれ0はいくつでも)

◆現在行っている活動について

現在行っている活動については、全体では「買い物」が23.0%で最も高く、次いで「旅行」が13.8%、「スポーツやレクリエーション」が11.9%となっています。

障害種別でみると、すべての種別で「スポーツやレクリエーション」「旅行」「買い物」の割合が高くなっています。精神障害者においては、「活動していない、活動したくない」の割合が他の種別と比べて高くなっています。

0~17歳でみると、「旅行」が22.0%で最も高く、次いで「買い物」が20.3%となっています。

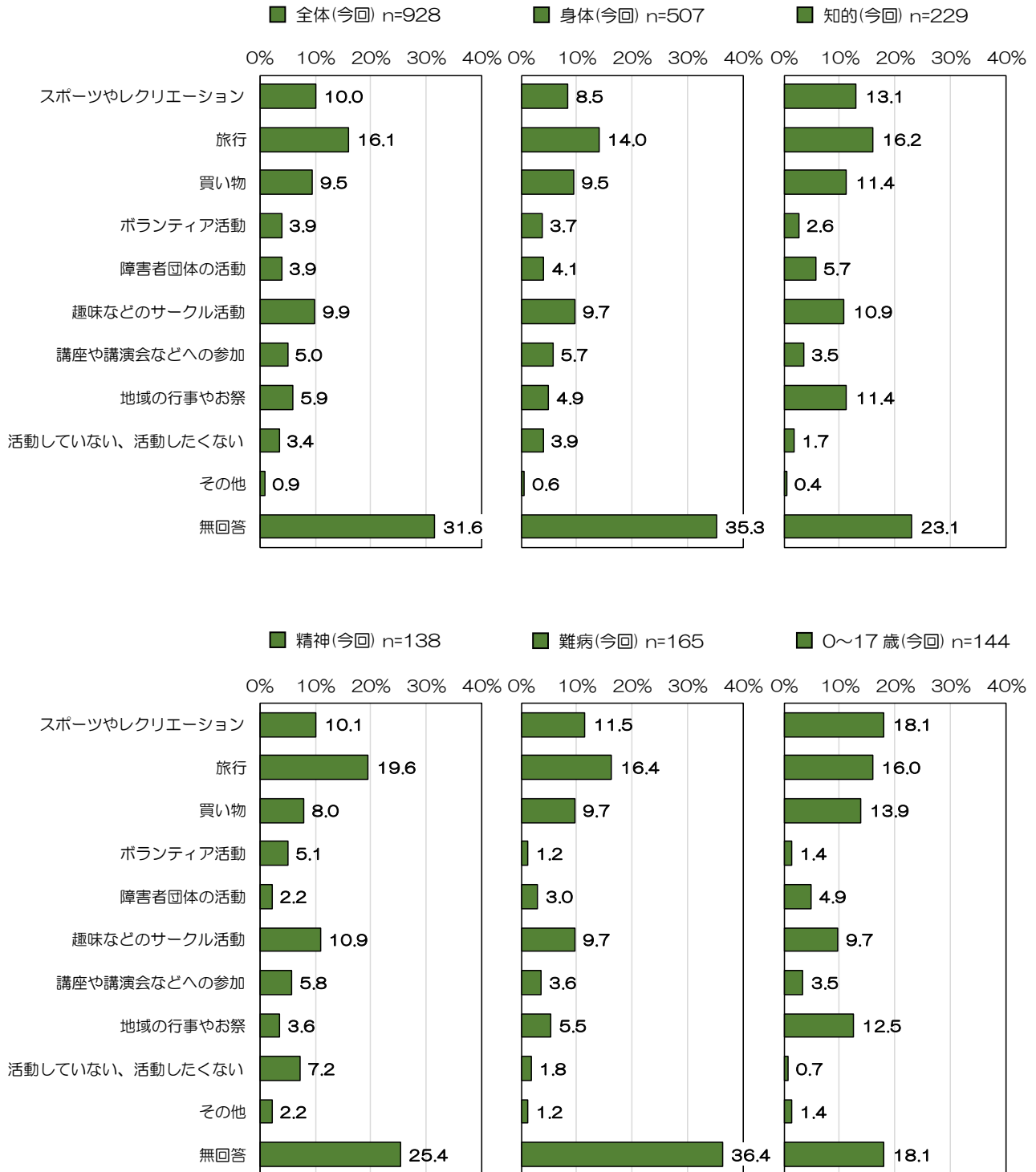


◆今後活動したいことについて

今後活動したいことについては、全体では「旅行」が16.1%で最も高く、次いで「スポーツやレクリエーション」が10.0%、「趣味などのサークル活動」が9.9%となっています。

障害種別でみると、すべての種別で「旅行」が最も高い割合を示しています。知的障害者においては、「地域の行事やお祭」の割合が他の種別と比べて高くなっています。

0～17歳でみると、「スポーツやレクリエーション」が18.1%で最も高く、次いで「旅行」が16.0%となっています。

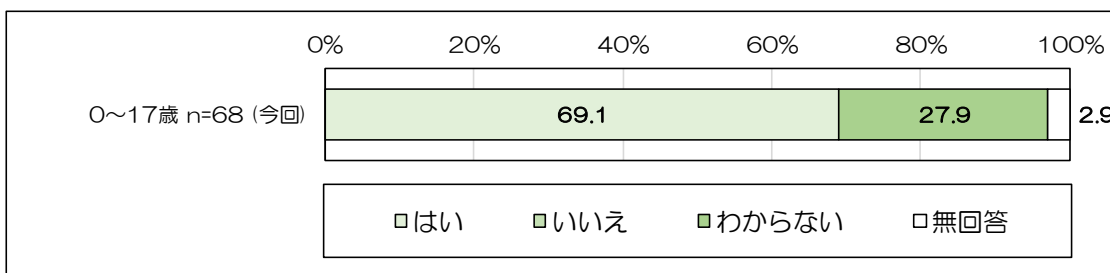
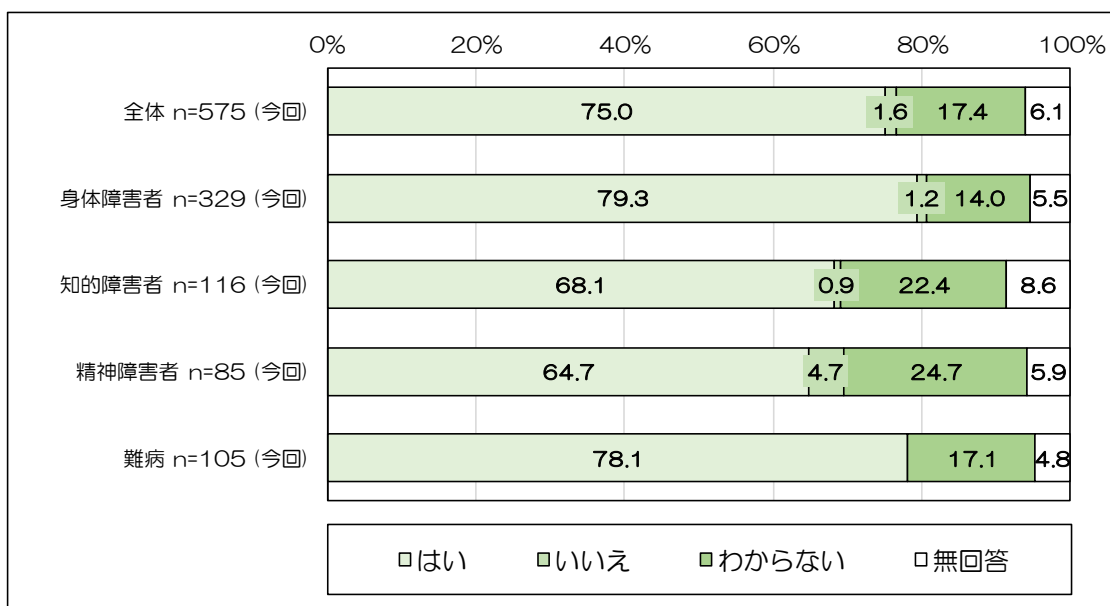


問20 あなたは、今後も朝霞市に暮らし続けたいですか。(〇は1つ)

今後も朝霞市に暮らし続けたいかについては、全体では「はい」が75.0%で最も高く、次いで「わからない」が17.4%、「いいえ」が1.6%となっています。

障害種別で「はい」の割合をみると、身体障害者では79.3%、知的障害者では68.1%、精神障害者では64.7%、難病では78.1%と、精神障害者が他の種別と比べて低くなっています。また、「いいえ」の割合も精神障害者において、他の種別と比べて高くなっています。

0~17歳でみると、「はい」が69.1%で最も高く、次いで「わからない」が27.9%となっています。



6 障害福祉サービス等の利用について

問21 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。

①から⑳のそれぞれについて、「現在の利用状況」「今後の利用意向」の両方にお答え（番号に○）ください。

◆全体

障害福祉サービスの現在の利用状況 「利用している」

		1位	2位	3位	4位	5位
全 体	今回 (n=575)	計画相談支援	自立訓練 (機能訓練)	居宅介護 (ホームヘルプ)	生活介護	施設入所支援
		12.0%	7.1%	6.3%	5.4%	5.0%
	前回 (n=1,773)	自立訓練 (機能訓練)	生活介護	居宅介護 (ホームヘルプ)	相談支援 (計画相談支援・ 地域移行支援等)	短期入所 (ショートステイ)
		6.1%	6.0%	5.6%	5.0%	4.2%

地域生活支援事業の現在の利用状況 「利用している」

		1位	2位	3位	4位	5位
全 体	今回 (n=575)	日常生活用具給 付事業	移動支援事業	相談支援事業	地域活動支援セ ンター事業	日中一時支援事 業
		7.3%	6.8%	4.2%	4.0%	1.6%
	前回 (n=1,773)	日常生活用具給 付事業	移動支援事業	相談支援事業	地域活動支援セ ンター事業	日中一時支援事 業
		5.6%	4.8%	3.3%	2.7%	2.1%

障害福祉サービスの今後の利用意向 「すぐ利用したい」

		1位	2位	3位	4位	5位
全 体	今回 (n=575)	計画相談支援	自立訓練 (機能訓練)	居宅介護 (ホームヘルプ)	就労継続支援 (B型)	児童発達支援
		5.6%	3.1%	3.0%	2.8%	2.4%

地域生活支援事業の今後の利用意向 「すぐ利用したい」

		1位	2位	3位	3位	5位
全 体	今回 (n=575)	移動支援事業	日常生活用具給 付事業	相談支援事業	日中一時支援事 業	障害者理解促進 研修・啓発事業
		3.7%	3.3%	2.3% (同位)	2.3% (同位)	1.7% (同位)
						地域活動支援セ ンター事業
						1.7% (同位)

◆全体 障害福祉サービスの現在の利用状況

		0%	20%	40%	60%	80%	100%
①居宅介護（ホームヘルプ）	今回	6.3	73.0	20.7			
	前回	5.6	60.7	33.7			
②重度訪問介護	今回	0.9	75.8	23.3			
	前回	1.6	61.4	37.0			
③重度障害者等包括支援	今回	2.1	75.3	22.6			
	前回	1.7	58.4	39.9			
④短期入所（ショートステイ）	今回	4.7	73.4	21.9			
	前回	4.2	54.0	41.7			
⑤同行援護	今回	2.1	74.8	23.1			
	前回	1.1	59.7	39.1			
⑥行動援護	今回	2.1	74.6	23.3			
	前回	1.6	59.0	39.4			
⑦生活介護	今回	5.4	72.7	21.9			
	前回	6.0	55.2	38.7			
⑧療養介護	今回	2.1	73.9	24.0			
	前回	1.9	55.7	42.4			
⑨共同生活援助 （グループホーム）	今回	2.1	74.6	23.3			
	前回	1.7	55.3	43.0			
⑩施設入所支援	今回	5.0	73.6	21.4			
	前回	3.1	53.6	43.3			
⑪自立訓練（機能訓練）	今回	7.1	69.6	23.3			
	前回	6.1	54.2	39.7			
⑫自立訓練（生活訓練）	今回	4.3	71.7	24.0			
	前回	2.7	56.2	41.2			
⑬宿泊型自立訓練	今回	0.9	74.3	24.9			
⑭就労移行支援	今回	1.4	73.2	25.4			
	前回	1.6	56.0	42.4			
⑮就労継続支援（A型）	今回	0.3	73.4	26.3			
	前回	0.7	56.3	43.0			
⑯就労継続支援（B型）	今回	3.8	70.1	26.1			
	前回	3.6	54.3	42.2			
⑰計画相談支援	今回	12.0	63.0	25.0			
⑱地域移行支援・地域定着支援	今回	1.0	72.0	27.0			
⑲児童発達支援	今回	3.0	65.2	31.8			
	前回	1.0	51.0	48.0			
⑳放課後等デイサービス	今回	3.5	64.7	31.8			
	前回	1.5	50.2	48.3			
㉑保育所等訪問支援	今回	0.3	67.8	31.8			
	前回	0.5	50.9	48.6			
㉒医療型児童発達支援	今回	0.3	67.8	31.8			
	前回	0.7	51.3	48.1			
㉓福祉型障害児入所施設	今回	0.3	68.0	31.7			
	前回	0.7	50.8	48.5			
㉔医療型障害児入所施設	今回	0.3	67.8	31.8			
	前回	0.7	50.8	48.6			

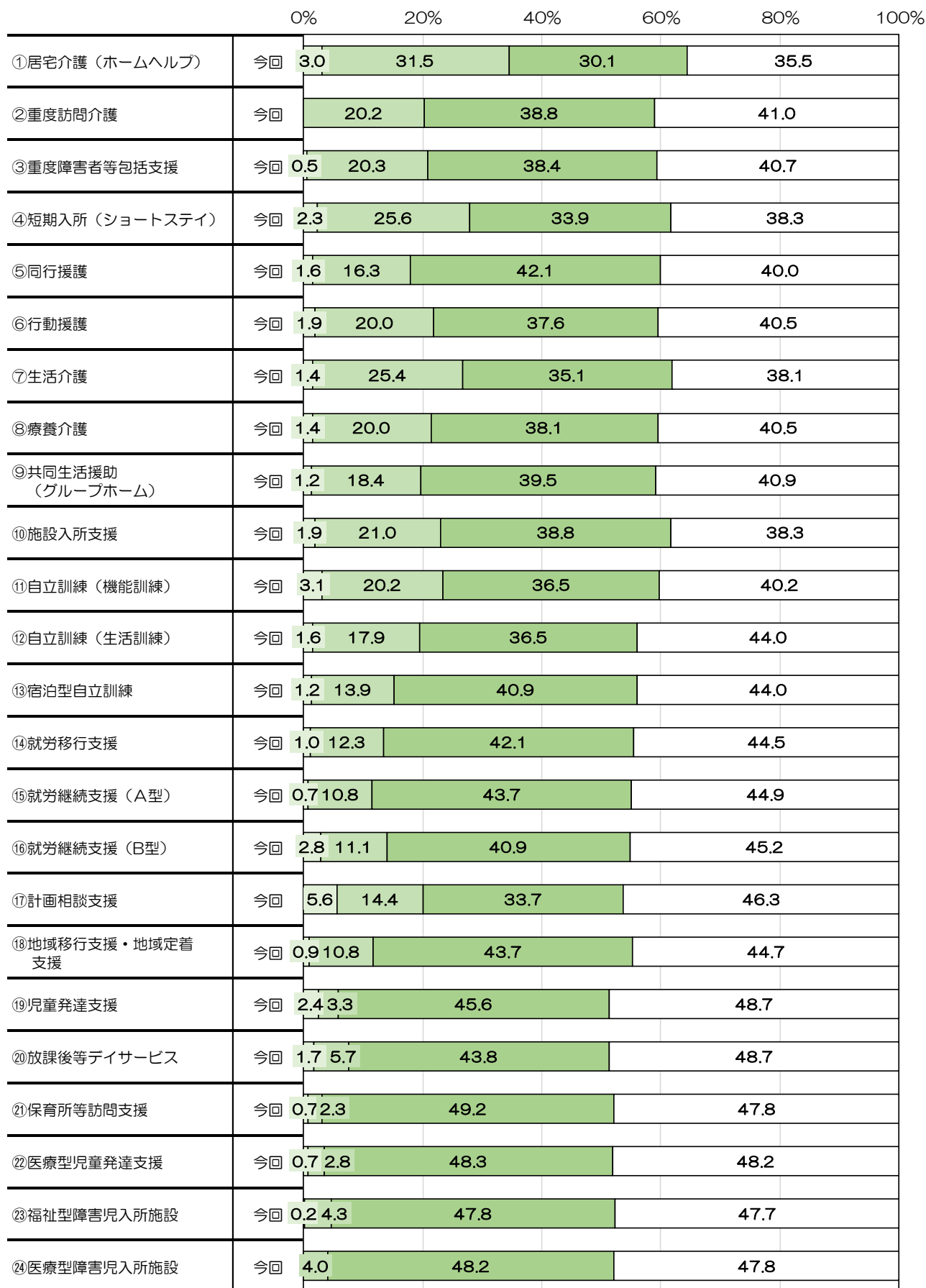
□利用している □利用していない □無回答

◆全体 地域生活支援事業の現在の利用状況

		0%	20%	40%	60%	80%	100%
②⑤障害者理解促進研修・啓発事業	今回	0.5	71.5	28.0			
	前回	1.7	54.3	44.0			
②⑥相談支援事業 (一般的な相談)	今回	4.2	68.9	27.0			
	前回	3.3	53.1	43.6			
②⑦成年後見制度利用支援事業	今回	1.4	72.2	26.4			
	前回	1.2	54.1	44.7			
②⑧手話通訳者等派遣事業	今回	0.5	72.3	27.1			
	前回	1.3	52.6	46.1			
②⑨要約筆記者派遣事業	今回	0.3	71.8	27.8			
	前回	1.0	53.5	45.6			
③⑩日常生活用具給付事業	今回	7.3	66.4	26.3			
	前回	5.6	49.9	44.5			
③⑪移動支援事業	今回	6.8	66.3	27.0			
	前回	4.8	51.6	43.6			
③⑫地域活動支援センター事業	今回	4.0	69.6	26.4			
	前回	2.7	52.3	45.0			
③⑬日中一時支援事業	今回	1.6	70.8	27.7			
	前回	2.1	53.9	43.9			

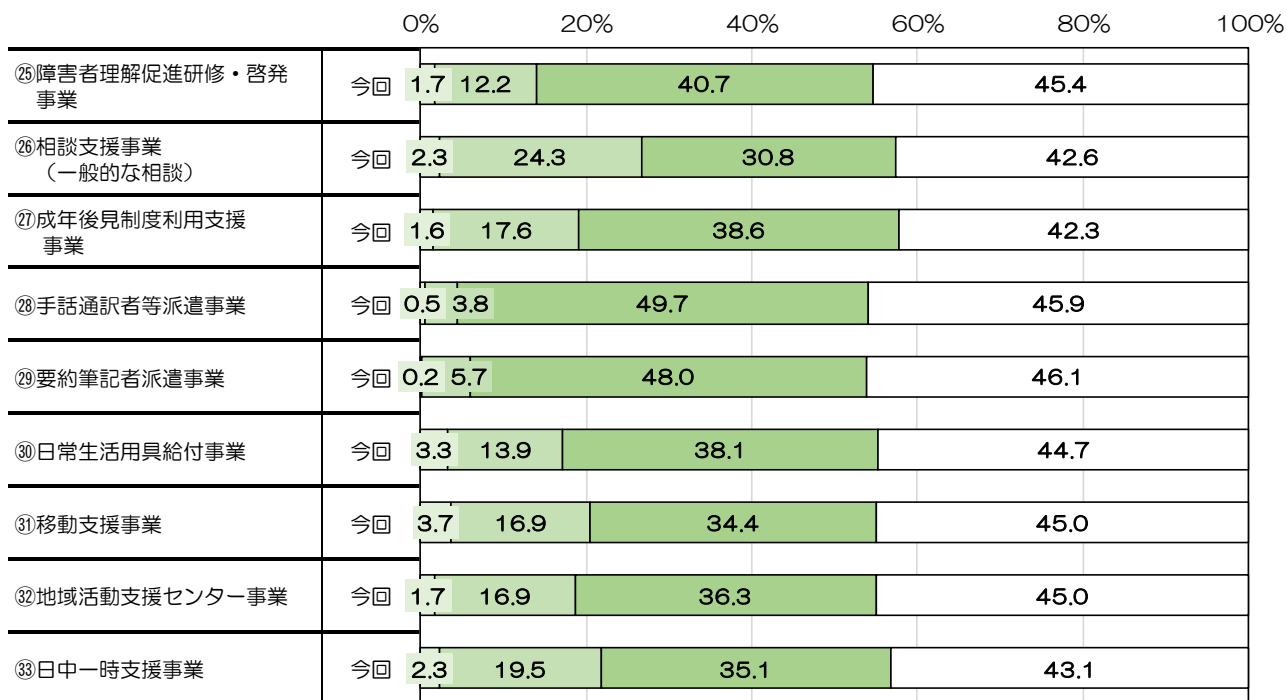
□利用している □利用していない □無回答

◆全体 障害福祉サービスの今後の利用意向



□すぐ利用したい □将来利用したい □利用しない □無回答

◆全体 地域生活支援事業の今後の利用意向



□すぐ利用したい □将来利用したい □利用しない □無回答

◆身体障害者

障害福祉サービスの現在の利用状況 「利用している」

		1位	2位	3位	4位	5位
身体障害者	今回 (n=329)	居宅介護 (ホームヘルプ)	自立訓練 (機能訓練)	計画相談支援	短期入所 (ショートステイ)	自立訓練 (生活訓練)
		8.8%	8.5%	7.3%	5.2%	4.6%

地域生活支援事業の現在の利用状況 「利用している」

		1位	2位	3位	3位	5位
身体障害者	今回 (n=329)	日常生活用具給付事業	移動支援事業	相談支援事業	地域活動支援センター事業	成年後見制度利用支援事業
		11.2%	7.0%	3.3% (同位)	3.3% (同位)	1.5%

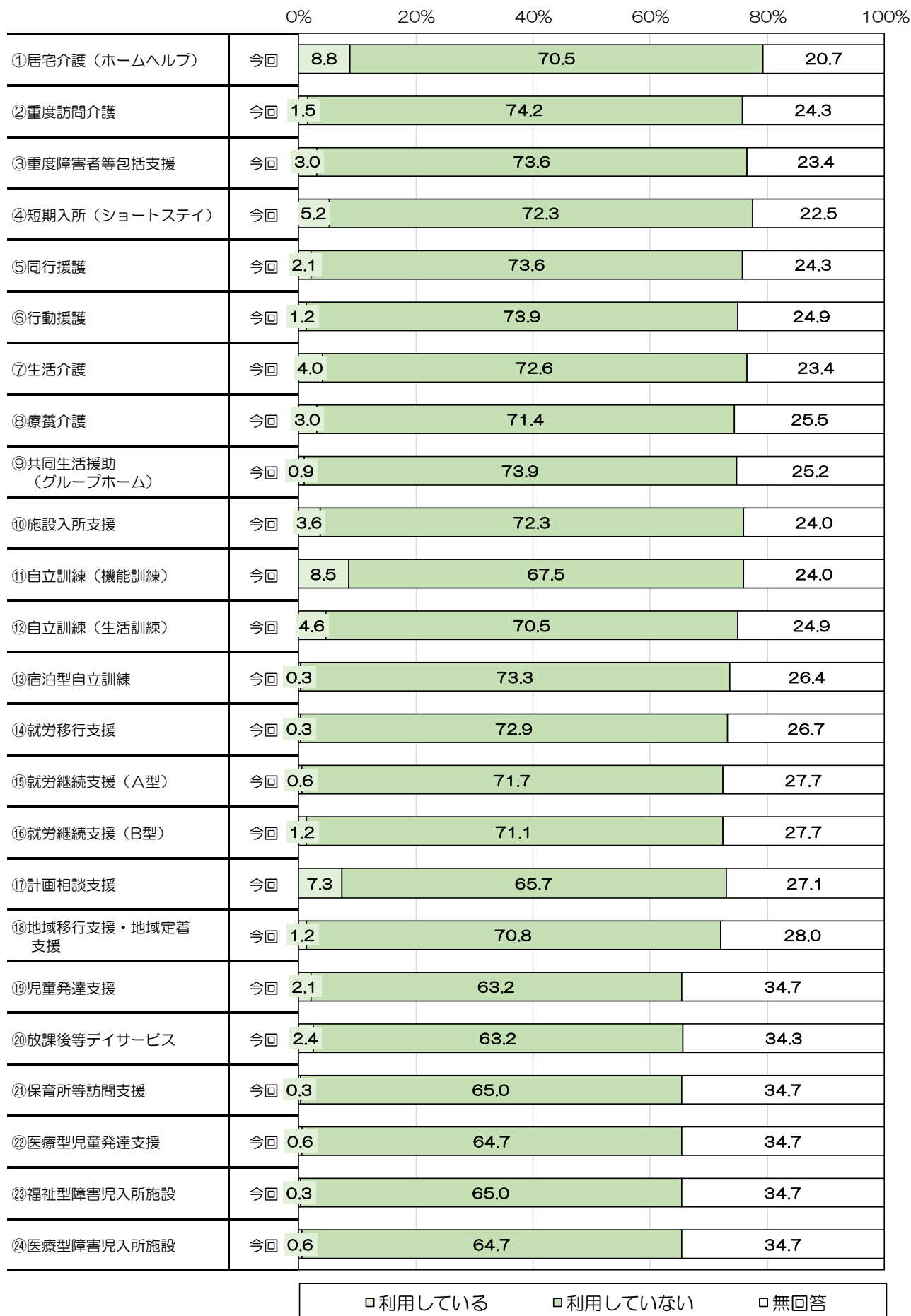
障害福祉サービスの今後の利用意向 「すぐ利用したい」

		1位	2位	3位	4位	4位
身体障害者	今回 (n=329)	居宅介護 (ホームヘルプ)	自立訓練 (機能訓練)	計画相談支援	同行援護	療養介護
		4.3%	3.3%	3.0%	1.8% (同位)	1.8% (同位)

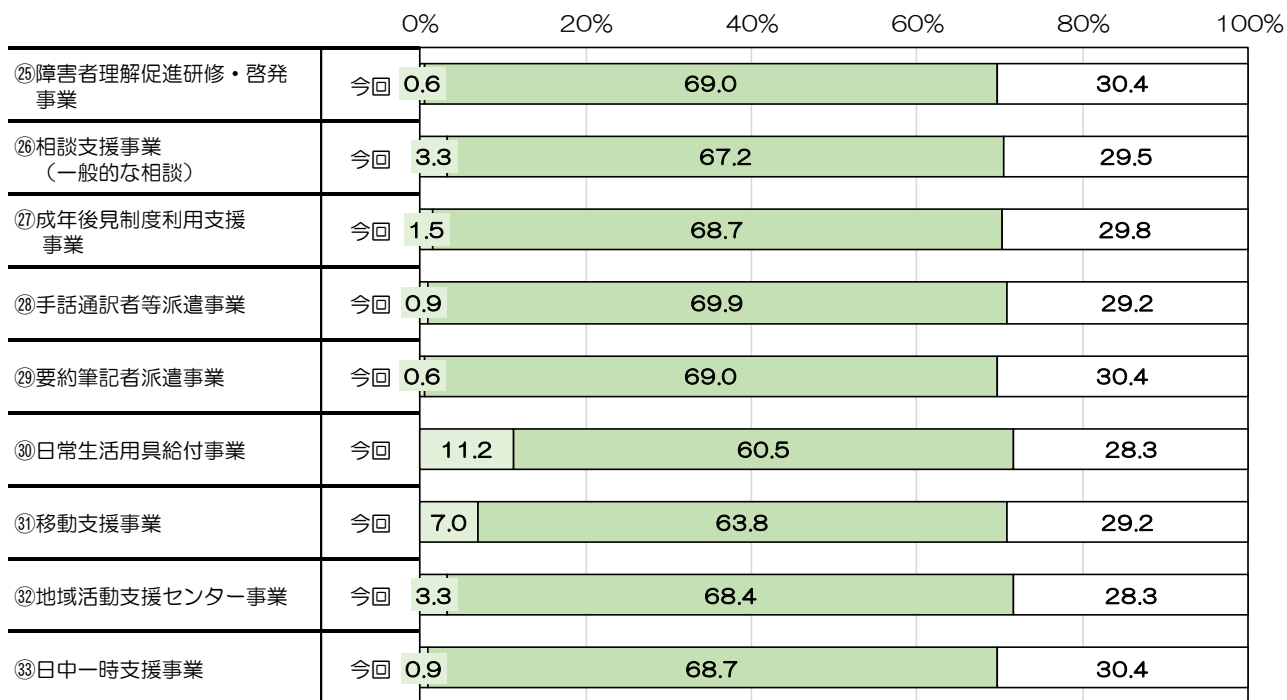
地域生活支援事業の今後の利用意向 「すぐ利用したい」

		1位	2位	3位	4位	4位
身体障害者	今回 (n=329)	日常生活用具給付事業	移動支援事業	地域活動支援センター事業	相談支援事業	日中一時支援事業
		4.9%	3.3%	1.8%	1.2% (同位)	1.2% (同位)

◆身体障害者 障害福祉サービスの現在の利用状況

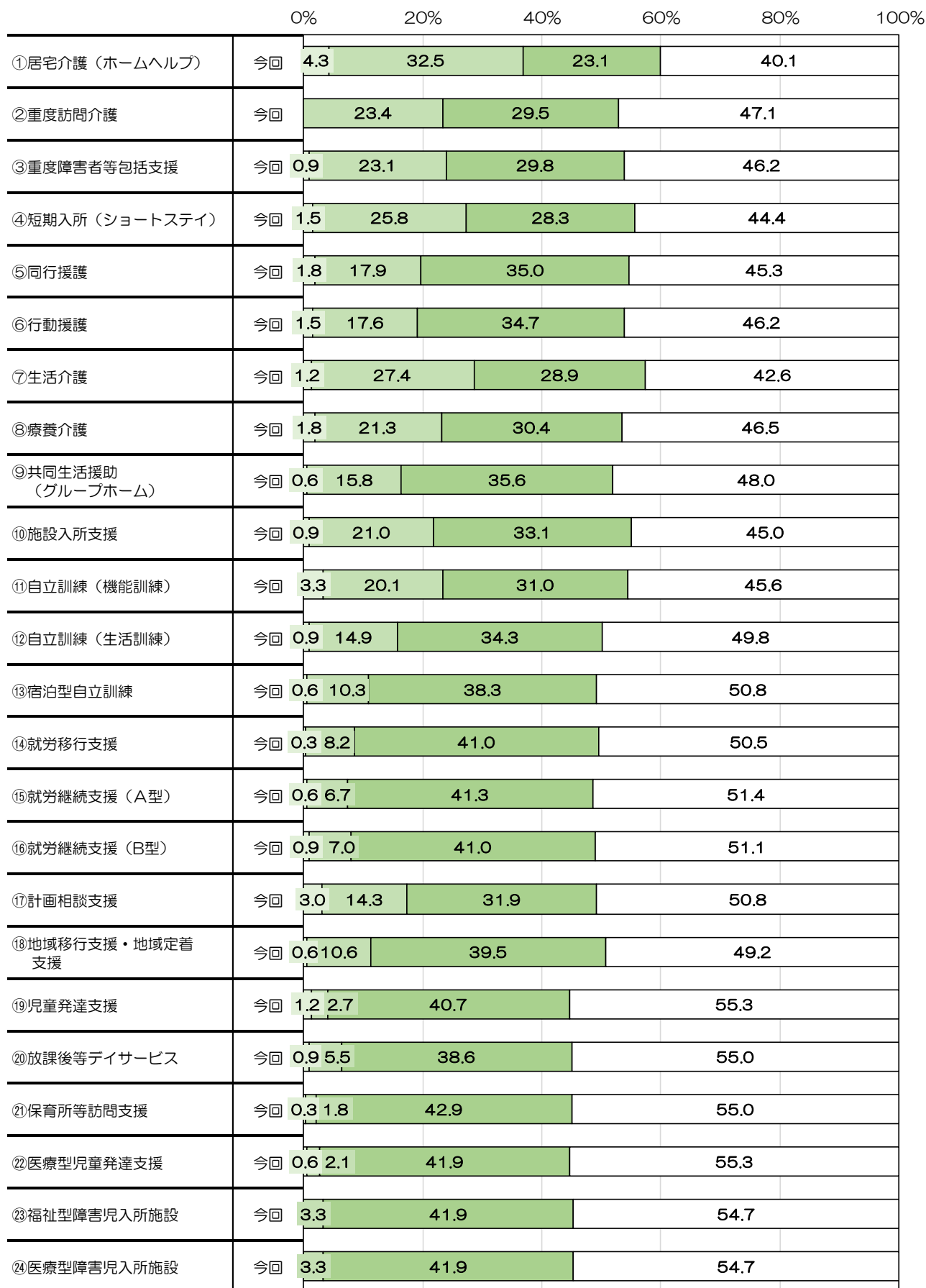


◆身体障害者 地域生活支援事業の現在の利用状況



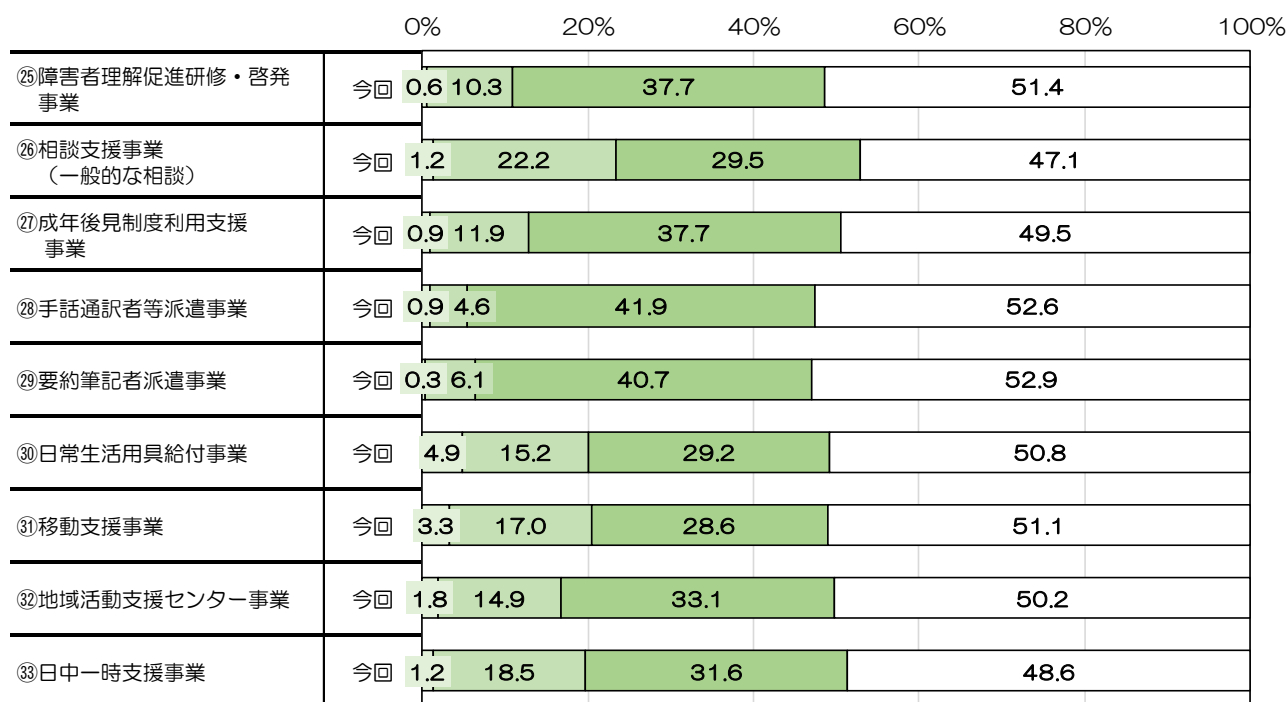
□ 利用している □ 利用していない □ 無回答

◆身体障害者 障害福祉サービスの今後の利用意向



□ すぐ利用したい □ 将来利用したい □ 利用しない □ 無回答

◆身体障害者 地域生活支援事業の今後の利用意向



□すぐ利用したい □将来利用したい □利用しない □無回答

◆知的障害者

障害福祉サービスの現在の利用状況 「利用している」

		1位	2位	3位	3位	5位
知的障害者	今回 (n=116)	計画相談支援	生活介護	施設入所支援	放課後等デイサービス	就労継続支援(B型)
		35.3%	15.5%	13.8% (同位)	13.8% (同位)	11.2%

地域生活支援事業の現在の利用状況 「利用している」

		1位	2位	3位	4位	5位
知的障害者	今回 (n=116)	移動支援事業	相談支援事業	地域活動支援センター事業	日中一時支援事業	日常生活用具給付事業
		19.8%	9.5%	7.8%	5.2%	3.4%

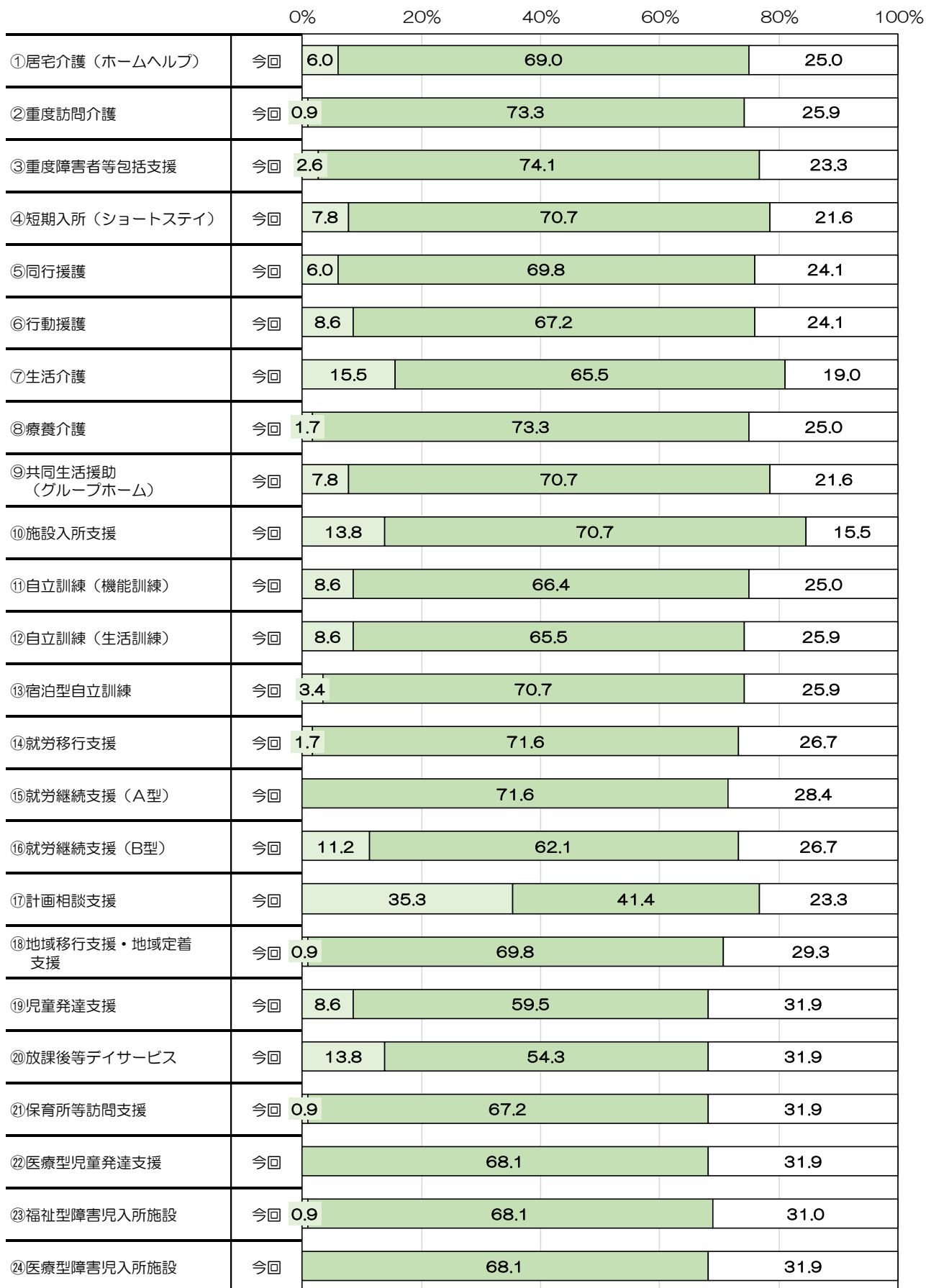
障害福祉サービスの今後の利用意向 「すぐ利用したい」

		1位	2位	3位	4位	4位	4位
知的障害者	今回 (n=116)	計画相談支援	児童発達支援	就労継続支援(B型)	短期入所(ショートステイ)	施設入所支援	放課後等デイサービス
		15.5%	9.5%	7.8%	6.9% (同位)	6.9% (同位)	6.9% (同位)

地域生活支援事業の今後の利用意向 「すぐ利用したい」

		1位	2位	3位	4位	5位
知的障害者	今回 (n=116)	移動支援事業	相談支援事業	障害者理解促進研修・啓発事業	日中一時支援事業	成年後見制度利用支援事業
		9.5%	7.8%	6.9%	6.0%	3.4% (同位)

◆知的障害者 障害福祉サービスの現在の利用状況

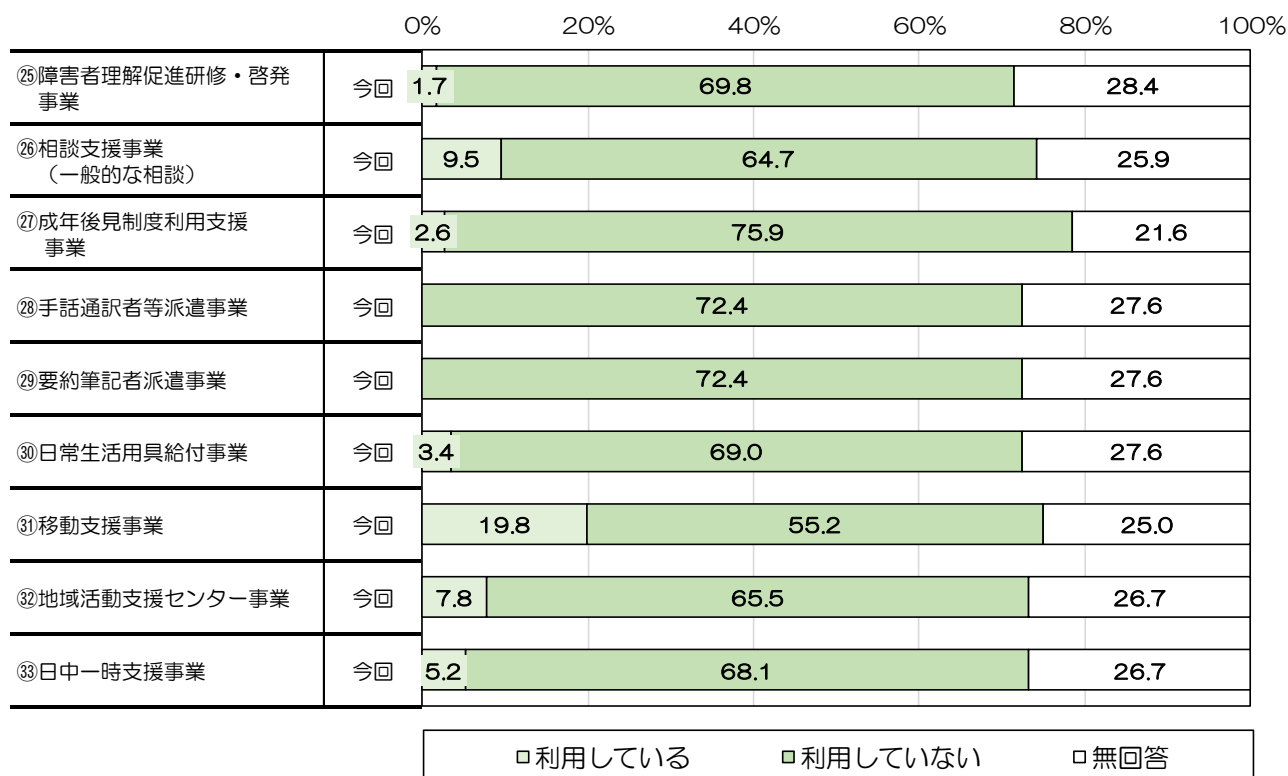


利用している

利用していない

無回答

◆知的障害者 地域生活支援事業の現在の利用状況

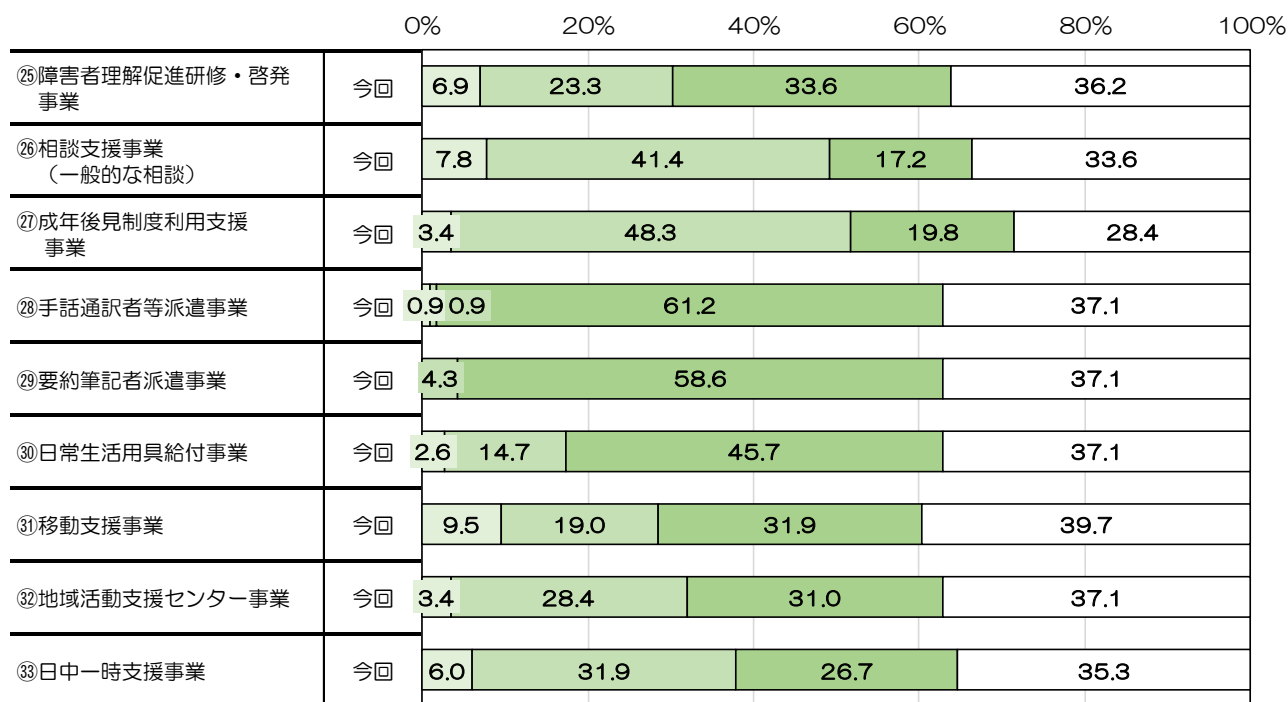


◆知的障害者 障害福祉サービスの今後の利用意向

		0%	20%	40%	60%	80%	100%
①居宅介護（ホームヘルプ）	今回	6.0	31.0	31.0	31.9		
②重度訪問介護	今回	15.5	50.9	33.6			
③重度障害者等包括支援	今回	0.9	18.1	48.3	32.8		
④短期入所（ショートステイ）	今回	6.9	36.2	28.4	28.4		
⑤同行援護	今回	1.7	12.1	53.4	32.8		
⑥行動援護	今回	6.0	29.3	32.8	31.9		
⑦生活介護	今回	3.4	25.0	37.9	33.6		
⑧療養介護	今回	0.9	16.4	49.1	33.6		
⑨共同生活援助（グループホーム）	今回	6.0	36.2	30.2	27.6		
⑩施設入所支援	今回	6.9	30.2	37.1	25.9		
⑪自立訓練（機能訓練）	今回	1.7	21.6	39.7	37.1		
⑫自立訓練（生活訓練）	今回	5.2	27.6	30.2	37.1		
⑬宿泊型自立訓練	今回	5.2	28.4	30.2	36.2		
⑭就労移行支援	今回	4.3	25.9	34.5	35.3		
⑮就労継続支援（A型）	今回	2.6	25.0	36.2	36.2		
⑯就労継続支援（B型）	今回	7.8	26.7	25.9	39.7		
⑰計画相談支援	今回	15.5	21.6	18.1	44.8		
⑱地域移行支援・地域定着支援	今回	2.6	13.8	43.1	40.5		
⑲児童発達支援	今回	9.5	4.3	44.0	42.2		
⑳放課後等デイサービス	今回	6.9	12.1	37.1	44.0		
㉑保育所等訪問支援	今回	2.6	1.7	55.2	40.5		
㉒医療型児童発達支援	今回	3.4	5.2	50.9	40.5		
㉓福祉型障害児入所施設	今回	0.9	10.3	50.0	38.8		
㉔医療型障害児入所施設	今回	9.5	50.9	39.7			

□すぐ利用したい □将来利用したい □利用しない □無回答

◆知的障害者 地域生活支援事業の今後の利用意向



□すぐ利用したい □将来利用したい □利用しない □無回答

◆精神障害者

障害福祉サービスの現在の利用状況 「利用している」

		1位	2位	3位	4位	5位
精神障害者	今回 (n=85)	計画相談支援	就労継続支援 (B型)	自立訓練 (機能訓練)	就労移行支援	短期入所 (ショートステイ)
						生活介護
		15.3%	9.4%	7.1%	5.9%	施設入所支援
						4.7% (同位)

地域生活支援事業の現在の利用状況 「利用している」

		1位	2位	3位	3位	3位
精神障害者	今回 (n=85)	移動支援事業	地域活動支援セ ンター事業	相談支援事業	日常生活用具給 付事業	日中一時支援事 業
		4.7%	3.5%	2.4% (同位)	2.4% (同位)	2.4% (同位)

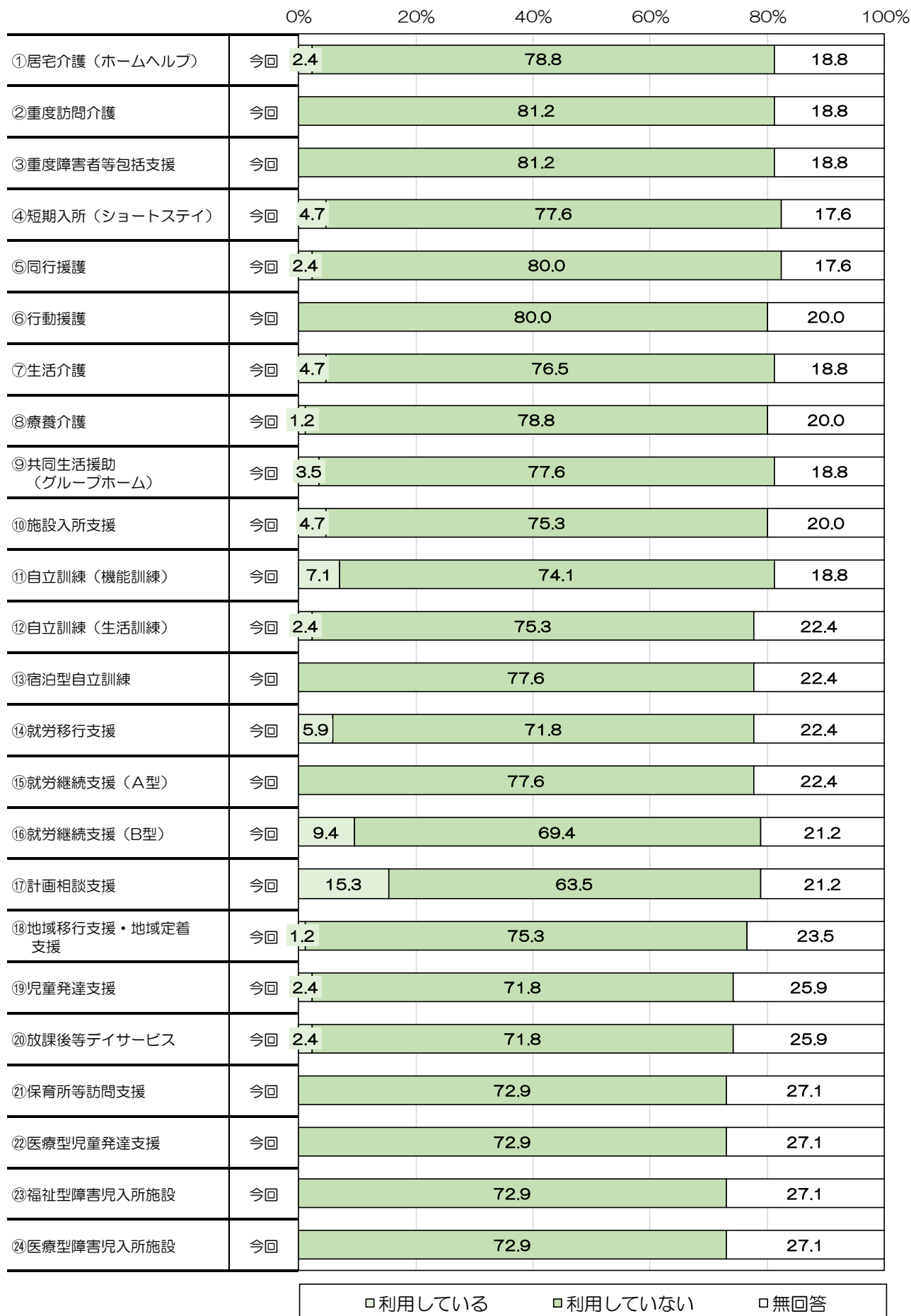
障害福祉サービスの今後の利用意向 「すぐ利用したい」

		1位	2位	3位	4位	4位
精神障害者	今回 (n=85)	計画相談支援	就労継続支援 (B型)	自立訓練 (機能訓練)	施設入所支援	児童発達支援
		8.2%	5.9%	4.7%	3.5% (同位)	3.5% (同位)

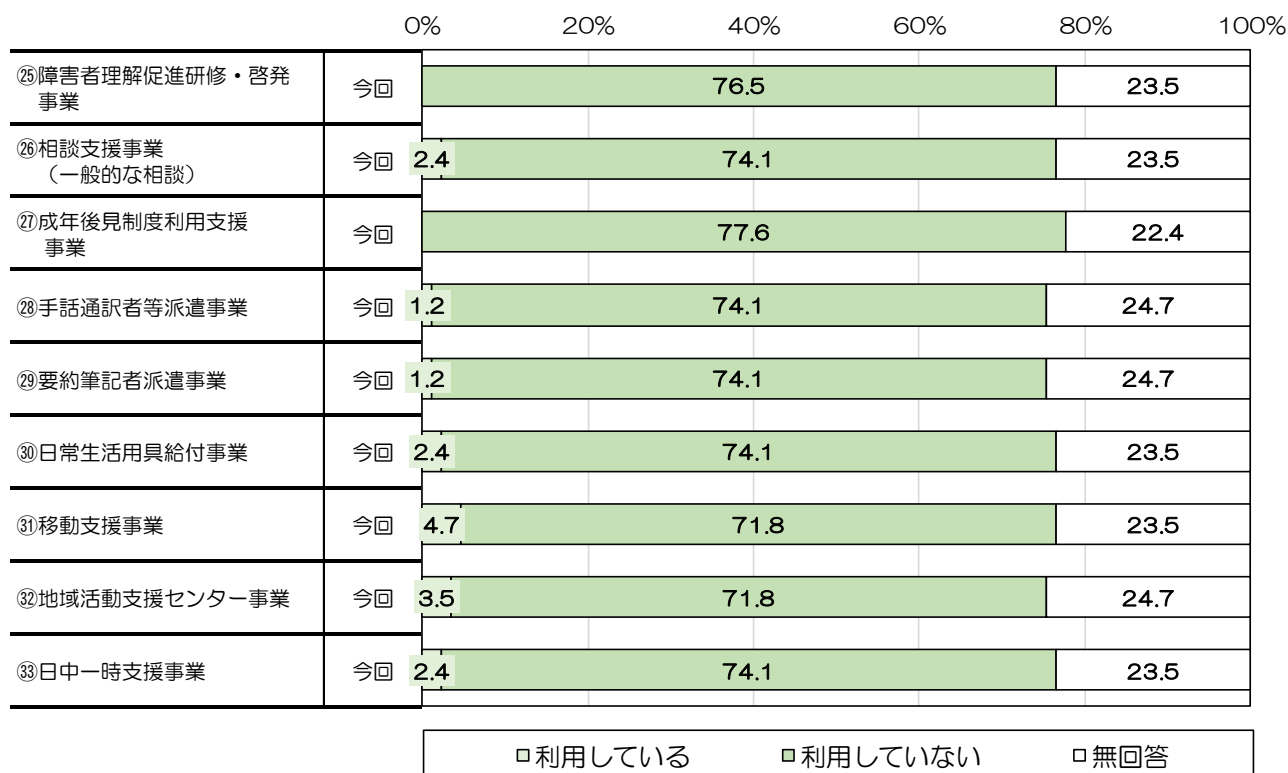
地域生活支援事業の今後の利用意向 「すぐ利用したい」

		1位	2位	3位	3位	3位	3位
精神障害者	今回 (n=85)	日中一時支援 事業	地域活動支援 センター事業	障害者理解促 進研修・啓発 事業	成年後見制度 利用支援事業	日常生活用具 給付事業	移動支援事業
		4.7%	3.5%	2.4% (同位)	2.4% (同位)	2.4% (同位)	2.4% (同位)

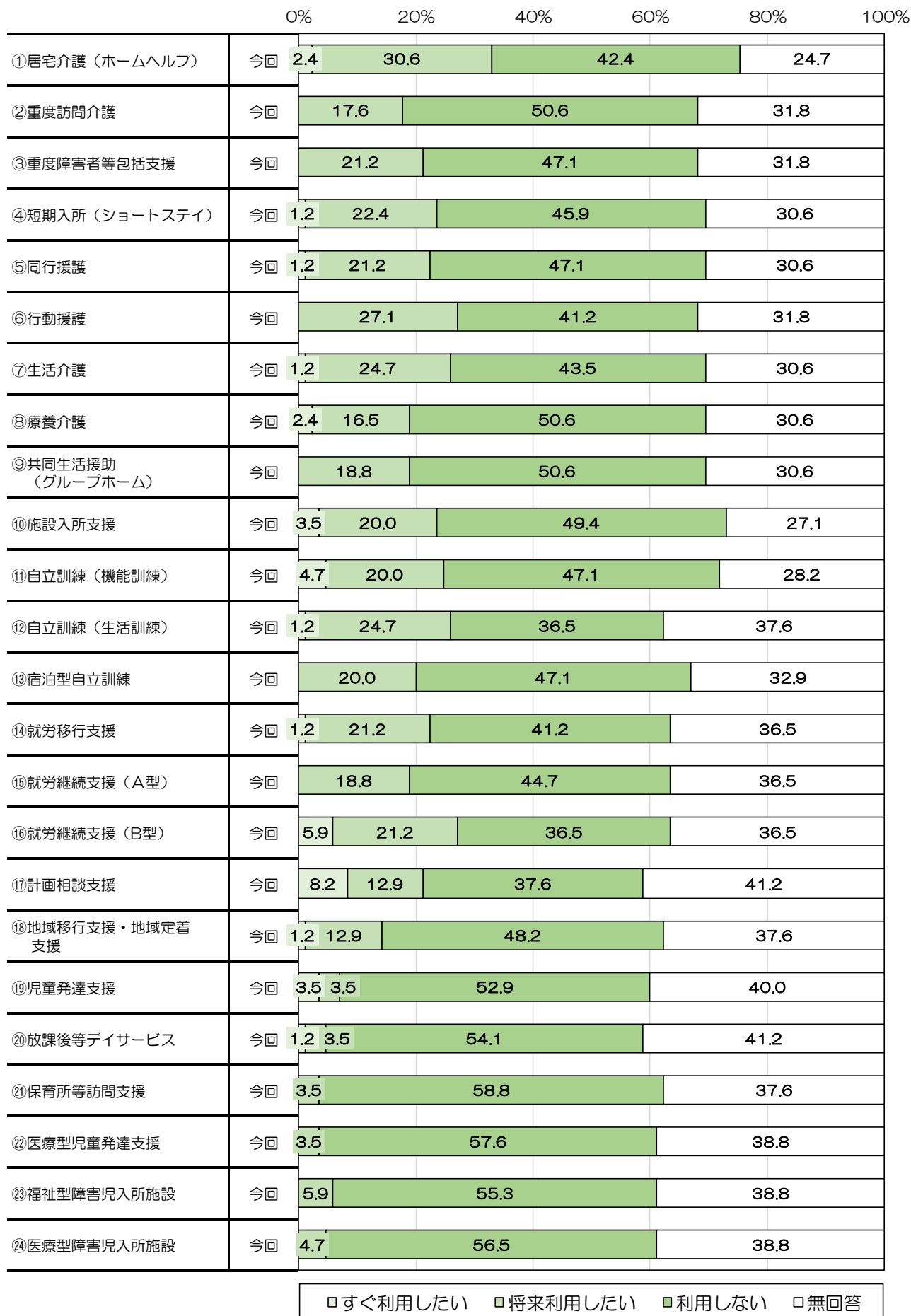
◆精神障害者 障害福祉サービスの現在の利用状況



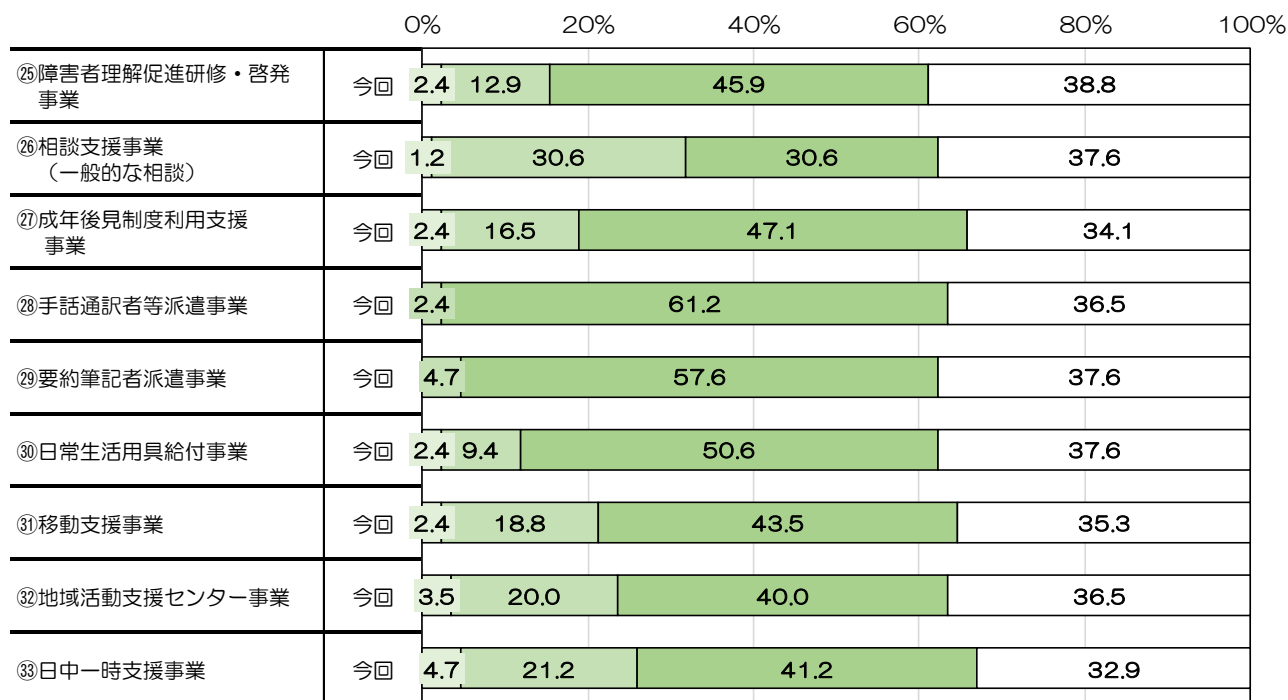
◆精神障害者 地域生活支援事業の現在の利用状況



◆精神障害者 障害福祉サービスの今後の利用意向



◆精神障害者 地域生活支援事業の今後の利用意向



□すぐ利用したい □将来利用したい □利用しない □無回答

◆難病

障害福祉サービスの現在の利用状況 「利用している」

		1位	1位	1位	1位	5位
難病	今回 (n=105)	居宅介護 (ホームヘルプ)	生活介護	施設入所支援	自立訓練 (機能訓練)	計画相談支援
		7.6% (同位)	7.6% (同位)	7.6% (同位)	7.6% (同位)	6.7%

地域生活支援事業の現在の利用状況 「利用している」

		1位	2位	2位	4位	5位
難病	今回 (n=105)	移動支援事業	日常生活用具給付事業	地域活動支援センター事業	相談支援事業	障害者理解促進 研修・啓発事業
						成年後見制度利用支援事業
						日中一時支援事業
		6.7%	3.8% (同位)	3.8% (同位)	2.9%	1.9% (同位)

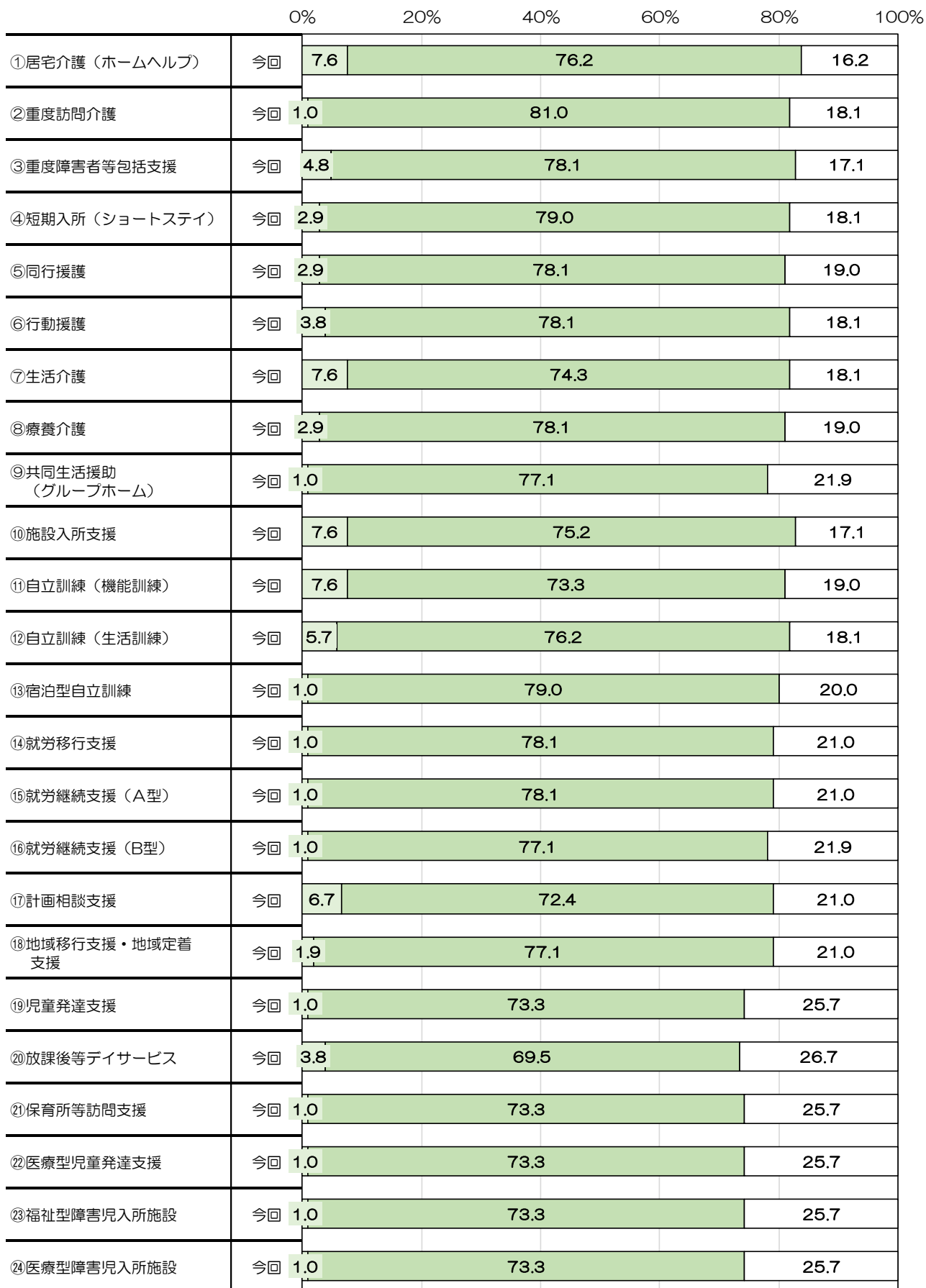
障害福祉サービスの今後の利用意向 「すぐ利用したい」

		1位	1位	1位	1位	5位
難病	今回 (n=105)	同行援護	行動援護	自立訓練 (機能訓練)	計画相談支援	居宅介護 (ホームヘルプ)
						重度障害者等包括支援
						短期入所 (ショートステイ)
						療養介護
						自立訓練 (生活訓練)
						就労継続支援 (B型)
						児童発達支援
						医療型児童発達支援
		1.9% (同位)	1.9% (同位)	1.9% (同位)	1.9% (同位)	1.0% (同位)

地域生活支援事業の今後の利用意向 「すぐ利用したい」

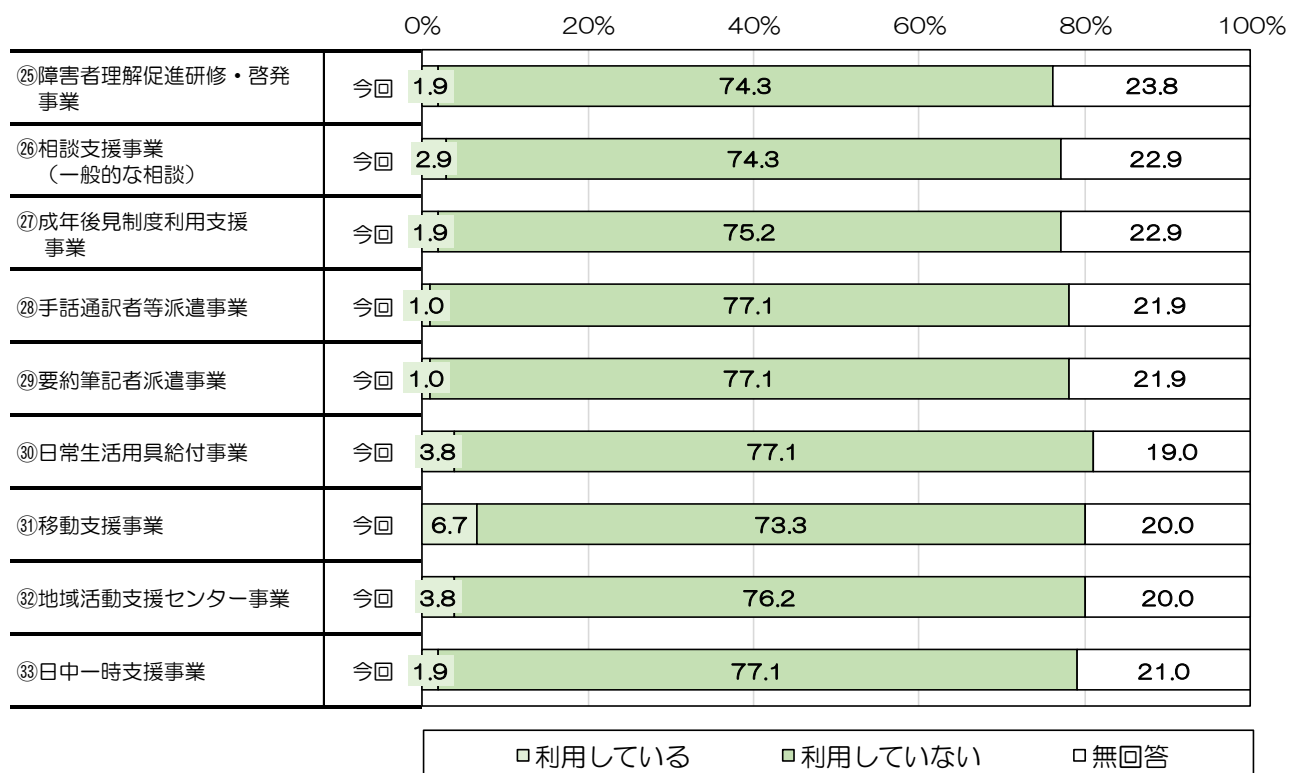
		1位	2位	2位	2位	2位
難病	今回 (n=105)	成年後見制度利用支援事業	障害者理解促進 研修・啓発事業	日常生活用具給付事業	移動支援事業	日中一時支援事業
		1.9%	1.0% (同位)	1.0% (同位)	1.0% (同位)	1.0% (同位)

◆難病 障害福祉サービスの現在の利用状況

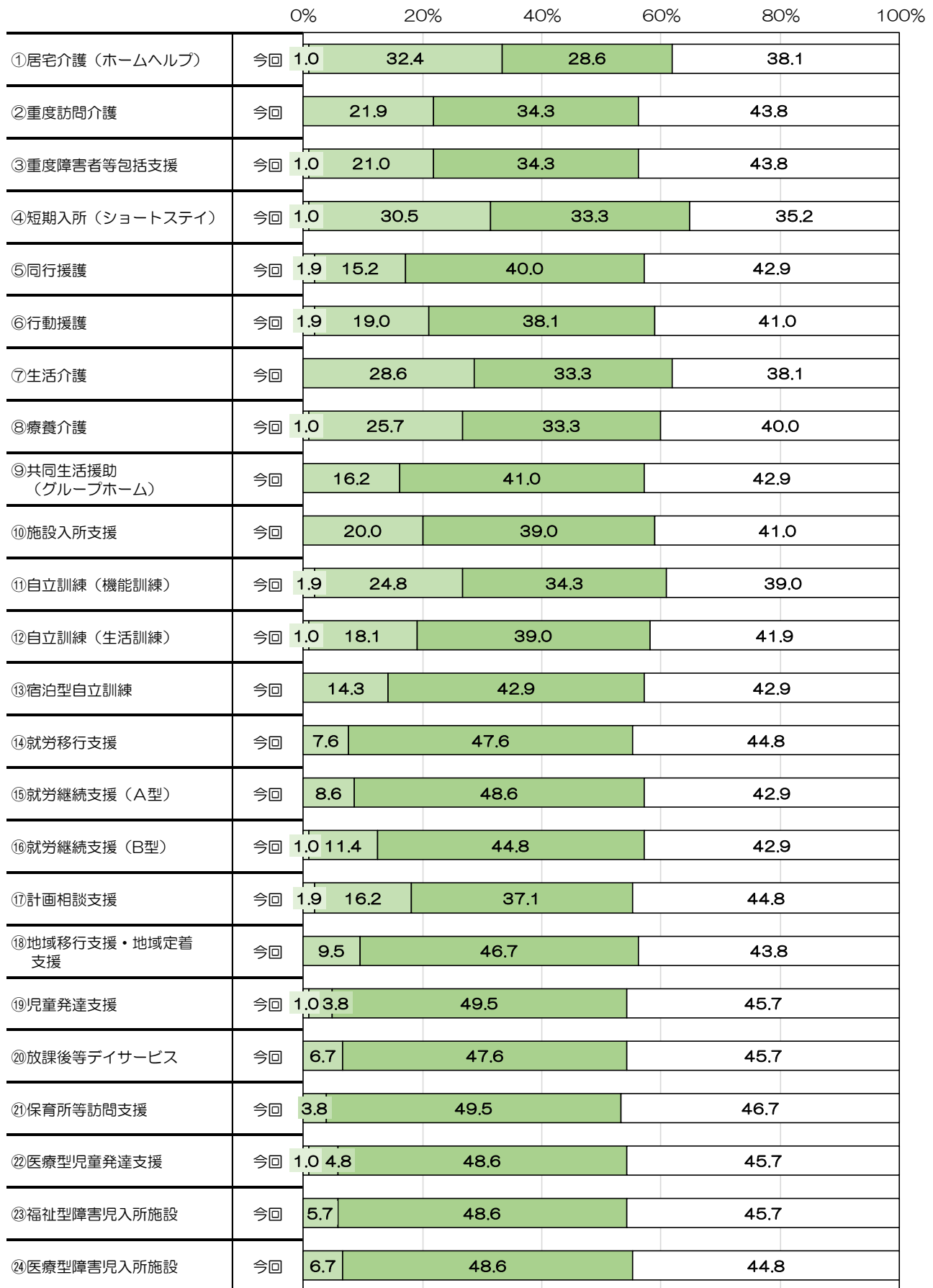


□利用している □利用していない □無回答

◆難病 地域生活支援事業の現在の利用状況

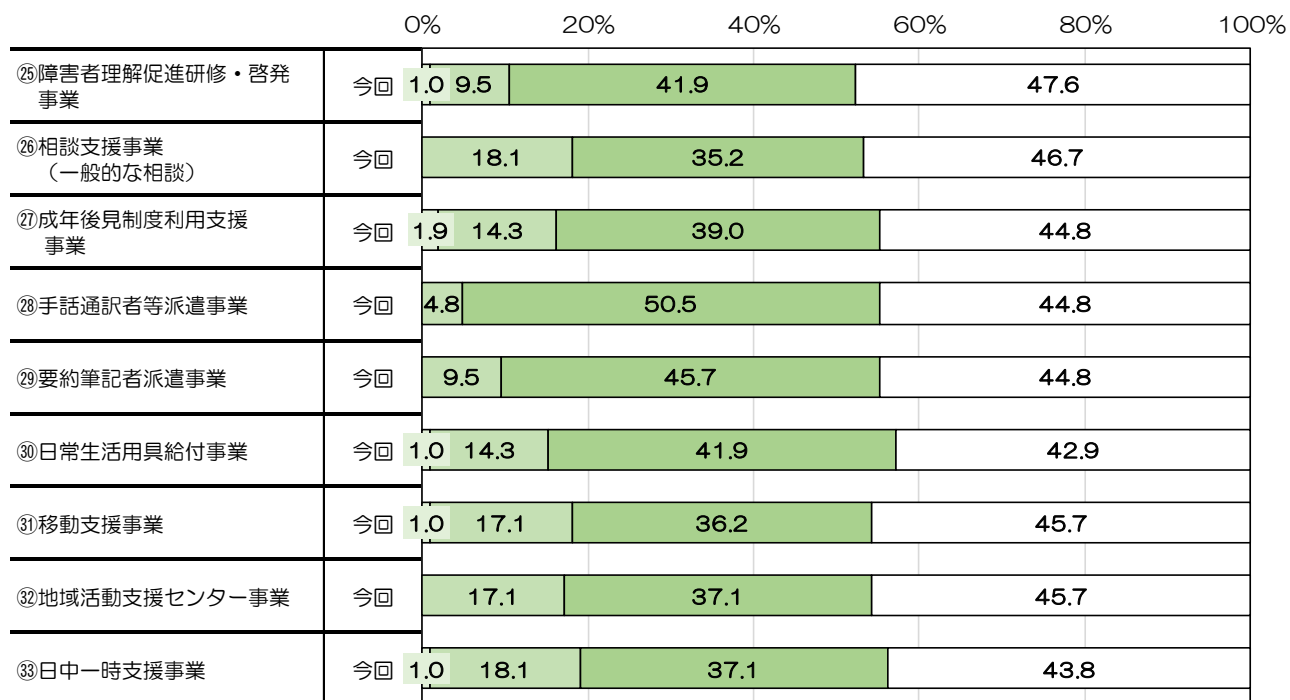


◆難病 障害福祉サービスの今後の利用意向



□ すぐ利用したい □ 将来利用したい □ 利用しない □ 無回答

◆難病 地域生活支援事業の今後の利用意向



すぐ利用したい
 将来利用したい
 利用しない
 無回答

◆0～17歳

障害福祉サービスの現在の利用状況 「利用している」

		1位	2位	3位	4位	5位
0 ～ 17 歳	今回 (n=68)	計画相談支援	放課後等デイサービス	児童発達支援	自立訓練 (機能訓練)	居宅介護 (ホームヘルプ)
		30.9%	23.5%	20.6%	7.4%	5.9%

地域生活支援事業の現在の利用状況 「利用している」

		1位	2位	3位	4位	4位
0 ～ 17 歳	今回 (n=68)	移動支援事業	日常生活用具給付事業	相談支援事業	障害者理解促進 研修・啓発事業	手話通訳者等派遣事業
		13.2%	10.3%	4.4%	1.5% (同位)	1.5% (同位)

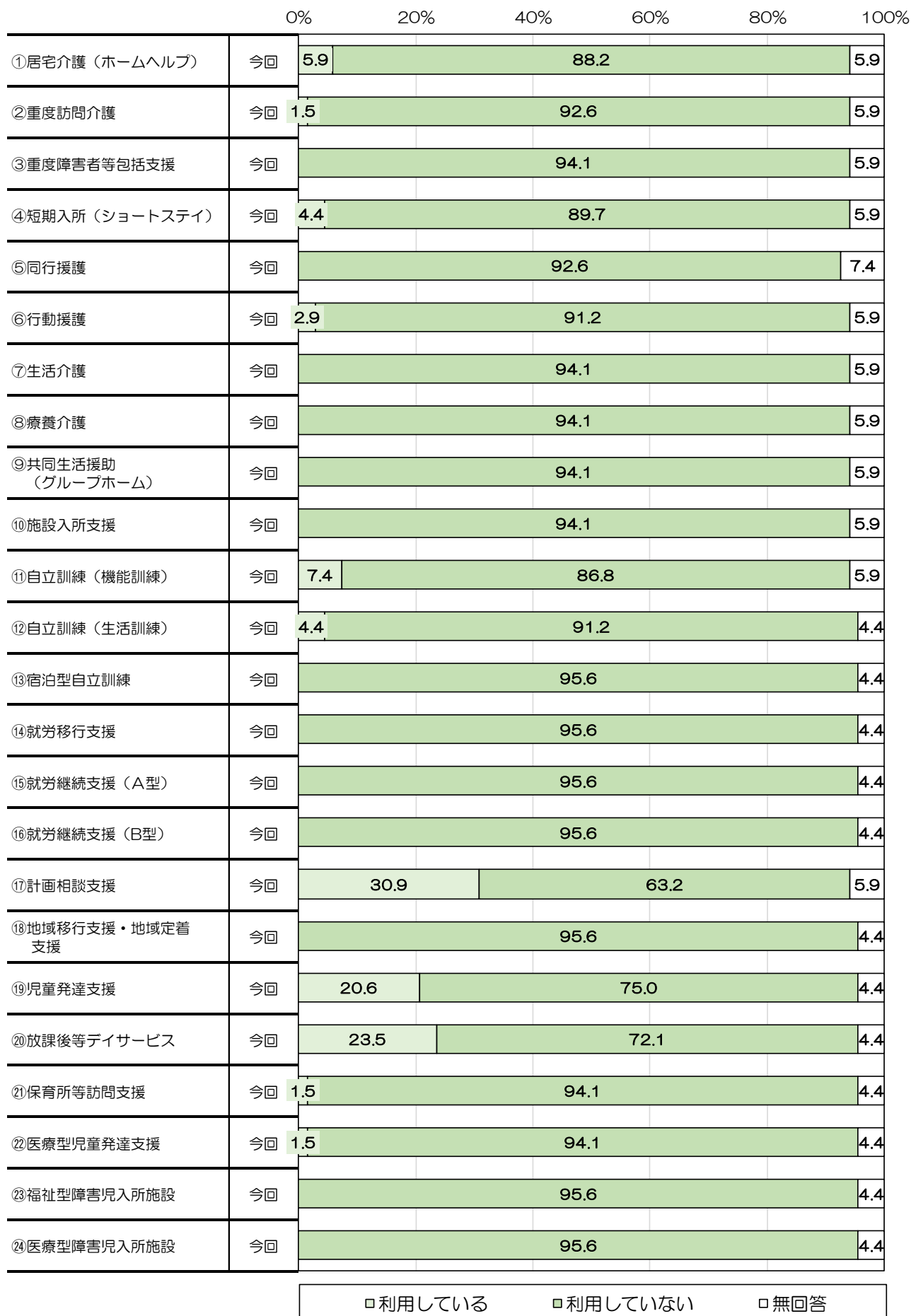
障害福祉サービスの今後の利用意向 「すぐ利用したい」

		1位	2位	3位	4位	4位	4位	4位
0 ～ 17 歳	今回 (n=68)	児童発達支援	計画相談支援	放課後等デイサービス	居宅介護 (ホームヘルプ)	行動援護	保育所等訪問支援	医療型児童発達支援
		19.1%	16.2%	14.7%	5.9% (同位)	5.9% (同位)	5.9% (同位)	5.9% (同位)

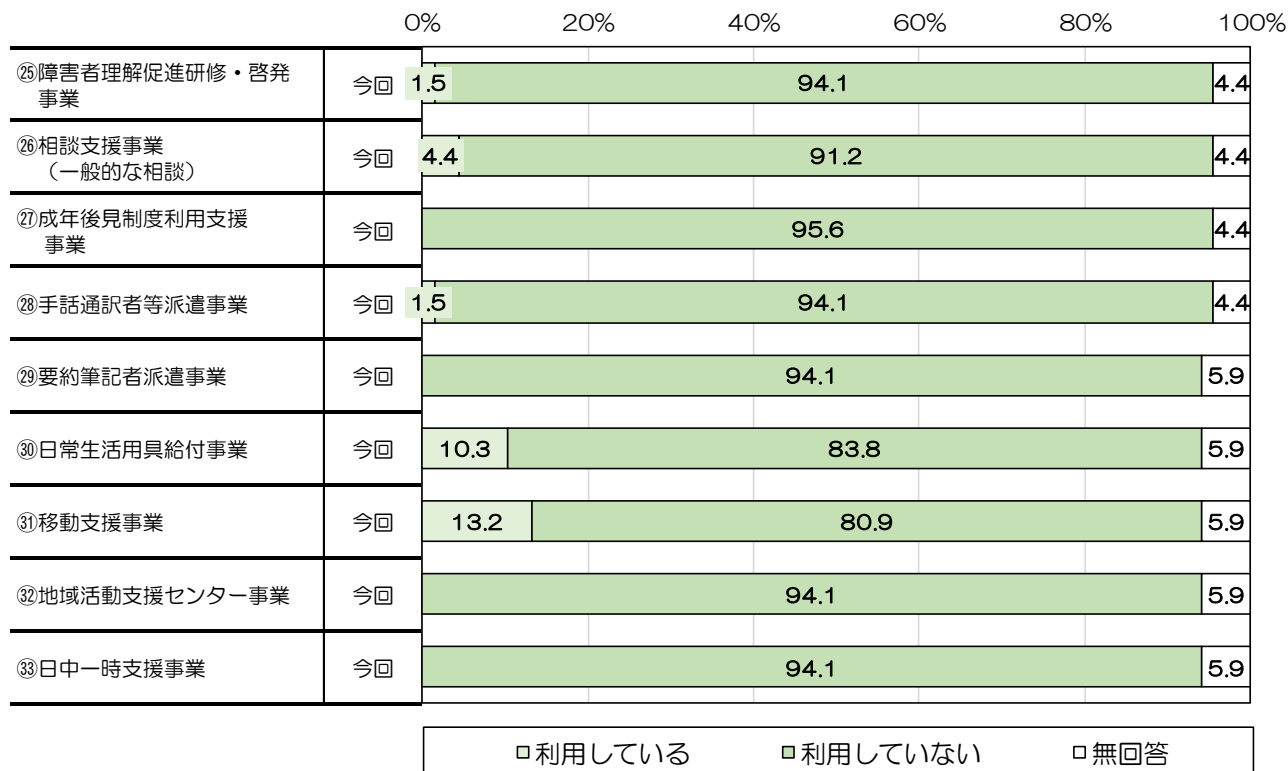
地域生活支援事業の今後の利用意向 「すぐ利用したい」

		1位	2位	3位	4位	4位
0 ～ 17 歳	今回 (n=68)	移動支援事業	日常生活用具給付事業	日中一時支援事業	障害者理解促進 研修・啓発事業	相談支援事業
		13.2%	10.3%	8.8%	4.4% (同位)	4.4% (同位)

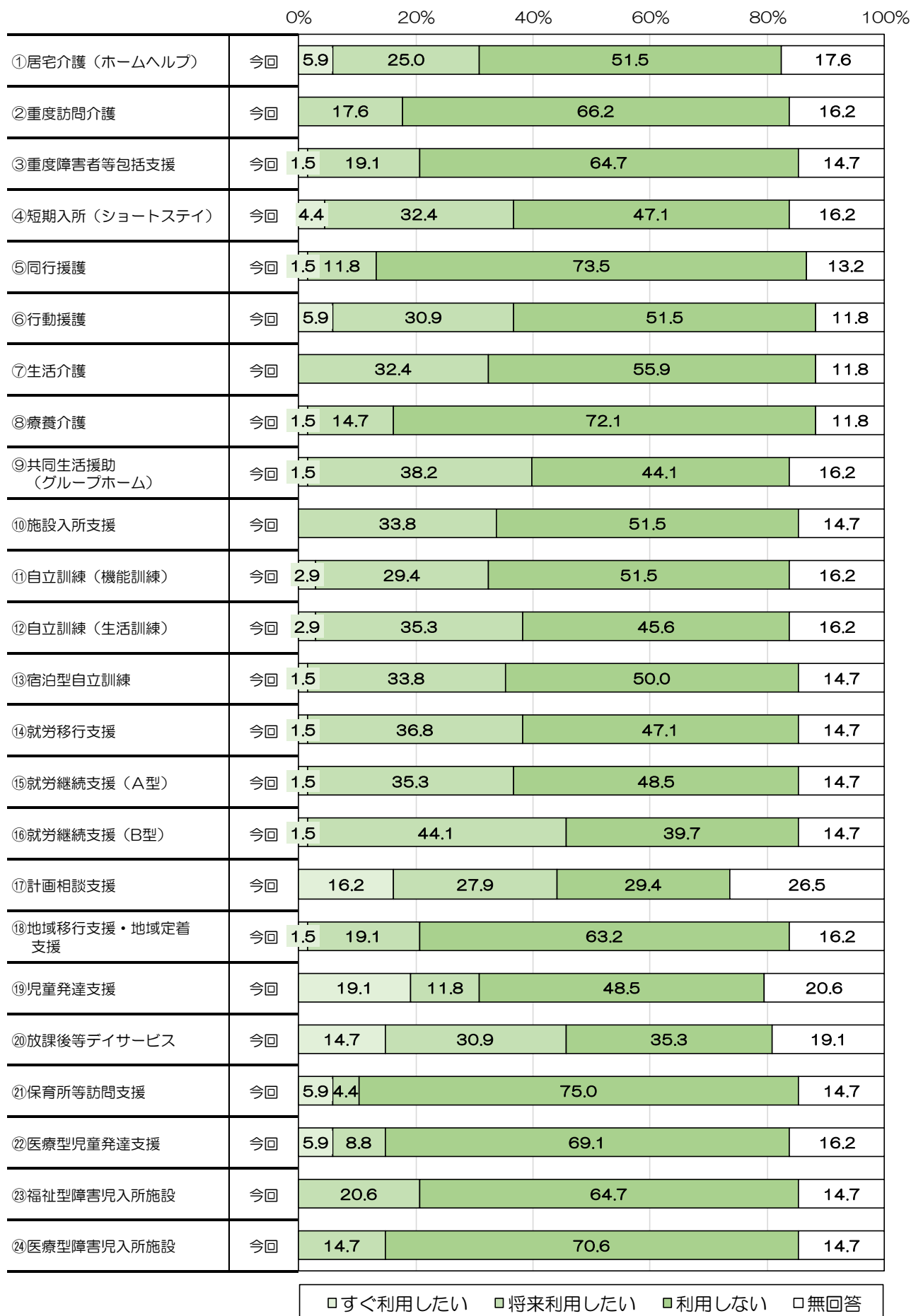
◆0～17歳 障害福祉サービスの現在の利用状況



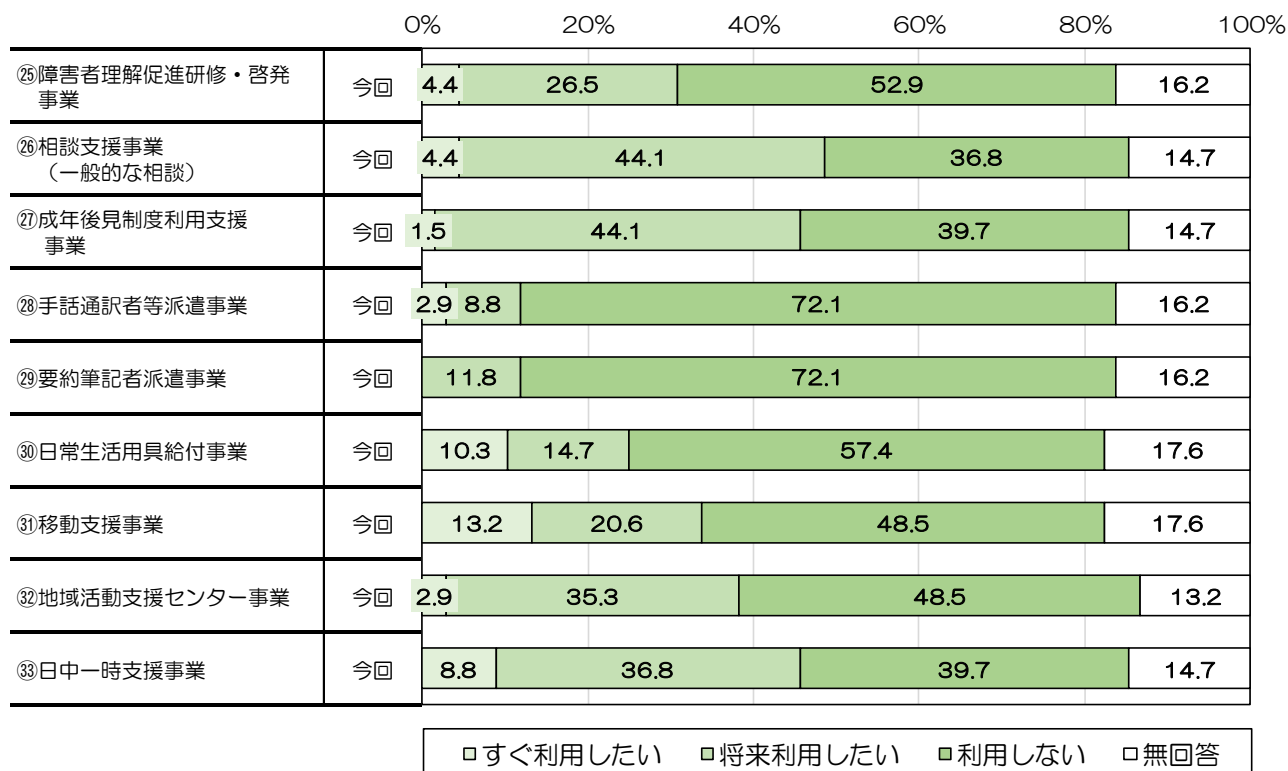
◆0～17歳 地域生活支援事業の現在の利用状況



◆0～17歳 障害福祉サービスの今後の利用意向



◆0～17歳 地域生活支援事業の今後の利用意向



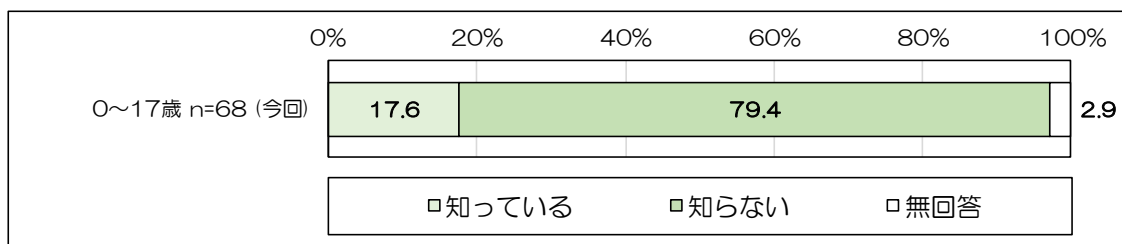
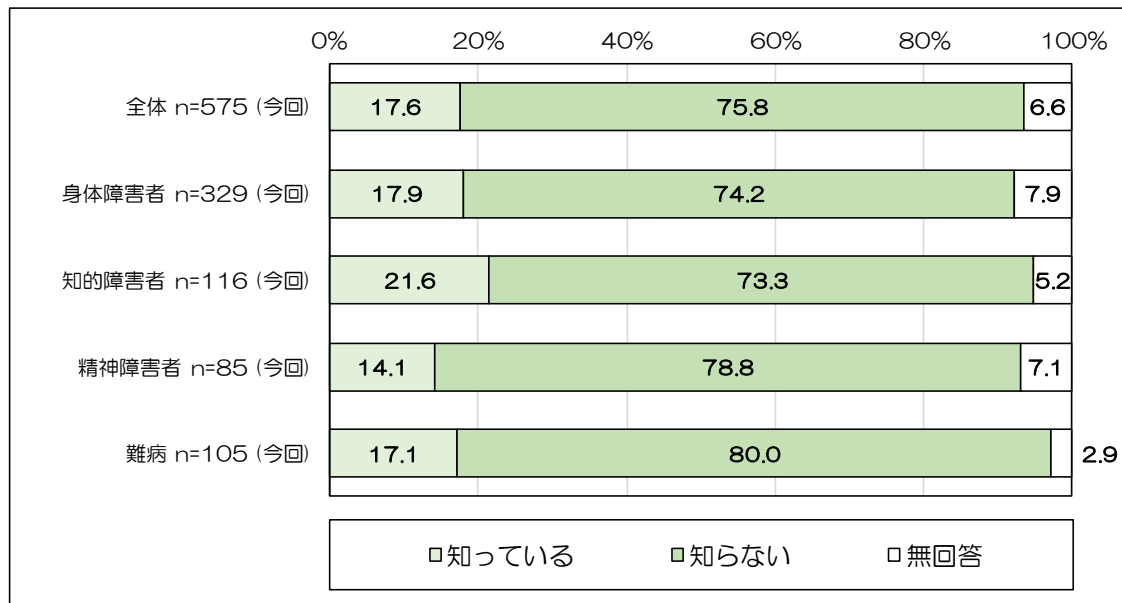
7 権利擁護について

問22 あなたは、「障害者虐待防止センター」をご存じですか。(〇は1つ)

障害者虐待防止センターの認知度については、全体では「知っている」が17.6%、「知らない」が75.8%と、「知らない」が58.2ポイント上回っています。

障害種別で「知らない」の割合をみると、身体障害者では74.2%、知的障害者では73.3%、精神障害者では78.8%、難病では80.0%と、精神障害者と難病が他の種別と比べて高くなっています。

0~17歳でみると、「知っている」が17.6%、「知らない」が79.4%と、「知らない」が61.8ポイント上回っています。

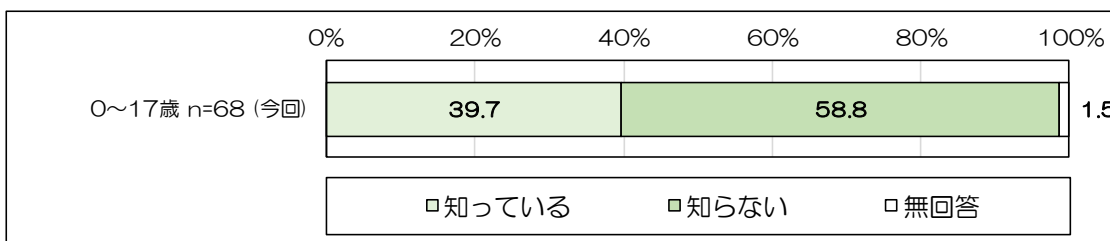
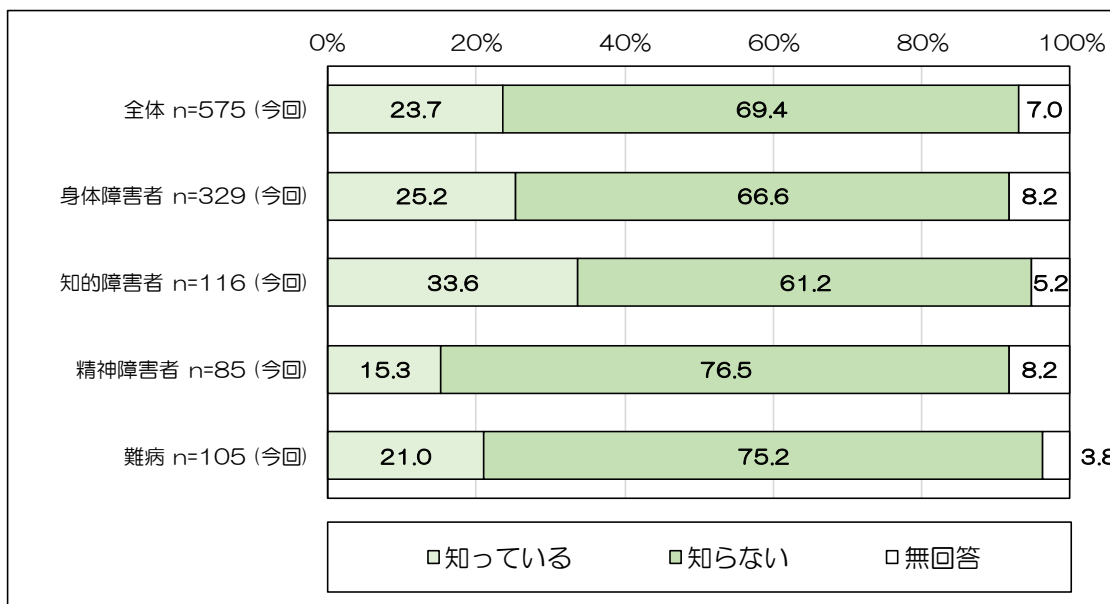


問23 あなたは、「障害者差別解消法」をご存じですか。(〇は1つ)

障害者差別解消法の認知度については、全体では「知っている」が23.7%、「知らない」が69.4%と、「知らない」が45.7ポイント上回っています。

障害種別で「知らない」の割合をみると、身体障害者では66.6%、知的障害者では61.2%、精神障害者では76.5%、難病では75.2%と、精神障害者と難病が他の種別と比べて高くなっています。

0~17歳でみると、「知っている」が39.7%、「知らない」が58.8%と、「知らない」が19.1ポイント上回っています。



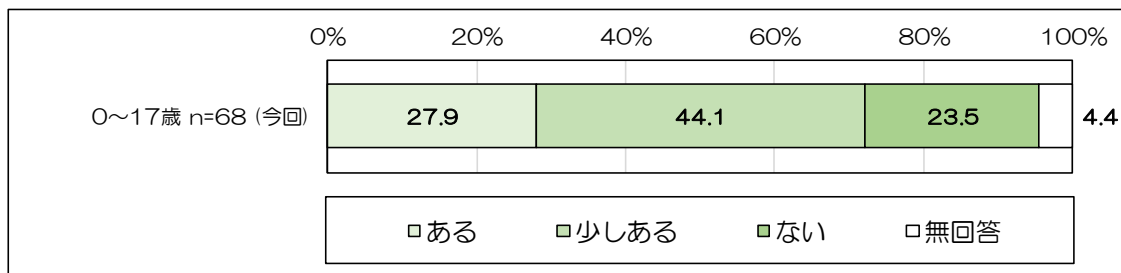
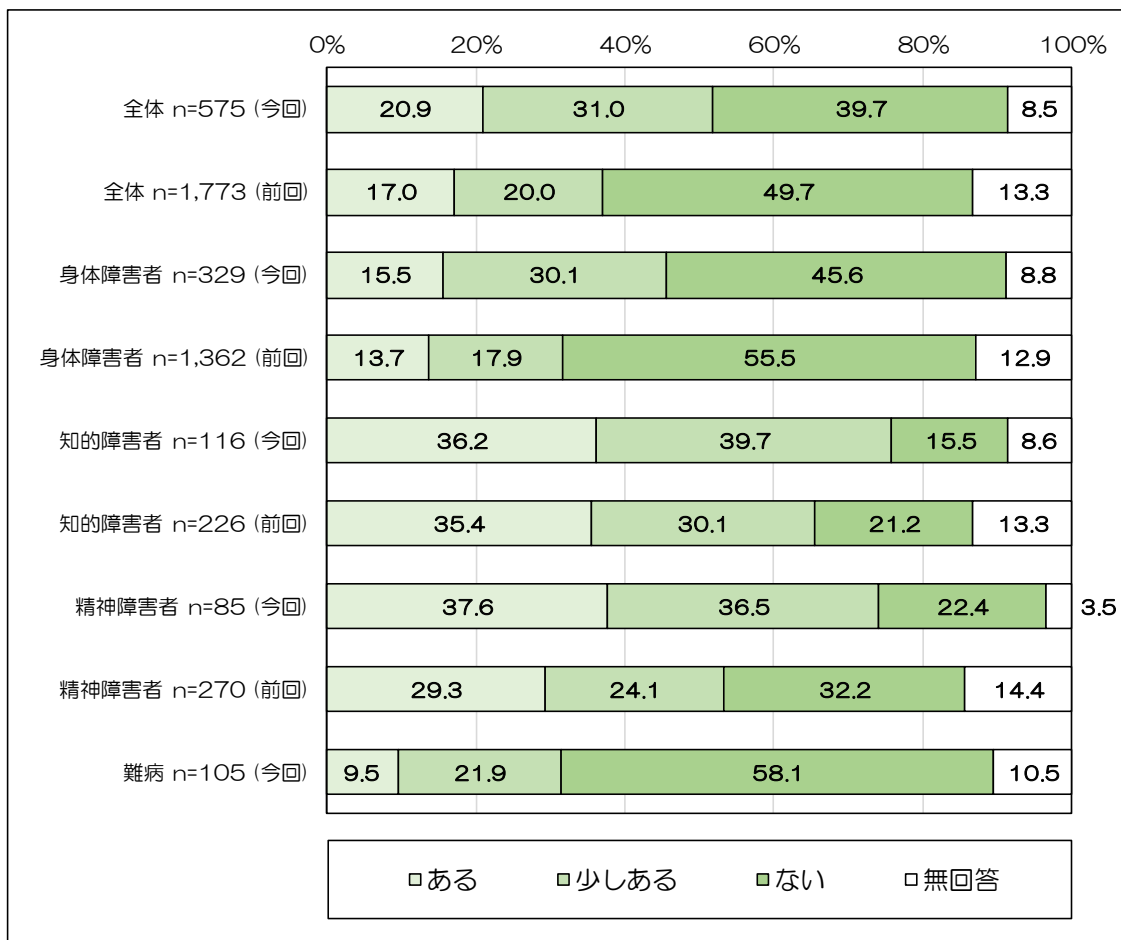
問24 あなたは、障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。
（〇は1つ）

障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがあるかについては、全体では「ない」が39.7%で最も高く、次いで「少しある」が31.0%、「ある」が20.9%となっています。

障害種別でみると、知的障害者と精神障害者で「ある」の割合が他の種別と比べて高くなっています。

前回調査との比較では、全体では「ある」が3.9ポイント、「少しある」が11.0ポイント増加し、「ない」が10.0ポイント減少しています。また、障害種別でみると、すべての種別で「ある」「少しある」の割合が前回調査を上回る結果となっています。

0～17歳でみると、「少しある」が44.1%で最も高く、次いで「ある」が27.9%となっています。「ある」を全体結果と比べると、7.0ポイント上回っています。



【問24で「ある」「少しある」と回答した方にお伺いします。】

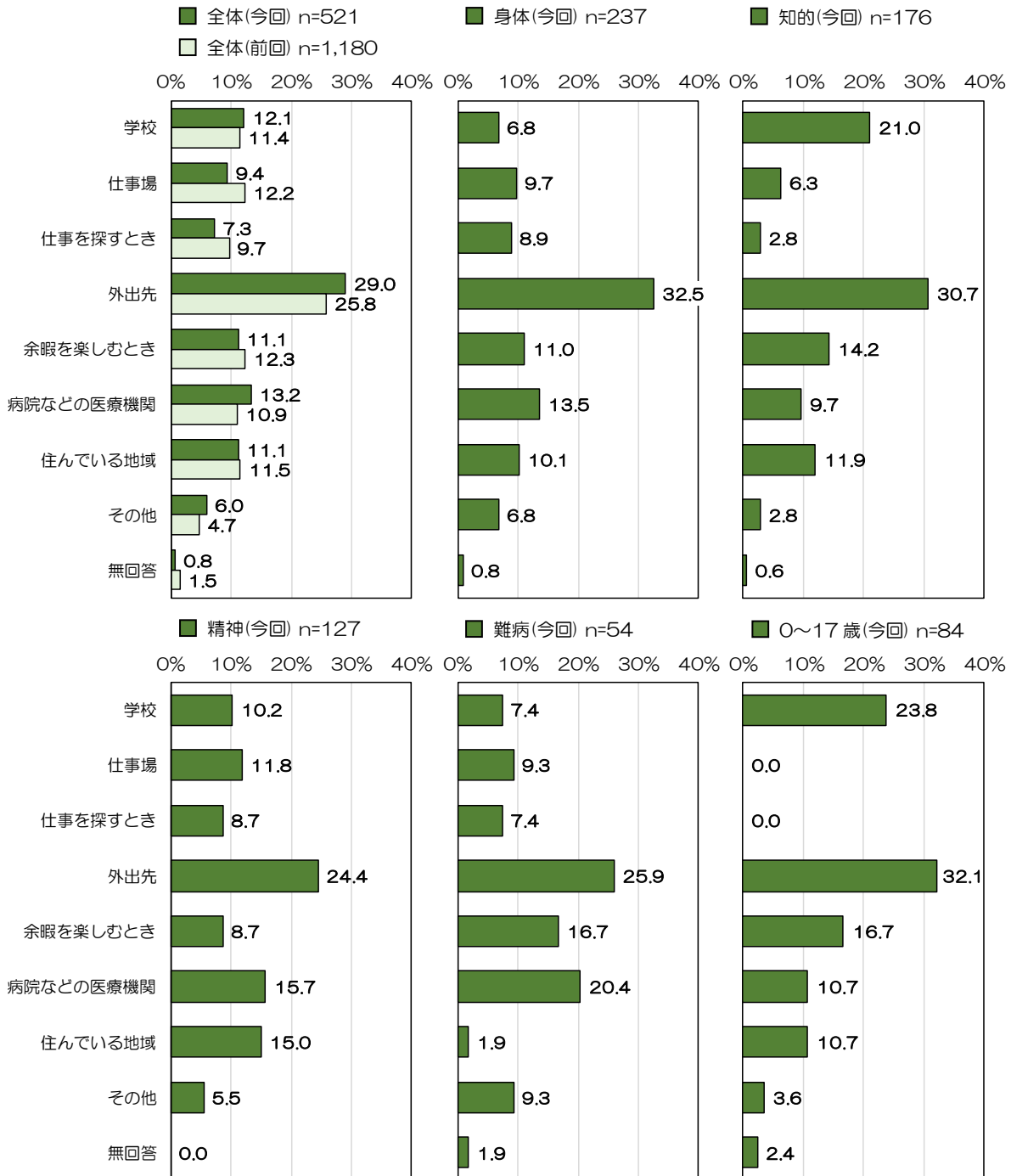
問24-1 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(〇はいくつでも)

差別や嫌な思いをした場所については、全体では「外出先」が29.0%で最も高く、次いで「病院などの医療機関」が13.2%、「学校」が12.1%となっています。

障害種別でみると、すべての種別で「外出先」が最も高い割合を示しています。また、知的障害者においては「学校」、難病においては「余暇を楽しむとき」「病院などの医療機関」の割合が高くなっています。

前回調査との比較では、全体では「外出先」が3.2ポイント増加しています。

0~17歳でみると、「外出先」が32.1%で最も高く、次いで「学校」が23.8%となっています。



※その他の回答(抜粋)

- ・電車・バスなど
- ・スーパー、薬局など
- ・介護施設
- ・銀行、公衆浴場
- ・保育園や幼稚園 など

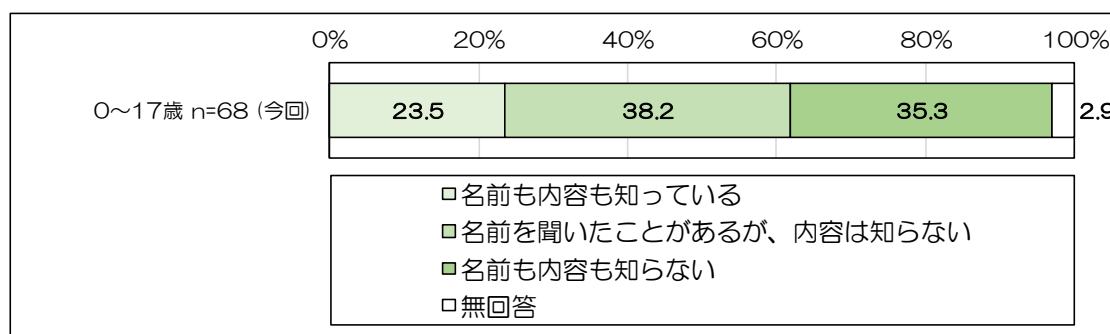
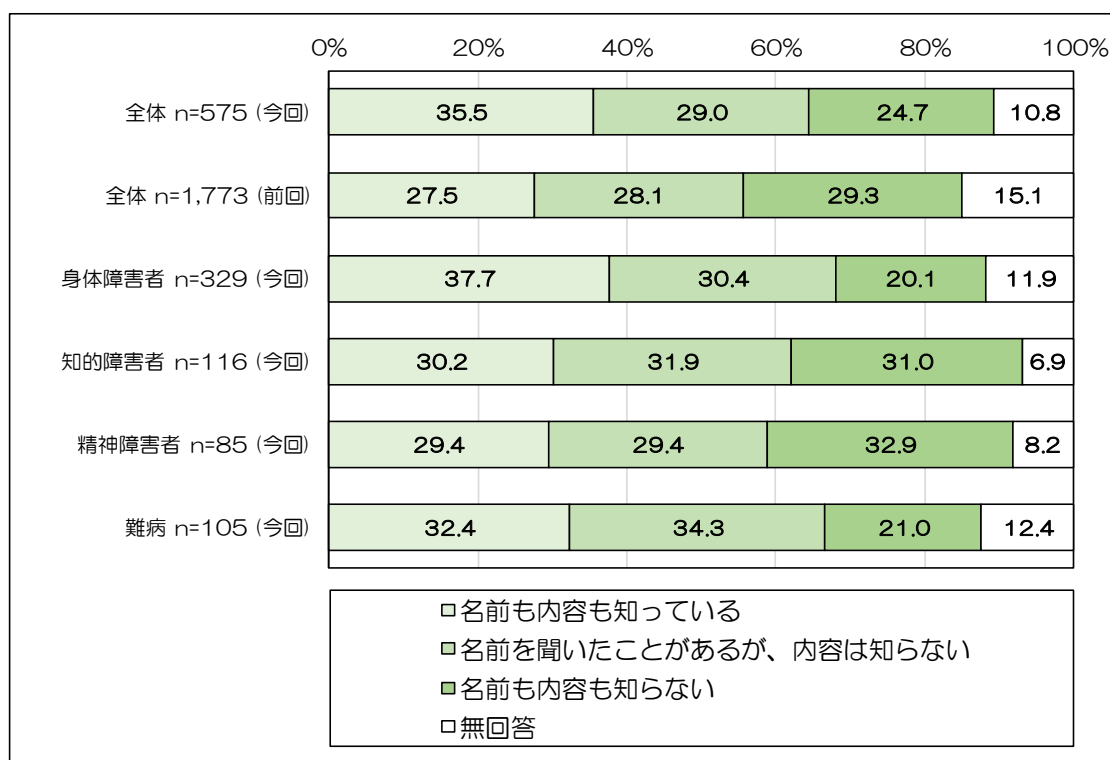
問25 あなたは、「成年後見制度」をご存じですか。(〇は1つ)

成年後見制度の認知度については、全体では「名前も内容も知っている」が35.5%で最も高く、次いで「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が29.0%、「名前も内容も知らない」が24.7%となっています。

障害種別で「名前も内容も知らない」の割合をみると、身体障害者では20.1%、知的障害者では31.0%、精神障害者では32.9%、難病では21.0%と、知的障害者と精神障害者が他の種別と比べて高くなっています。

前回調査との比較では、全体では「名前も内容も知っている」が8.0ポイント増加し、「名前も内容も知らない」が4.6ポイント減少しています。

0～17歳でみると、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が38.2%で最も高く、次いで「名前も内容も知らない」が35.3%、「名前も内容も知っている」が23.5%となっています。

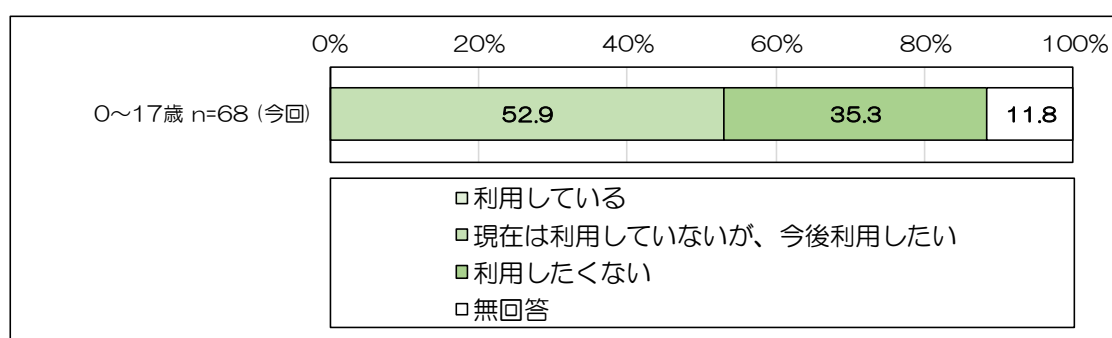
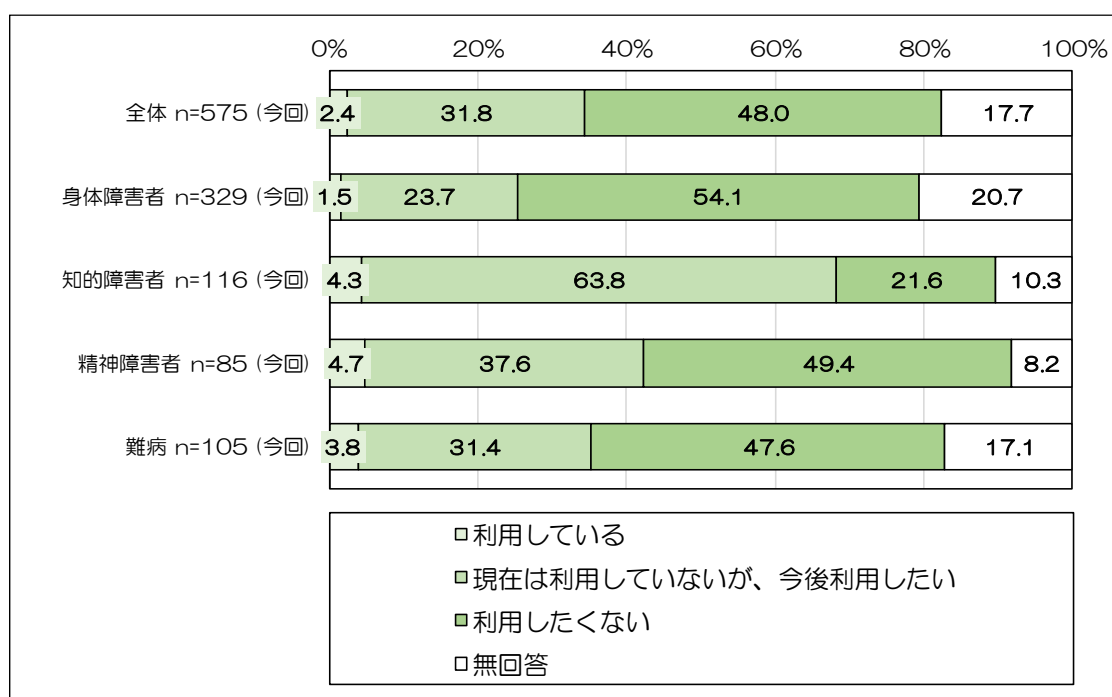


問26 「成年後見制度」の利用について（〇は1つ）

成年後見制度の利用については、全体では「利用したくない」が48.0%で最も高く、次いで「現在は利用していないが、今後利用したい」が31.8%、「利用している」が2.4%となっています。

障害種別で「現在は利用していないが、今後利用したい」の割合をみると、身体障害者では23.7%、知的障害者では63.8%、精神障害者では37.6%、難病では31.4%と、知的障害者が他の種別と比べて非常に高くなっています。

0～17歳でみると、「現在は利用していないが、今後利用したい」が52.9%で最も高く、次いで「利用したくない」が35.3%となっています。



8 災害時の避難等について

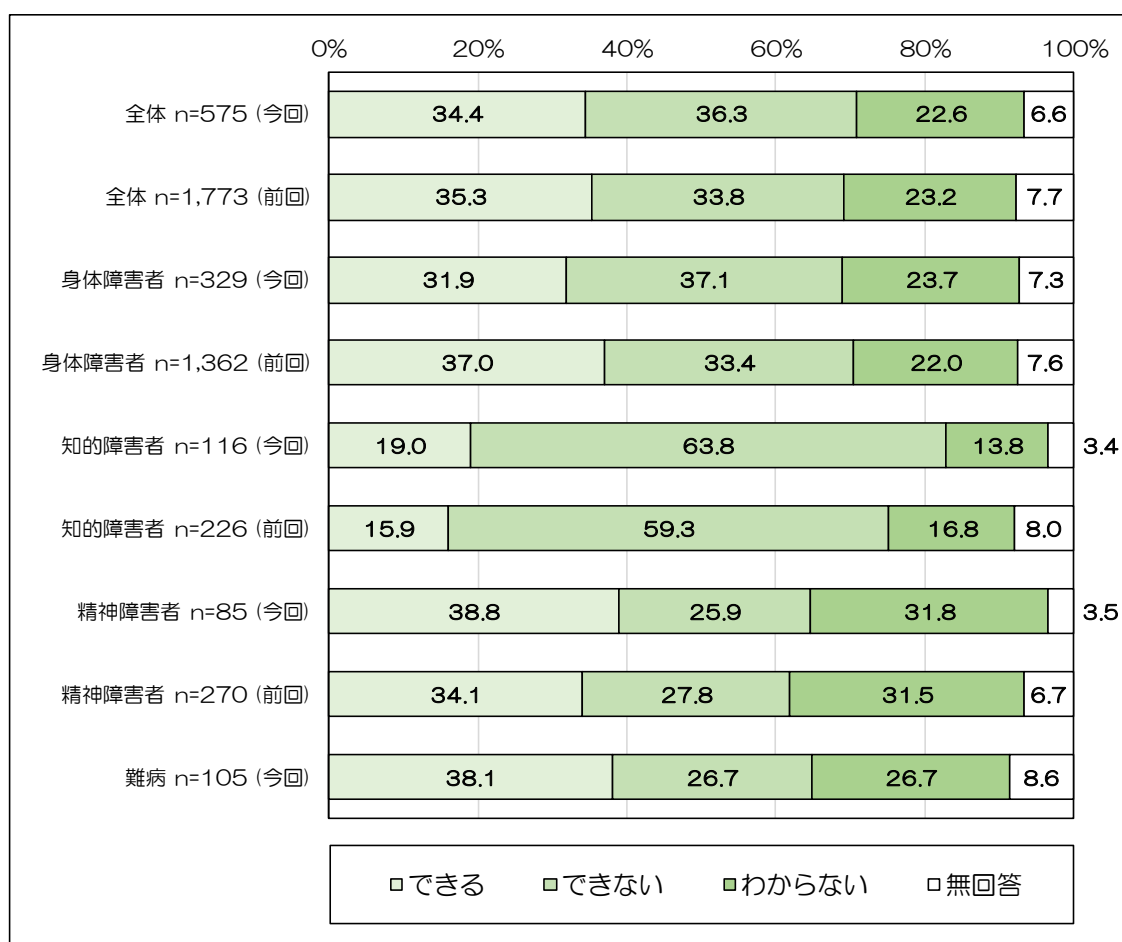
問27 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(〇は1つ)

火事や地震等の災害時に一人で避難できるかについては、全体では「できない」が36.3%で最も高く、次いで「できる」が34.4%、「わからない」が22.6%となっています。

障害種別で「できない」の割合をみると、身体障害者では37.1%、知的障害者では63.8%、精神障害者では25.9%、難病では26.7%と、知的障害者が他の種別と比べて非常に高くなっています。

前回調査との比較では、全体では「できない」が2.5ポイント増加しています。

0~17歳でみると、「できない」が63.2%で最も高く、次いで「わからない」が19.1%、「できる」が14.7%となっています。



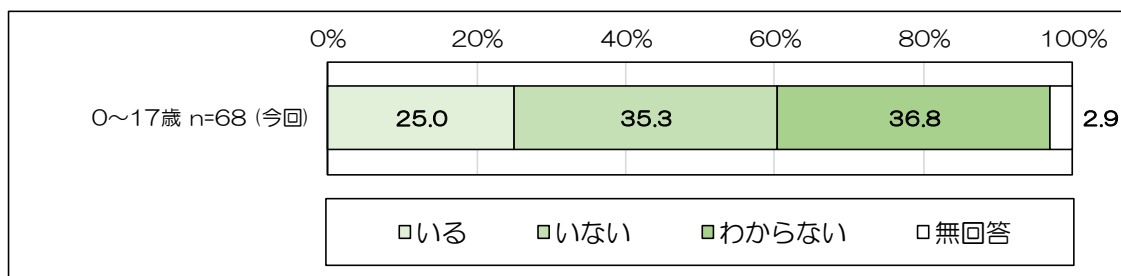
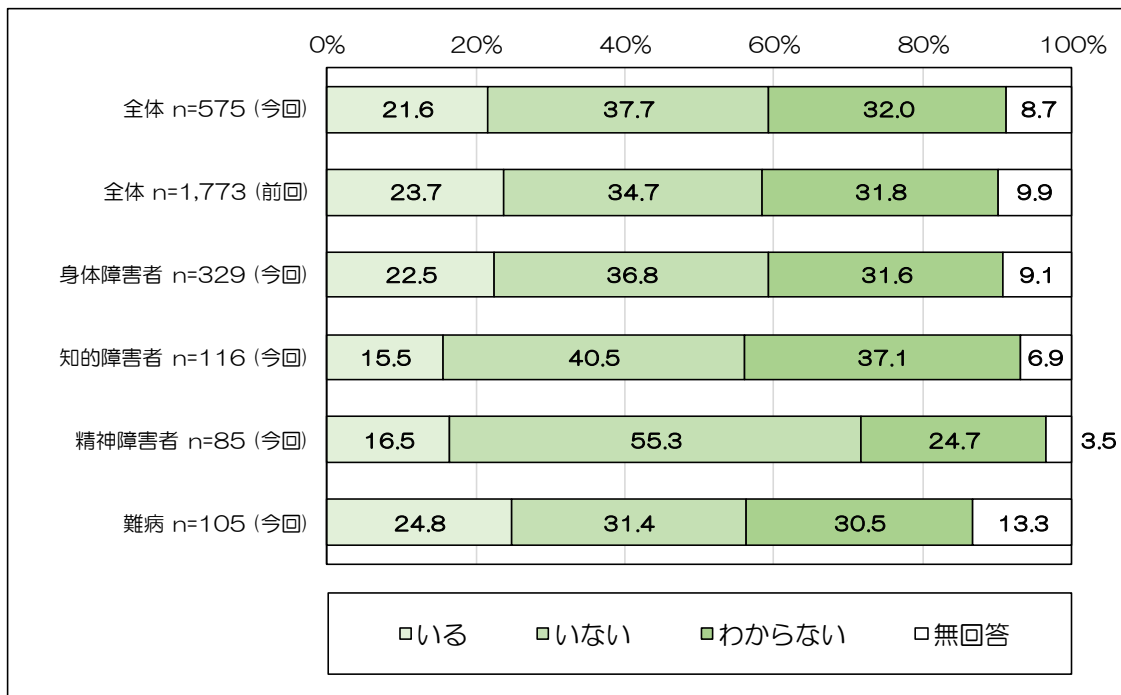
問28 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなただを助けてくれる人はいますか。
(〇は1つ)

家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所に助けてくれる人の有無については、全体では「いない」が37.7%で最も高く、次いで「わからない」が32.0%、「いる」が21.6%となっています。

障害種別で「いない」の割合をみると、身体障害者では36.8%、知的障害者では40.5%、精神障害者では55.3%、難病では31.4%と、精神障害者が他の種別と比べて高くなっています。

前回調査との比較では、全体では「いない」が3.0ポイント増加しています。

0~17歳でみると、「わからない」が36.8%で最も高く、次いで「いない」が35.3%、「いる」が25.0%となっています。

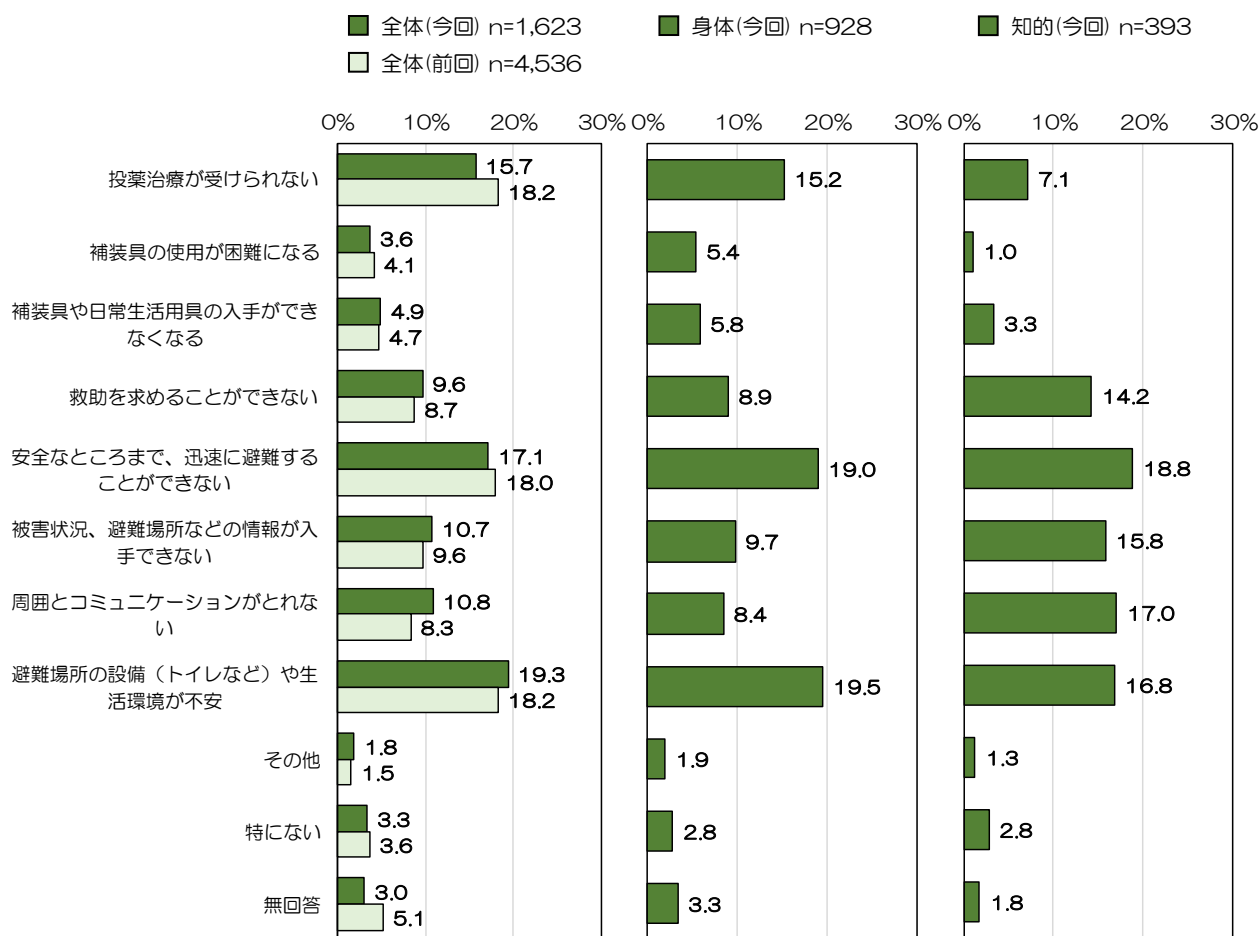


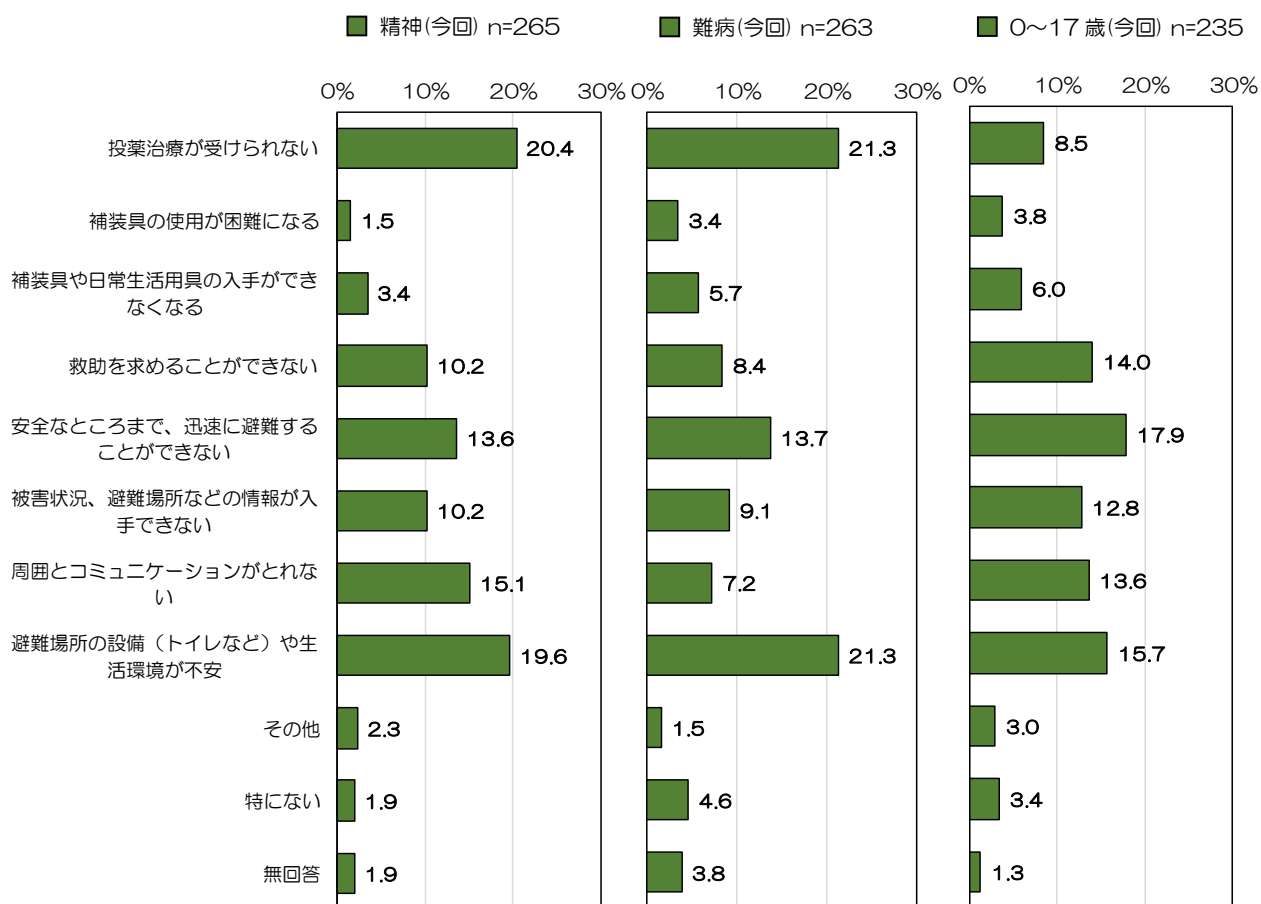
問29 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(〇はいくつでも)

火事や地震等の災害時に困ることについては、全体では「避難場所の設備や生活環境が不安」が19.3%で最も高く、次いで「安全なところまで、迅速に避難することができない」が17.1%、「投薬治療が受けられない」が15.7%となっています。

障害種別でみると、身体障害者では「避難場所の設備や生活環境が不安」が19.5%で最も高く、次いで「安全なところまで、迅速に避難することができない」が19.0%となっています。知的障害者では「安全なところまで、迅速に避難することができない」が18.8%で最も高く、次いで「周囲とコミュニケーションがとれない」が17.0%となっています。また、知的障害者においては「救助を求めることができない」「被害状況、避難場所などの情報が入手できない」「避難場所の設備や生活環境が不安」の割合も高くなっています。精神障害者では「投薬治療が受けられない」が20.4%で最も高く、次いで「避難場所の設備や生活環境が不安」が19.6%となっています。また、精神障害者においては「周囲とコミュニケーションがとれない」の割合も高くなっています。難病では「投薬治療が受けられない」「避難場所の設備や生活環境が不安」がともに21.3%で最も高く、次いで「安全なところまで、迅速に避難することができない」が13.7%となっています。

0~17歳でみると、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が17.9%で最も高く、次いで「避難場所の設備や生活環境が不安」が15.7%となっています。





※その他の回答(抜粋)

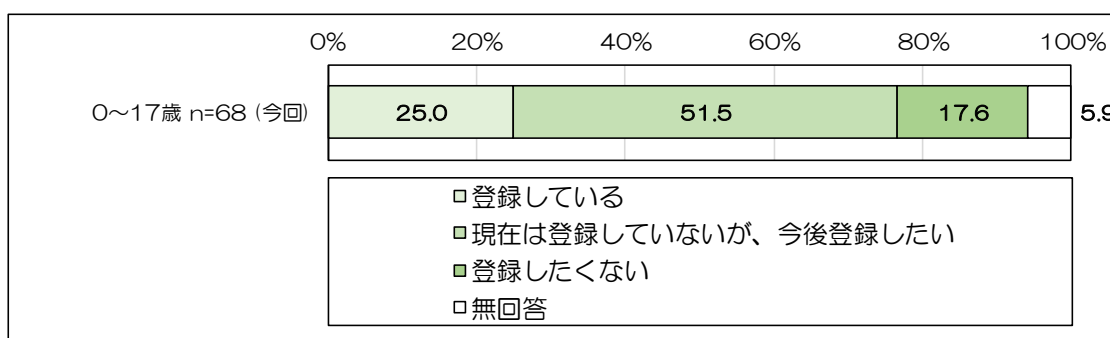
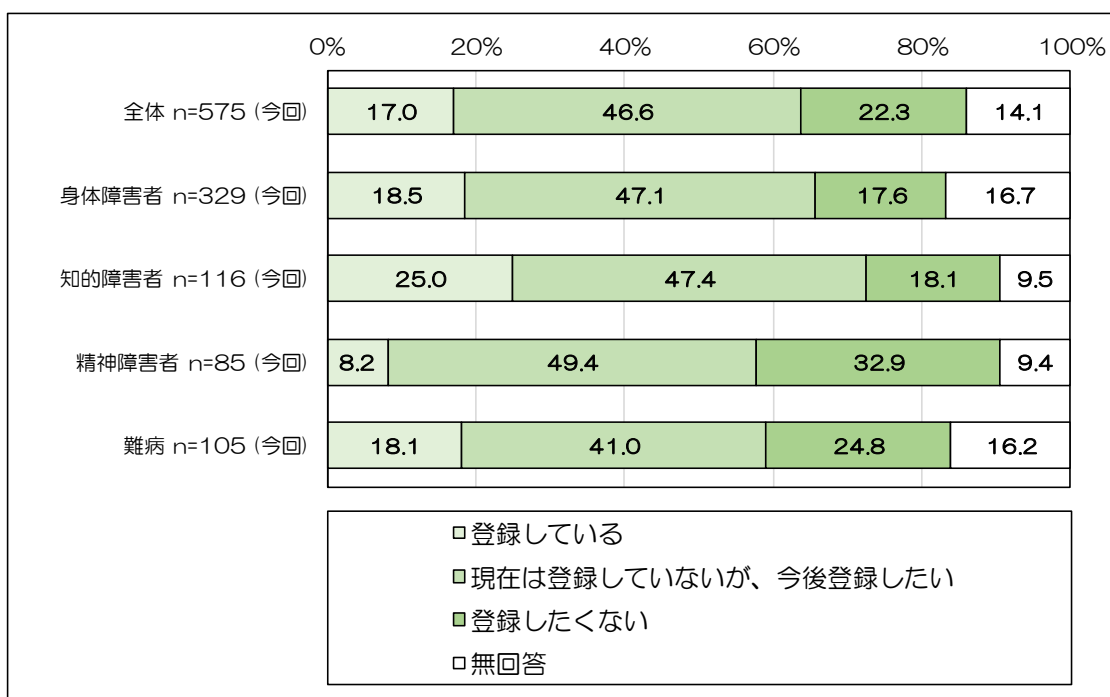
- 足の痺れや発作が出たら身動きが取れない
- 耳が遠いので気づくのが遅くなる
- 身体を支えるものが無くなってしまうと一人で行動できない
- 自分が生きようとする気持ちが無くなって、諦めてしまうこと
- 大勢のところで休めない、眠れない、かかりつけの病院へ送ってほしい
- 透析設備が必要
- 生活環境の変化やストレスによる症状の変化
- ショックなどで不安発作などが出てしまわないか不安
- パニックを起こすため、集団の中で生活できない
- 医療器具の電源が確保できるか不安
- 騒いでしまうことがあり、他の人に迷惑をかけてしまいそう
- 継続している治療が受けられない
- おむつの確保
- 必要な医療の物資の確保

問30 市が実施する避難行動要支援者名簿登録制度について（〇は1つ）

避難行動要支援者名簿登録制度については、全体では「現在は登録していないが、今後登録したい」が46.6%で最も高く、次いで「登録したくない」が22.3%、「登録している」が17.0%となっています。

障害種別でみると、すべての種別で「現在は登録していないが、今後登録したい」の割合が4割を超えています。

0～17歳でみると、「現在は登録していないが、今後登録したい」が51.5%で最も高く、次いで「登録している」が25.0%、「登録したくない」が17.6%となっています。



9 朝霞市のまちづくりについて

問31 障害のある人の住みやすいまちづくりについて、①から⑳のそれぞれについて、「満足度」「今後の重要性」の両方にお答え（番号に○）ください。

◆全体

満足度 「満足」

		1位	2位	3位	4位	5位
全体	今回 (n=575)	住宅の整備	障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	福祉サービスの利用手続きの簡素化・スピード化	地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実
		4.5%	4.3%	4.0%	3.3%	3.1% (同位)
	前々回 (n=1,183)	福祉サービスの利用手続きの簡素化・スピード化	障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実
		4.7% (同位)	4.7% (同位)	4.4%	4.2%	3.9%

満足度 「不満」

		1位	2位	3位	4位	5位
全体	今回 (n=575)	障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	働く場の確保	重度の障害のある人のための入所施設の整備	災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施	福祉サービスの利用手続きの簡素化・スピード化
		28.9%	24.2%	21.6%	20.9%	20.5%
	前々回 (n=1,183)	災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施	障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	働く場の確保	住宅の整備	押し売りなどの犯罪から障害のある人を守るための相談や支援の充実
		27.0%	25.6%	24.6%	21.8%	21.6%

今後の重要性 「重要」

		1位	2位	3位	4位	5位
全体	今回 (n=575)	障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	福祉サービスの利用手続きの簡素化・スピード化	障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施
		58.1%	54.6%	53.6%	52.9%	52.7%

◆全体 満足度

		0%	20%	40%	60%	80%	100%
①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	今回	4.3	60.5	13.0	22.1		
	前々回	4.4	41.9	12.8	40.9		
②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	今回	3.3	56.2	15.3	25.2		
	前々回	3.7	37.6	15.0	43.7		
③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	今回	3.1	58.1	12.2	26.6		
	前々回	3.9	37.3	12.3	46.5		
④重度の障害のある人のための入所施設の整備	今回	1.9	49.0	21.6	27.5		
	前々回	2.1	28.5	18.9	50.5		
⑤グループホームなど地域での生活の場の整備	今回	2.1	51.3	17.6	29.0		
	前々回						
⑥リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	今回	2.4	49.9	18.8	28.9		
	前々回	2.4	31.4	16.7	49.5		
⑦障害のある人のための教育の充実	今回	1.6	52.9	16.9	28.7		
	前々回	2.2	32.0	13.3	52.5		
⑧働く場の確保	今回	1.2	43.8	24.2	30.8		
	前々回	1.4	22.3	24.6	51.7		
⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備	今回	1.0	53.2	16.3	29.4		
	前々回	2.0	30.0	17.8	50.2		
⑩障害のある人とない人が交流する場の充実	今回	1.0	53.9	15.7	29.4		
	前々回						
⑪障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	今回	2.8	44.0	28.9	24.3		
	前々回	4.2	27.0	25.6	43.2		
⑫住宅の整備	今回	4.5	55.3	13.2	27.0		
	前々回	2.3	26.3	21.8	49.6		
⑬災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施	今回	1.4	48.5	20.9	29.2		
	前々回	1.6	22.3	27.0	49.1		
⑭押し売りなどの犯罪から障害のある人を守るための相談や支援の充実	今回	1.6	51.8	17.4	29.2		
	前々回	2.1	27.4	21.6	48.9		
⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成	今回	2.4	47.1	20.3	30.1		
	前々回	2.0	29.3	18.3	50.4		
⑯福祉サービスの利用手続きの簡素化・スピード化	今回	4.0	49.6	20.5	25.9		
	前々回	4.7	32.7	16.7	45.9		
⑰障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	今回	3.1	49.4	20.3	27.1		
	前々回	4.7	32.7	15.2	47.4		
⑱ボランティアの育成とネットワーク化	今回	1.6	55.8	12.2	30.4		
	前々回	1.4	33.3	14.5	50.8		
⑲障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組み	今回	2.3	54.6	13.9	29.2		
	前々回						
⑳保育園・幼稚園での統合保育の充実	今回	1.9	52.9	11.3	33.9		
	前々回						

□満足 □普通 □不満 □無回答

◆全体 今後の重要性

		0%	20%	40%	60%	80%	100%
①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	今回	52.9		19.3		0.5	27.3
②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	今回	47.1		23.1		1.0	28.7
③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	今回	50.4		19.7		0.7	29.2
④重度の障害のある人のための入所施設の整備	今回	52.5		17.7		1.2	28.5
⑤グループホームなど地域での生活の場の整備	今回	44.7		24.0		1.6	29.7
⑥リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	今回	48.9		20.5		0.9	29.7
⑦障害のある人のための教育の充実	今回	45.7		23.0		1.2	30.1
⑧働く場の確保	今回	51.5		17.2		1.6	29.7
⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備	今回	39.3		27.5		2.4	30.8
⑩障害のある人とない人が交流する場の充実	今回	36.7		29.4		4.5	29.4
⑪障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	今回	58.1		15.0		1.4	25.6
⑫住宅の整備	今回	45.2		23.3		1.7	29.7
⑬災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施	今回	52.7		17.2		1.4	28.7
⑭押し売りなどの犯罪から障害のある人を守るための相談や支援の充実	今回	47.5		21.2		2.3	29.0
⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成	今回	52.0		18.4		0.3	29.2
⑯福祉サービスの利用手続きの簡素化・スピード化	今回	54.6		17.0		0.9	27.5
⑰障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	今回	53.6		17.0		0.7	28.7
⑱ボランティアの育成とネットワーク化	今回	36.5		30.4		1.9	31.1
⑲障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組み	今回	49.0		21.2		0.9	28.9
⑳保育園、幼稚園での統合保育の充実	今回	35.7		28.2		2.8	33.4

□重要 □どちらでもない □重要ではない □無回答

◆身体障害者

満足度 「満足」

		1位	2位	3位	4位	5位
身体障害者	今回 (n=329)	住宅の整備	障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	福祉サービスの利用手続きの簡素化・スピード化	福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備
		6.4%	5.8%	4.3%	3.6%	3.3%

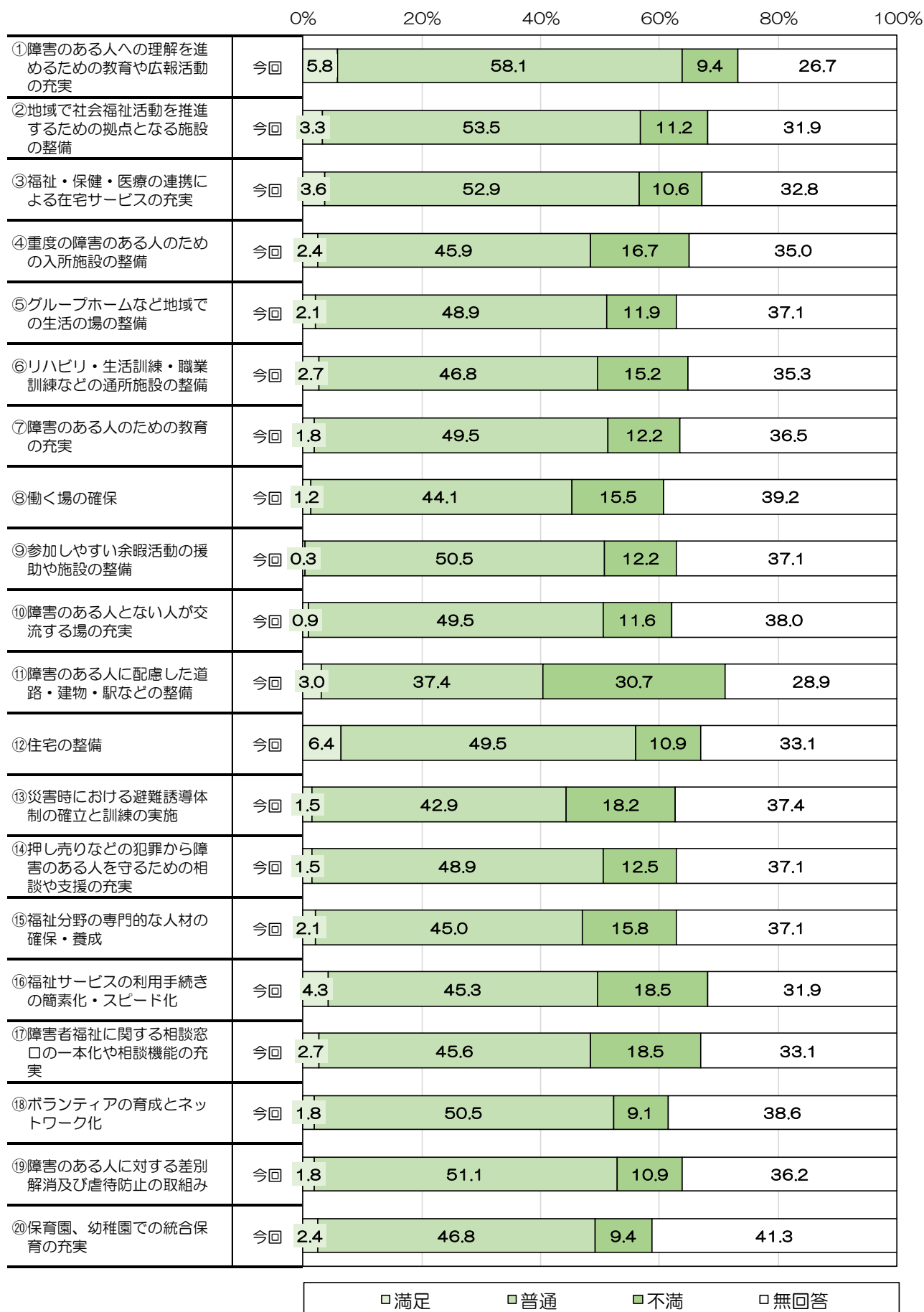
満足度 「不満」

		1位	2位	2位	4位	5位
身体障害者	今回 (n=329)	障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	福祉サービスの利用手続きの簡素化・スピード化	障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施	重度の障害のある人のための入所施設の整備
		30.7%	18.5% (同位)	18.5% (同位)	18.2%	16.7%

今後の重要性 「重要」

		1位	2位	3位	4位	5位
身体障害者	今回 (n=329)	障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	福祉サービスの利用手続きの簡素化・スピード化	障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施	福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実
		56.8%	52.0%	50.8%	48.9%	48.6%

◆身体障害者 満足度



◆身体障害者 今後の重要性

		0%	20%	40%	60%	80%	100%
①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	今回	48.0		17.9		0.3	33.7
②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	今回	43.2		21.0		0.9	35.0
③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	今回	48.6		16.4		0.6	34.3
④重度の障害のある人のための入所施設の整備	今回	48.3		16.4		0.3	35.0
⑤グループホームなど地域での生活の場の整備	今回	38.3		23.1		1.5	37.1
⑥リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	今回	46.2		17.3		0.9	35.6
⑦障害のある人のための教育の充実	今回	39.5		21.9		1.5	37.1
⑧働く場の確保	今回	40.1		20.4		1.8	37.7
⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備	今回	33.4		25.8		2.7	38.0
⑩障害のある人とない人が交流する場の充実	今回	31.9		26.4		5.8	35.9
⑪障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	今回	56.8		11.9		1.2	30.1
⑫住宅の整備	今回	42.6		19.1		1.8	36.5
⑬災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施	今回	48.9		15.2		0.9	35.0
⑭押し売りなどの犯罪から障害のある人を守るための相談や支援の充実	今回	41.0		20.7		2.4	35.9
⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成	今回	48.0		17.0		0.3	34.7
⑯福祉サービスの利用手続きの簡素化・スピード化	今回	52.0		14.0		0.6	33.4
⑰障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	今回	50.8		13.4		0.3	35.6
⑱ボランティアの育成とネットワーク化	今回	34.0		25.5		1.8	38.6
⑲障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組み	今回	43.5		20.4		1.2	35.0
⑳保育園、幼稚園での統合保育の充実	今回	31.0		24.9		3.3	40.7

□重要 □どちらでもない □重要ではない □無回答

◆知的障害者

満足度 「満足」

		1位	2位	3位	3位	3位	3位
知的障害者	今回 (n=116)	重度の障害のある人 のための入所施設の 整備	障害のある人 に対する差別 解消及び虐待 防止の取組み	地域で社会福 祉活動を推進 するための拠 点となる施設 の整備	福祉・保健・医 療の連携によ る在宅サービ スの充実	参加しやすい 余暇活動の援 助や施設の整 備	障害のある人 とない人が交 流する場の充 実
		3.4%	2.6%	1.7% (同位)	1.7% (同位)	1.7% (同位)	1.7% (同位)

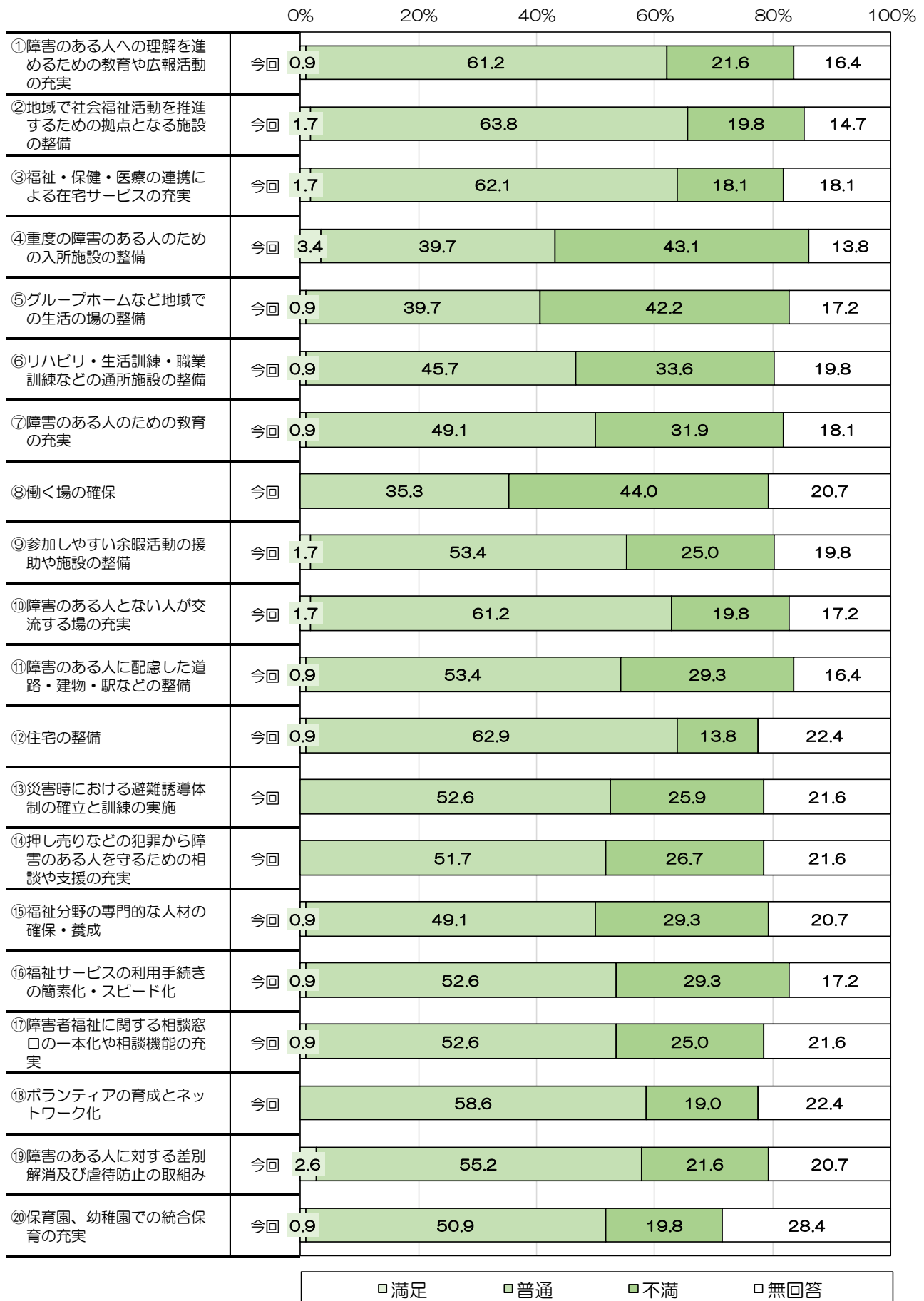
満足度 「不満」

		1位	2位	3位	4位	5位
知的障害者	今回 (n=116)	働く場の確保	重度の障害のある 人のための入所施 設の整備	グループホームな ど地域での生活の 場の整備	リハビリ・生活 訓練・職業訓練 などの通所施 設の整備	障害のある人 のための教育 の充実
		44.0%	43.1%	42.2%	33.6%	31.9%

今後の重要性 「重要」

		1位	2位	3位	4位	5位
知的障害者	今回 (n=116)	働く場の確保	重度の障害のある 人のための入 所施設の整備	グループホーム など地域での生 活の場の整備	福祉分野の専門 的な人材の確保・ 養成	障害のある人 のための教育の充 実
						障害のある人に 配慮した道路・建 物・駅などの整備
						障害者福祉に関 する相談窓口の 一本化や相談機 能の充実
		68.1%	64.7%	62.9%	60.3%	58.6% (同位)

◆知的障害者 満足度



◆知的障害者 今後の重要性

		0%	20%	40%	60%	80%	100%
①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	今回		55.2		23.3	0.9	20.7
②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	今回		53.4		25.9	0.9	19.8
③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	今回		51.7		25.9	0.9	21.6
④重度の障害のある人のための入所施設の整備	今回		64.7		14.7	2.6	18.1
⑤グループホームなど地域での生活の場の整備	今回		62.9		19.0	0.9	17.2
⑥リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	今回		57.8		21.6	0.9	19.8
⑦障害のある人のための教育の充実	今回		58.6		19.8	0.9	20.7
⑧働く場の確保	今回		68.1		12.1	0.9	19.0
⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備	今回		46.6		31.9	0.9	20.7
⑩障害のある人とない人が交流する場の充実	今回		37.1	41.4		1.7	19.8
⑪障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	今回		58.6		22.4	0.9	18.1
⑫住宅の整備	今回		41.4		37.1	0.9	20.7
⑬災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施	今回		55.2		22.4	1.7	20.7
⑭押し売りなどの犯罪から障害のある人を守るための相談や支援の充実	今回		51.7		26.7	1.7	19.8
⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成	今回		60.3		19.0	0.9	19.8
⑯福祉サービスの利用手続きの簡素化・スピード化	今回		57.8		21.6	0.9	19.8
⑰障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	今回		58.6		20.7	0.9	19.8
⑱ボランティアの育成とネットワーク化	今回		38.8		37.9	0.9	22.4
⑲障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組み	今回		55.2		23.3	0.9	20.7
⑳保育園、幼稚園での統合保育の充実	今回		38.8		33.6	1.7	25.9

□重要 □どちらでもない □重要ではない □無回答

◆精神障害者

満足度 「満足」

		1位	1位	3位	4位	5位
精神障害者	今回 (n=85)	福祉サービスの 利用手続きの簡 素化・スピード化	障害者福祉に関 する相談窓口の 一本化や相談機 能の充実	福祉分野の専門 的な人材の確保・ 養成	障害のある人に 配慮した道路・建 物・駅などの整備	地域で社会福祉 活動を推進する ための拠点とな る施設の整備 リハビリ・生活訓 練・職業訓練など の通所施設の整 備 障害のある人の ための教育の充 実 障害のある人に 対する差別解消 及び虐待防止の 取組み
		9.4% (同位)	9.4% (同位)	7.1%	5.9%	4.7% (同位)

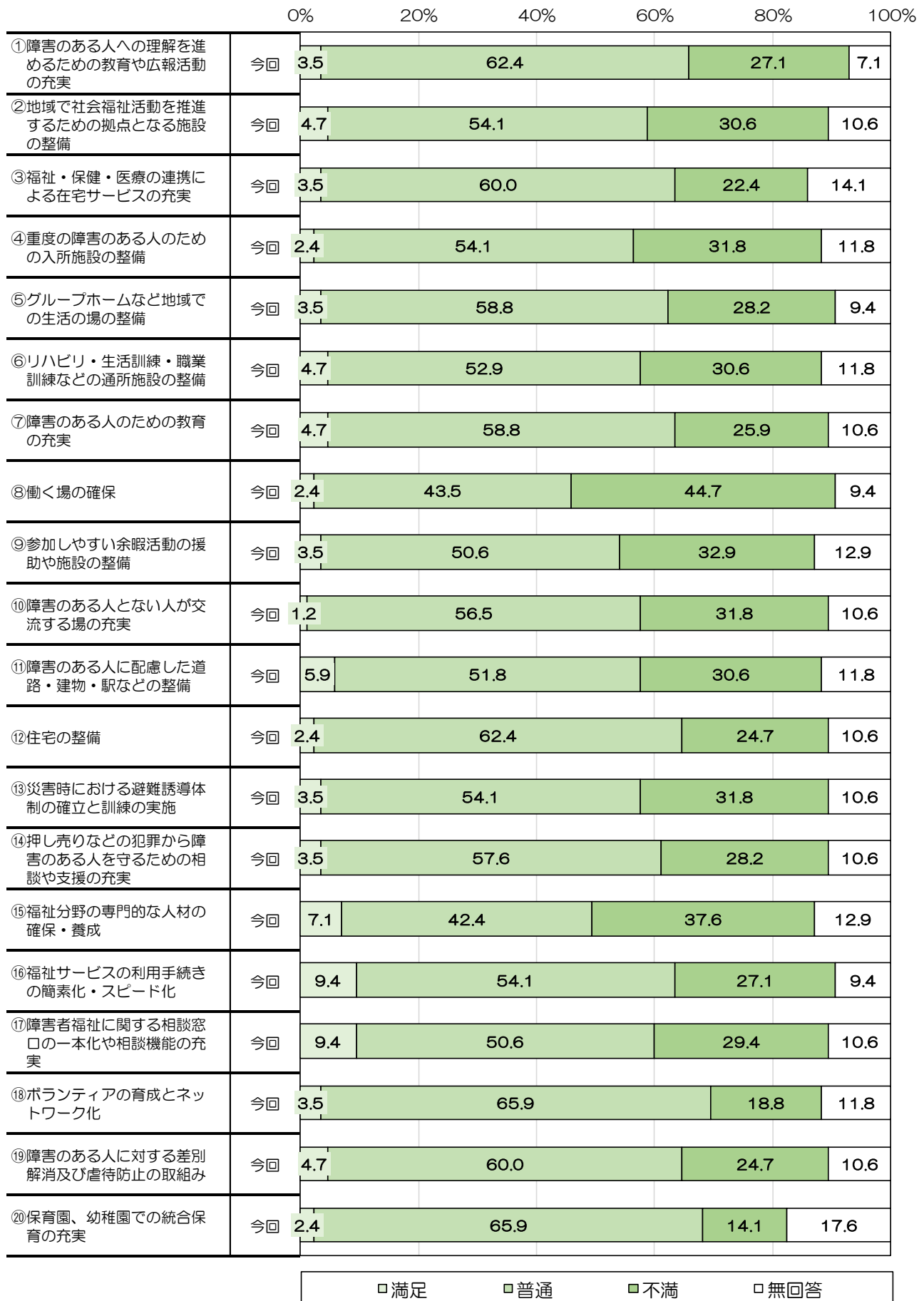
満足度 「不満」

		1位	2位	3位	4位	4位	4位
精神障害者	今回 (n=85)	働く場の確保	福祉分野の専 門的な人材の 確保・養成	参加しやすい 余暇活動の援 助や施設の整 備	重度の障害の ある人のため の入所施設の 整備	障害のある人 とない人が交 流する場の充 実	災害時におけ る避難誘導体 制の確立と訓 練の実施
		44.7%	37.6%	32.9%	31.8% (同位)	31.8% (同位)	31.8% (同位)

今後の重要性 「重要」

		1位	2位	2位	2位	5位
精神障害者	今回 (n=85)	働く場の確保	障害のある人へ の理解を進める ための教育や広 報活動の充実	福祉サービスの 利用手続きの簡 素化・スピード化	障害者福祉に関 する相談窓口の 一本化や相談機 能の充実	福祉分野の専門 的な人材の確保・ 養成
		69.4%	67.1% (同位)	67.1% (同位)	67.1% (同位)	64.7%

◆精神障害者 満足度



◆精神障害者 今後の重要性

		0%	20%	40%	60%	80%	100%
①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	今回	67.1			20.0	1.2	11.8
②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	今回	60.0			24.7		15.3
③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	今回	58.8			24.7	1.2	15.3
④重度の障害のある人のための入所施設の整備	今回	60.0			23.5	1.2	15.3
⑤グループホームなど地域での生活の場の整備	今回	52.9			29.4	2.4	15.3
⑥リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	今回	52.9			29.4	1.2	16.5
⑦障害のある人のための教育の充実	今回	55.3			28.2		16.5
⑧働く場の確保	今回	69.4			14.1	1.2	15.3
⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備	今回	52.9			28.2	2.4	16.5
⑩障害のある人とない人が交流する場の充実	今回	50.6			28.2	4.7	16.5
⑪障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	今回	61.2			21.2	1.2	16.5
⑫住宅の整備	今回	62.4			20.0	3.5	14.1
⑬災害時における避難誘導體制の確立と訓練の実施	今回	56.5			24.7	3.5	15.3
⑭押し売りなどの犯罪から障害のある人を守るための相談や支援の充実	今回	60.0			21.2	3.5	15.3
⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成	今回	64.7			18.8		16.5
⑯福祉サービスの利用手続きの簡素化・スピード化	今回	67.1			20.0	1.2	11.8
⑰障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	今回	67.1			21.2		11.8
⑱ボランティアの育成とネットワーク化	今回	48.2			35.3	2.4	14.1
⑲障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組み	今回	63.5			21.2		15.3
⑳保育園、幼稚園での統合保育の充実	今回	48.2			32.9	1.2	17.6

□重要
 □どちらでもない
 □重要ではない
 □無回答

◆難病

満足度 「満足」

		1位	2位	2位	2位	5位
難病	今回 (n=105)	障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	グループホームなど地域での生活の場の整備	住宅の整備	福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実
						働く場の確保
		4.8%	2.9% (同位)	2.9% (同位)	2.9% (同位)	1.9% (同位)

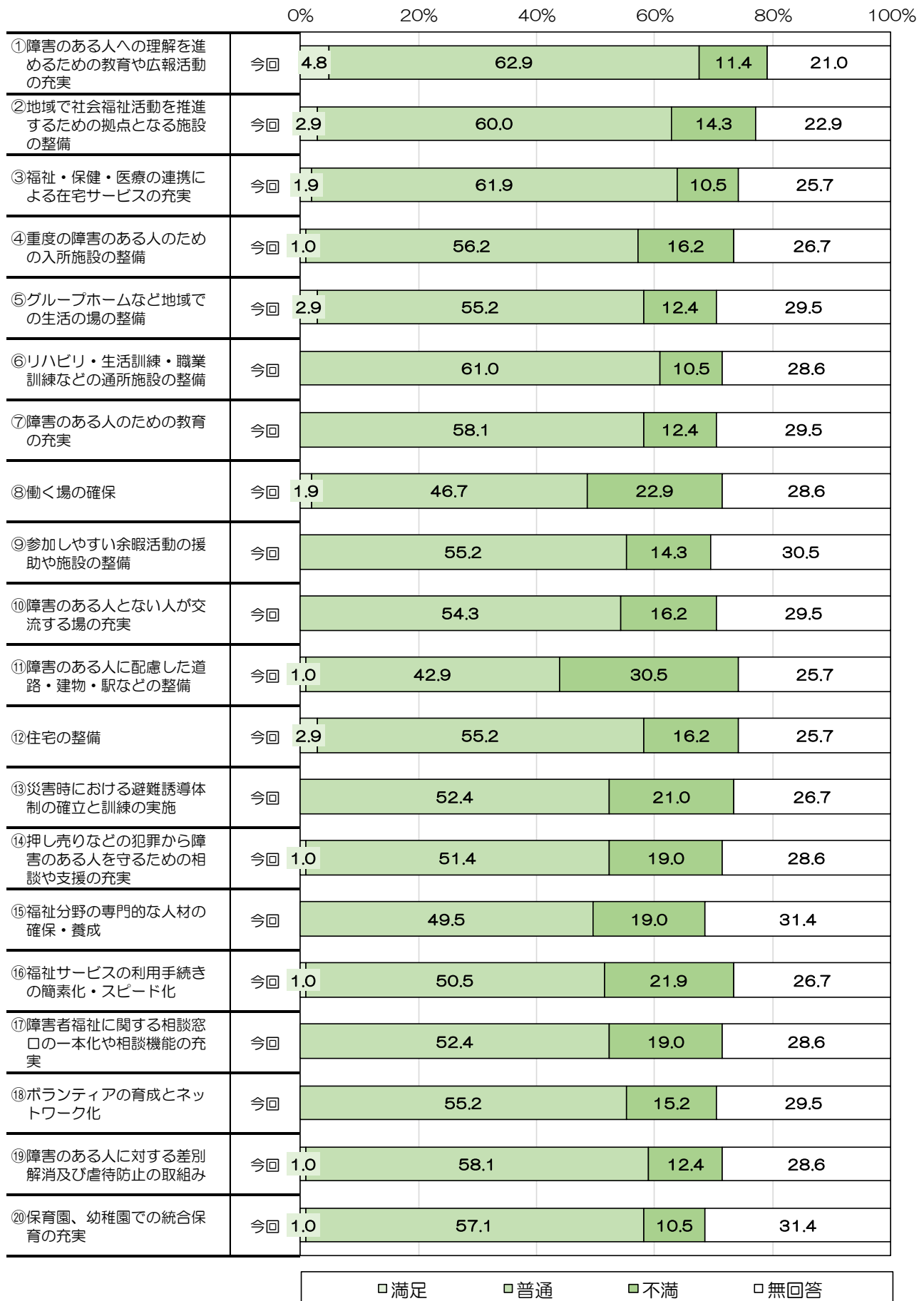
満足度 「不満」

		1位	2位	3位	4位	5位
難病	今回 (n=105)	障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	働く場の確保	福祉サービスの利用手続きの簡素化・スピード化	災害時における避難誘導體制の確立と訓練の実施	押し売りなどの犯罪から障害のある人を守るための相談や支援の充実
						福祉分野の専門的な人材の確保・養成
		30.5%	22.9%	21.9%	21.0%	19.0% (同位)

今後の重要性 「重要」

		1位	2位	3位	4位	5位
難病	今回 (n=105)	障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	災害時における避難誘導體制の確立と訓練の実施	福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	働く場の確保	障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実
						押し売りなどの犯罪から障害のある人を守るための相談や支援の充実
		64.8%	61.9%	56.2%	55.2%	53.3% (同位)

◆難病 満足度



◆難病 今後の重要性

		0%	20%	40%	60%	80%	100%
①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	今回	53.3		20.0		1.0	25.7
②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	今回	44.8		23.8		2.9	28.6
③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	今回	56.2		13.3			30.5
④重度の障害のある人のための入所施設の整備	今回	50.5		16.2		1.9	31.4
⑤グループホームなど地域での生活の場の整備	今回	43.8		22.9		1.9	31.4
⑥リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	今回	50.5		18.1			31.4
⑦障害のある人のための教育の充実	今回	42.9		22.9		1.9	32.4
⑧働く場の確保	今回	55.2		15.2		1.0	28.6
⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備	今回	43.8		23.8		1.9	30.5
⑩障害のある人とない人が交流する場の充実	今回	41.0		25.7		2.9	30.5
⑪障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	今回	64.8		6.7		2.9	25.7
⑫住宅の整備	今回	47.6		21.9		1.0	29.5
⑬災害時における避難誘導體制の確立と訓練の実施	今回	61.9		10.5		1.9	25.7
⑭押し売りなどの犯罪から障害のある人を守るための相談や支援の充実	今回	53.3		19.0		1.9	25.7
⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成	今回	50.5		21.0			28.6
⑯福祉サービスの利用手続きの簡素化・スピード化	今回	52.4		19.0		1.0	27.6
⑰障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	今回	51.4		20.0		1.9	26.7
⑱ボランティアの育成とネットワーク化	今回	34.3		33.3		2.9	29.5
⑲障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組み	今回	52.4		19.0		1.0	27.6
⑳保育園、幼稚園での統合保育の充実	今回	38.1		26.7		5.7	29.5

□重要 □どちらでもない □重要ではない □無回答

◆0～17歳

満足度 「満足」

		1位	1位	3位	3位	3位	3位
0 ～ 17 歳	今回 (n=68)	住宅の整備	保育園、幼稚園 での統合保育 の充実	参加しやすい 余暇活動の援 助や施設の整 備	障害のある人 とない人が交 流する場の充 実	押し売りなど の犯罪から障 害のある人を 守るための相 談や支援の充 実	障害のある人 に対する差別 解消及び虐待 防止の取組み
		2.9% (同位)	2.9% (同位)	1.5% (同位)	1.5% (同位)	1.5% (同位)	1.5% (同位)

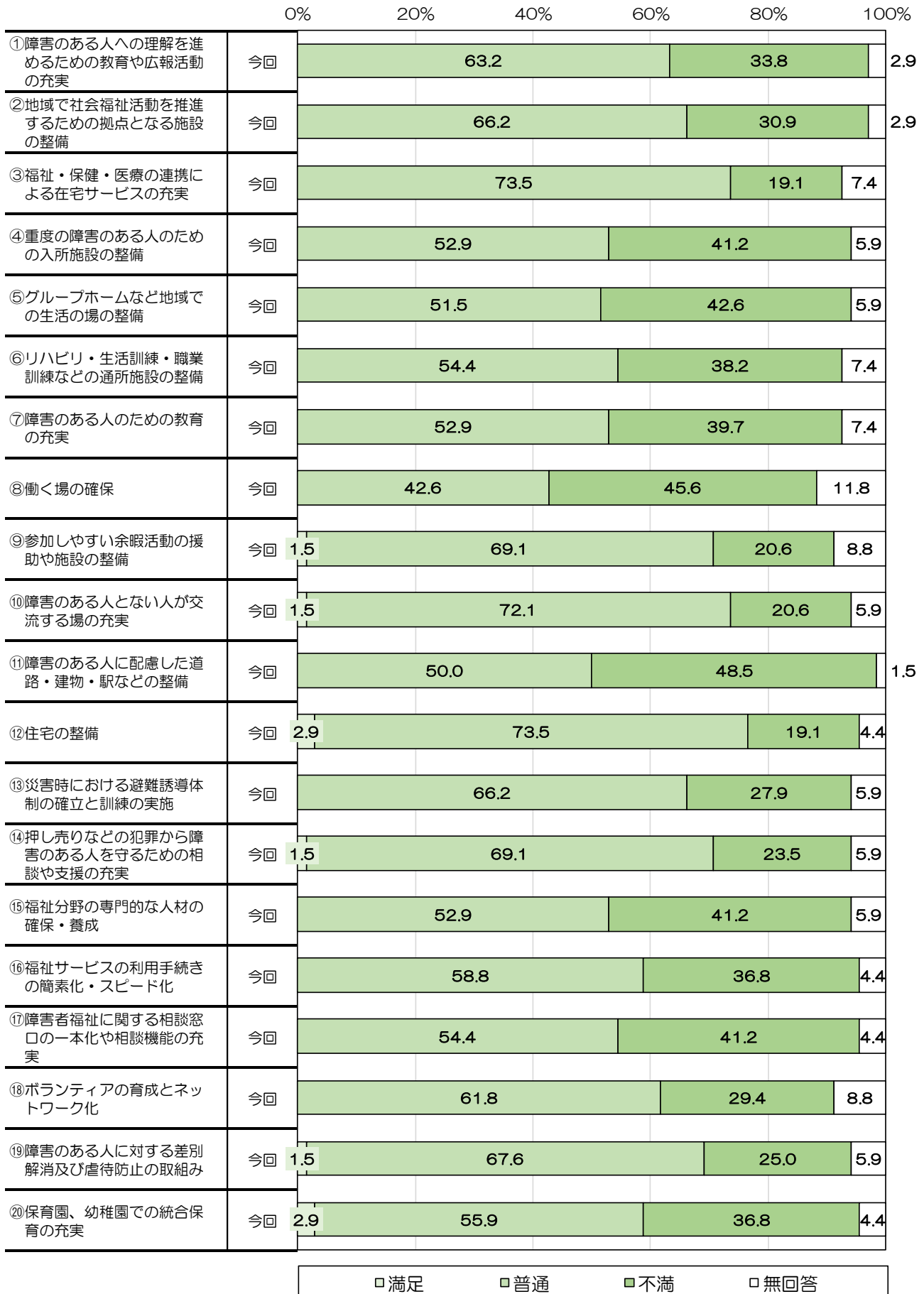
満足度 「不満」

		1位	2位	3位	4位	4位	4位
0 ～ 17 歳	今回 (n=68)	障害のある人 に配慮した道 路・建物・駅な どの整備	働く場の確保	グループホー ムなど地域で の生活の場の 整備	重度の障害の ある人のため の入所施設の 整備	福祉分野の専 門的な人材の 確保・養成	障害者福祉に 関する相談窓 口の一本化や 相談機能の充 実
		48.5%	45.6%	42.6%	41.2% (同位)	41.2% (同位)	41.2% (同位)

今後の重要性 「重要」

		1位	2位	3位	4位	4位
0 ～ 17 歳	今回 (n=68)	働く場の確保	福祉分野の専 門的な人材の確保・ 養成	障害のある人へ の理解を進める ための教育や広 報活動の充実	障害のある人に 配慮した道路・建 物・駅などの整備	福祉サービスの 利用手続きの簡 素化・スピード化
		80.9%	77.9%	75.0%	72.1% (同位)	72.1% (同位)

◆0～17歳 満足度



◆0～17歳 今後の重要性

		0%	20%	40%	60%	80%	100%		
①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	今回	75.0					20.6	4.4	
②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	今回	66.2					29.4	1.5	2.9
③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	今回	60.3					30.9	8.8	
④重度の障害のある人のための入所施設の整備	今回	69.1					22.1	1.5	7.4
⑤グループホームなど地域での生活の場の整備	今回	64.7					27.9	1.5	5.9
⑥リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	今回	64.7					27.9	7.4	
⑦障害のある人のための教育の充実	今回	69.1					22.1	8.8	
⑧働く場の確保	今回	80.9					10.3	8.8	
⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備	今回	48.5					42.6	1.5	7.4
⑩障害のある人とない人が交流する場の充実	今回	47.1					48.5	4.4	
⑪障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	今回	72.1					25.0		2.9
⑫住宅の整備	今回	47.1					42.6	1.5	8.8
⑬災害時における避難誘導體制の確立と訓練の実施	今回	67.6					23.5	1.5	7.4
⑭押し売りなどの犯罪から障害のある人を守るための相談や支援の充実	今回	58.8					33.8	7.4	
⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成	今回	77.9					16.2	5.9	
⑯福祉サービスの利用手続きの簡素化・スピード化	今回	72.1					20.6	1.5	5.9
⑰障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	今回	67.6					23.5	1.5	7.4
⑱ボランティアの育成とネットワーク化	今回	44.1					42.6	1.5	11.8
⑲障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組み	今回	70.6					22.1	7.4	
⑳保育園・幼稚園での統合保育の充実	今回	54.4					33.8	4.4	7.4

□重要 □どちらでもない □重要ではない □無回答

◆問31×問20今後の朝霞市での暮らし「はい」（設問間クロス集計）

「問31の障害者福祉施策への満足度・今後の重要性」と「問20で今後も朝霞市で“暮らし続けたい”と思っている方」との設問間クロス集計を行った結果をまとめたものが下表となります。

全体結果と比べると、大きな変化は見られませんが、満足度の「不満」において、『災害時における避難誘導體制の確立と訓練の実施』が全体結果では4位のところが3位へ、今後の重要性の「重要」においても、『災害時における避難誘導體制の確立と訓練の実施』が全体結果では5位のところが4位へと変化しています。

満足度 「満足」

		1位	2位	3位	4位	5位
はい	今回 (n=431)	住宅の整備	障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	福祉サービスの利用手続きの簡素化・スピード化	地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実
		5.6%	5.1%	4.6%	3.9%	3.7%

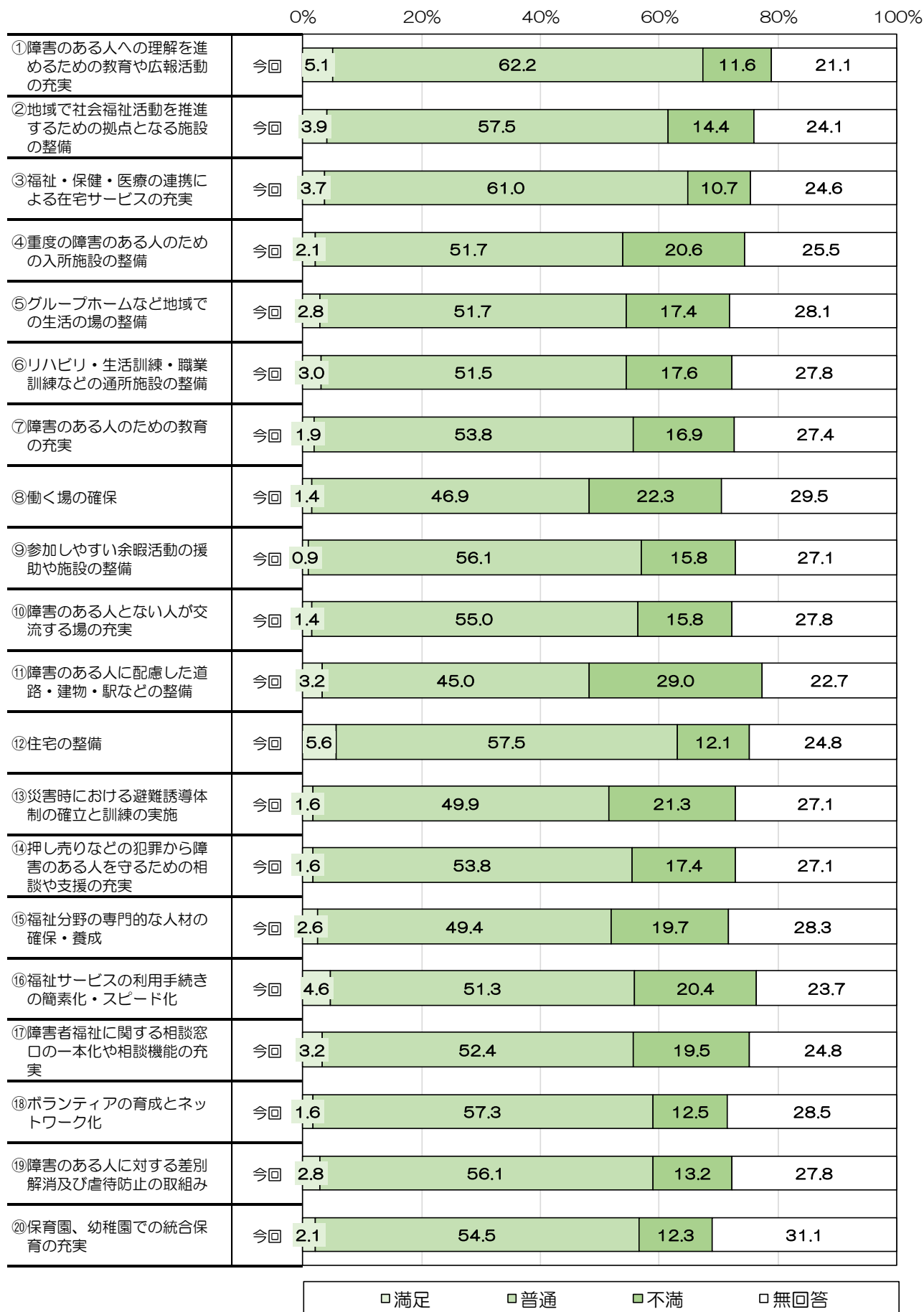
満足度 「不満」

		1位	2位	3位	4位	5位
はい	今回 (n=431)	障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	働く場の確保	災害時における避難誘導體制の確立と訓練の実施	重度の障害のある人のための入所施設の整備	福祉サービスの利用手続きの簡素化・スピード化
		29.0%	22.3%	21.3%	20.6%	20.4%

今後の重要性 「重要」

		1位	2位	3位	4位	4位
はい	今回 (n=431)	障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	福祉サービスの利用手続きの簡素化・スピード化	障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	災害時における避難誘導體制の確立と訓練の実施	福祉分野の専門的な人材の確保・養成
		61.0%	56.8%	56.1%	55.2%（同位）	55.2%（同位）

◆問20今後の朝霞市での暮らし「はい」 満足度



◆問20今後の朝霞市での暮らし「はい」 今後の重要性

		0%	20%	40%	60%	80%	100%
①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	今回	54.8			17.9	0.5	26.9
②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	今回	49.4			21.3	0.9	28.3
③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	今回	51.5			18.6	0.9	29.0
④重度の障害のある人のための入所施設の整備	今回	54.5			16.5	1.2	27.8
⑤グループホームなど地域での生活の場の整備	今回	46.9			21.6	1.9	29.7
⑥リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	今回	51.0			18.8	0.9	29.2
⑦障害のある人のための教育の充実	今回	47.8			21.1	1.6	29.5
⑧働く場の確保	今回	52.0			16.7	1.9	29.5
⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備	今回	41.8			25.5	2.3	30.4
⑩障害のある人とない人が交流する場の充実	今回	39.0			27.8	3.9	29.2
⑪障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	今回	61.0			12.8	1.2	25.1
⑫住宅の整備	今回	47.6			22.0	1.9	28.5
⑬災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施	今回	55.2			16.2	1.2	27.4
⑭押し売りなどの犯罪から障害のある人を守るための相談や支援の充実	今回	49.0			20.9	2.1	28.1
⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成	今回	55.2			17.2	0.5	27.1
⑯福祉サービスの利用手続きの簡素化・スピード化	今回	56.8			15.8	1.2	26.2
⑰障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	今回	56.1			14.8	0.9	28.1
⑱ボランティアの育成とネットワーク化	今回	39.4			28.3	2.3	29.9
⑲障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組み	今回	52.0			19.7	0.9	27.4
⑳保育園、幼稚園での統合保育の充実	今回	38.3			27.1	3.0	31.6

□重要 □どちらでもない □重要ではない □無回答

◆問31×問20今後の朝霞市での暮らし「いいえ」 (設問間クロス集計)

「問31の障害者福祉施策への満足度・今後の重要性」と「問20で今後、朝霞市では“暮らしたくない”と思っている方」との設問間クロス集計を行った結果をまとめたものが下表となります。

全体結果と比べると、満足度の「不満」において、全体結果では上位に挙げられていなかった項目は、『障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実』『障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実』『福祉分野の専門的な人材の確保・養成』『障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組み』となっています。

また、今後の重要性の「重要」において、全体結果では上位に挙げられていなかった項目は、『重度の障害のある人のための入所施設の整備』『働く場の確保』『住宅の整備』となっています。

ただし、「問20で今後、朝霞市では暮らしたくないと思っている方」は9人と、少ない母数のため、結果に偏りが出ている可能性があります。

満足度 「満足」

今後、朝霞市では暮らし続けたくないと思っている方は、すべての項目において「満足」と回答した方はいませんでした。

満足度 「不満」

		1位	2位	2位	4位	4位	4位	4位
いいえ	今回 (n=9)	働く場の確保	障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	福祉分野の専門的な人材の確保・養成	福祉サービスの利用手続きの簡素化・スピード化	障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組み
		66.7%	55.6% (同位)	55.6% (同位)	44.4% (同位)	44.4% (同位)	44.4% (同位)	44.4% (同位)

今後の重要性 「重要」

		1位	2位	2位	4位	4位	4位
いいえ	今回 (n=9)	障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	福祉サービスの利用手続きの簡素化・スピード化	障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	重度の障害のある人のための入所施設の整備	働く場の確保	住宅の整備
		77.8%	66.7% (同位)	66.7% (同位)	55.6% (同位)	55.6% (同位)	55.6% (同位)

◆問20今後の朝霞市での暮らし「いいえ」 満足度

		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	今回	44.4		55.6				
②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	今回	55.6			33.3		11.1	
③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	今回	55.6			33.3		11.1	
④重度の障害のある人のための入所施設の整備	今回	55.6			33.3		11.1	
⑤グループホームなど地域での生活の場の整備	今回	77.8					11.1	11.1
⑥リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	今回	77.8					11.1	11.1
⑦障害のある人のための教育の充実	今回	77.8					22.2	
⑧働く場の確保	今回	33.3		66.7				
⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備	今回	66.7				11.1	22.2	
⑩障害のある人とない人が交流する場の充実	今回	66.7				22.2		11.1
⑪障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	今回	44.4		44.4			11.1	
⑫住宅の整備	今回	66.7				33.3		
⑬災害時における避難誘導體制の確立と訓練の実施	今回	66.7				11.1	22.2	
⑭押し売りなどの犯罪から障害のある人を守るための相談や支援の充実	今回	55.6			33.3		11.1	
⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成	今回	33.3		44.4			22.2	
⑯福祉サービスの利用手続きの簡素化・スピード化	今回	44.4		44.4			11.1	
⑰障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	今回	44.4		55.6				
⑱ボランティアの育成とネットワーク化	今回	66.7				11.1	22.2	
⑲障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組み	今回	55.6			44.4			
⑳保育園、幼稚園での統合保育の充実	今回	66.7				33.3		

□満足 □普通 □不満 □無回答

◆問20今後の朝霞市での暮らし「いいえ」 今後の重要性

		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	今回	77.8					11.1	11.1
②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	今回	44.4		33.3		22.2		
③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	今回	44.4		33.3		22.2		
④重度の障害のある人のための入所施設の整備	今回	55.6			22.2		22.2	
⑤グループホームなど地域での生活の場の整備	今回	22.2	55.6			22.2		
⑥リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	今回	33.3		44.4		22.2		
⑦障害のある人のための教育の充実	今回	22.2	66.7				11.1	
⑧働く場の確保	今回	55.6			33.3		11.1	
⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備	今回	11.1	66.7			22.2		
⑩障害のある人とない人が交流する場の充実	今回	22.2	55.6			11.1	11.1	
⑪障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	今回	44.4		44.4			11.1	
⑫住宅の整備	今回	55.6			33.3		11.1	
⑬災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施	今回	22.2	44.4		33.3			
⑭押し売りなどの犯罪から障害のある人を守るための相談や支援の充実	今回	33.3		22.2	22.2	22.2		
⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成	今回	44.4		22.2		33.3		
⑯福祉サービスの利用手続きの簡素化・スピード化	今回	66.7			22.2		11.1	
⑰障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	今回	66.7			22.2		11.1	
⑱ボランティアの育成とネットワーク化	今回	77.8					22.2	
⑲障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組み	今回	44.4		44.4			11.1	
⑳保育園、幼稚園での統合保育の充実	今回	77.8					22.2	

□重要 □どちらでもない □重要ではない □無回答

第3章 自由記述のまとめ

アンケート調査の最後に、自由記述欄を設け、154人の方より貴重なご意見をいただきました。結果報告書では、同様のご意見を整理し、14項目に分類した上で、ご意見が多かった項目順に掲載しております。

今後、障害児福祉計画の策定を進めることも踏まえ、0～17歳の方からいただいたご意見につきましては、下線を引いております。

- ・0～17歳からのご意見：下線あり
- ・18歳以上からのご意見：下線なし

1 経済的な内容について

- ・障害のある人は、働くことが様々な意味で困難であり、収入が無い人もいる。配偶者や家族の金銭面での負担軽減のため、税金面や医療費等の支援をお願いします。
- ・生活保護を受けて生活しているため、日常生活における制約が多い。
- ・精神障害者に対する医療費返還制度を復活させてほしい。
- ・障害者入所施設の施設代が高額のため、入所を諦めている。
- ・家賃補助を増やしてほしい。
- ・以前と比べ、タクシー券、自動車燃料費の補助が削減されている。移動手段に対する削減は、障害のある人の買い物や通院、通学等を制限するものだと思う。交通費や燃料費が高騰するなか、逆行する政策はやめてほしい。
- ・適応障害により休職中だが、傷病手当のみ、家賃の支払いや社会保険料の支払いがあるため、切り詰めて生活している。休職期間中に食料等の援助が受けられると良い。
- ・難聴の人は、補聴器が高価で困る。
- ・公共交通機関やタクシー、飛行機など、移動手段に必要な利用料金を半額にしてほしい。
- ・障害のある人が暮らす家庭に対する減免等の支援を増やしてほしい。
- ・人工内耳装着の負担額を下げてください。

2 道路、施設のバリアフリー、交通機関の充実について

- 朝霞市内の循環バス（わくわく号）のルート拡大、運行時間を増やしてほしい。（同様の意見複数）
- 近くに商店街や病院がなく、どこへ行くにも交通が不便である。
- 自転車の運転マナーが悪く、危険を感じることが多い。
- 障害のある人の市内循環バスがあると良い。席を譲ってくれる人が少なく、何度か辛い思いをした。
- 市内循環バスの車内には「障害者の中には目に見えない内臓疾患の人もあります。」というシールが貼られているが、シールを貼るのであれば、もう少しわかりやすい位置や文字の大きさについて改善してほしい。
- 足が不自由な人、車いすで生活している人にとって、移動しにくい場所が見受けられる。幅の狭い歩道や段差、傾斜がある歩道など、改善を求めます。（18歳以上からも同様の意見複数）
- 朝霞台駅にエレベーターの設置をお願いします。

3 障害者施設の充実・設備・定員増などに関することについて

- 重度の知的障害があり、グループホームへの入所は厳しい状況です。新たな入所施設をつくる方向へはいかないのでしょうか。家の近くの施設に親が存命中に少しずつ慣らし、安心して預けられるようにしたいと思っています。
- リハビリが行えるデイケア施設やリハビリスタッフの充実をお願いします。
- 放課後等デイサービスで個別療育を受けられる施設を増やしてほしい。
- 障害者入所施設やショートステイの増設を望みます。（18歳以上からも同様の意見複数）
- 放課後等デイサービスに送迎サービスがほしい。
- 特別支援学校を卒業後、生活介護で受け入れ先があるかが心配です。また、通えたとしても、朝の受入れ時間は遅く、帰りは早いため、有料でも延長が可能なところはないか探してみましたが、可能という施設はありませんでした。このままでは仕事を辞めることも考えなくてはなりません。生活介護や福祉作業所に通う人たちが、終わった後に過ごせる場の充実を求めます。

4 「親亡き後」や「老老介護」、病気・医療に関することについて

- パーキンソン病は薬が効いていないときは一人で何もできません。ただ、薬が効いているときは障害のない人と同じ生活ができます。そのため、このアンケートに答えることが難しかったです。
- 私は 80 歳、妻が 64 歳で脳内出血のため左半身不随、介護は 365 日休み無しです。
- 親亡き後の生活の場、金銭面、通院等に対して不安です。将来、子どもが自立した生活を送れるサポートの充実をお願いします。(同様の意見複数)
- 私の病気の治療は近隣の病院ではできないため、月に 1 回、都内の大学病院に通院しています。近隣で大学病院と同等の治療が受けられないのは残念です。
- 悪性関節リウマチで難病指定を受けています。様々な治療のおかげで自分の足で歩け、仕事も続けていますが、治療の副作用により、様々な病気も併発したりします。今後も、自分でできることは精一杯頑張りたいと思います。
- 入院時、高次脳機能障害への理解が浅く、ただわがままな患者だと思われ、退院を促されたことがある。医療スタッフにも理解を浸透させてほしい。

5 市役所の手続き等に関することについて

- 申請書等の書類をホームページでダウンロードできるようにしてほしい。
- 出張所で申請手続き等を対応してもらえるとよい。(同様の意見複数)
- 書類受付後の決定までの期間が長い。
- 障害福祉課の相談場所について、配慮願いたい。職員が働く場所の目の前が相談場所であり、気が散り、職員の人にも見られている気がして恥ずかしい、相談ブースなどを設けてほしい。
- 対応してくれる方によって、質問に対する回答が違うことがあるため、質問に対する回答は統一してほしい。
- 更新手続きや各種手続きが多くて大変です。手続きを簡単にすることや自動更新等を考えてほしい。数か月や数年で、病気や体の状態が変わることはない。

6 障害福祉サービスの情報提供について

- 家族等がサービスの知識や情報を得る機会をつくってほしい。
- アンケートを通して初めて知ったサービスも多々あった。障害者である本人が知らないのはなぜか。自主的に情報を収集しないと知らない人も多いのではないかと感じた。(18歳以上からも同様の意見複数)
- 障害福祉サービスの案内や情報を届けてほしい。市役所のホームページでの情報を充実させてほしい。(18歳以上からも同様の意見複数)
- 別紙のサービス一覧や事業一覧を見ても、結局自分たちにどのようなサービスが必要なのかわかりません。具体例などを挙げて「こんな障害を持つ人が利用されているサービス」という紹介であればわかりやすくなると思います。例えば、「聞こえないなら…」「経管栄養が必要なら…」など、表現をオブラートに包まず、はっきりした表現で具体例を挙げたほうがわかりやすい。
- 福祉、保健、医療の連携とあるが、各機関が連携していると感じたことがない。障害福祉サービスの情報は自分で調べるか、親同士の口コミで知り、利用してきました。

7 教育、進路等について

- 障害がわかりにくい幼少期において、保育園や幼稚園では、障害への正しい理解のもと、教育をしてほしい。
- 幼稚園や保育園では、障害のない人と一緒に活動して、いろいろな刺激を受けながら成長していると実感できる日々から、小学校へ就学すると特別支援学級、特別支援学校を進められることにギャップを感じる。特別支援学級や特別支援学校には、障害のある人が集まるため、刺激も減り、成長が遅れることを心配している。また、おとなしい子は孤立しないか心配である。極力障害のない人との交流を増やしてほしい。
- 障害があっても通常学級へ通学し、障害のない人との交流が図れるよう、補助員の増員と補助ができる時間の拡充を求めます。障害のある人との交流を子どものうちから持つことは障害者理解のためには必須だと思います。
- 再来年、中学進学を控えているが、中学校の特別支援学級の授業内容はレベルが高すぎる一方、特別支援学校の授業内容のレベルは低い。相互の中間レベルの授業内容が受けられる場を提供してほしい。
- 就園、就学、就職といった場面で、どんな選択肢があるのか、考えるための情報がほしい。

8 障害者理解、交流について

- 障害のある人とない人との食事会を開いてほしい。月に1～2回レクリエーションをしてほしい。
- 高次脳機能障害など目には見えない障害を持つ人への理解が低い。
- 車いす体験やアイマスクを使った障害体験学習は行われているが、自閉症や知的障害については、特別支援学級が普及しているにもかかわらず、ということが困難なのか、どういう助けがありがたいのか、理解を進める教育が不十分だと思います。
- 「皆と遊びたいのに遊んでもらえない」「遊ぼうと言ってくれたから行ったのに、ボールをぶつけられる」と言って、学校から帰ってくる日もあります。今後は、子どもたちへ障害の理解が進むよう対策をお願いします。

9 障害福祉サービスについて

- 以前と比べると、障害福祉サービスは充実していると感じています。欲を言ったらきりがありませんし、人もお金も必要になります。障害福祉サービスは税金で賄われているため、有効的に障害のある一人ひとりに届くようお願いします。
- 週2回、計2時間、ヘルパーに来ていただいています。時間を長くしてほしい。1回1時間では無理があります。
- 移動支援が使えないため、困っています。
- 少しずつ放課後等デイサービスは増えていますが、小学校へ進学してからの訓練、リハビリの場所が少なくて困っています。

10 各種障害に関することについて

- モヤモヤ病で手足のしびれの発作や記憶力の低下があります。施設やショッピングモールでは、「メモをしてはいけない」と禁止されている場所があります。以前、メモをしていると注意されたり、変な人の扱いをされたりと、嫌な思いをすることが多いです。難病のある人には、病名と発作などの症状が書かれた札などを作り、配布して頂けるとありがたいです。
- 障害を持つとできることとできないことがあり、私はできないことは極力無視して、できることへ集中しています。
- 発語は全くないため、意思があるのかもわからない。ただし、日常生活では好きなものはやらなければ気が済まないようで、周囲が困ることがある。
- 難病であっても周囲にわかるよう「ハートマークプラス」の拡充などを望みます。

11 就労について

- 障害福祉課とハローワークの連携不足を感じる。
- 娘の学校卒業後の進路は、本人なりの生活をする場所を考えていましたが、娘の様子を見て、考え方が変わりました。療育手帳判定[Ⓐ]で身辺自立も完全ではなく、コミュニケーションも極めて限られています。お仕事をするという意識をはっきり持っており、曜日ごとの予定や仕事内容も認識して、モチベーションを持って、地域活動支援センターで働いています。娘の力を正しく評価してこなかった自分が恥ずかしくなるほどでした。
- 知的障害を持って企業で働いているが、様々な情報の選択ができないため、犯罪等に巻き込まれないか心配です。

1 2 権利擁護について

- ・介護老人保健施設に入所している母ですが、明け方にトイレに行きたいとヘルパーに申し出たが、1時間ぐらい待たされたため、漏らしてしまったそうである。別のヘルパーに「なんで早く言わなかったの」と言われたうえに、「認知症が始まっているのでは？」と言われたそうである。高齢者でも心はあるので、傷つけないような対応をお願いするとともに、スタッフの育成を希望します。
- ・私達抜きで私達の事を決めないでほしい。総会時にもらった記事をつづります。『「安心、安全」の陰に潜むもの。「安全」の反対って何だろう？「危険」だろうか？精神保健福祉法の改定が行われようとしている。相模原の障害者殺傷事件をうけてのものだ。犯人は責任能力があり、病気があり、病気が犯罪の原因ではないとされているのに、この法案が通れば措置入院患者の退院後の支援という名の下、監視が強化されることになる。すべての措置入院患者の退院後支援計画が作られ、支援会議には警察が入り、通院は義務付けられ、他市へ引っ越した場合、これまでの情報を引越し先の自治体へ知らせる事になる。周囲の不安をあまり、安全の為に管理を強め、その人の自由、権利、尊厳を奪っていく。「安全」の反対は「自由、権利、尊厳」だと思う。精神科病院で身体拘束、隔離数ともに一万人を超えた。10年前の2倍を超える。転倒防止のためや患者さんの安全の為に、身体拘束や保護室を使って隔離を行うという。ある高齢者の病院では、リスク覚悟の上で、隔離、拘束をやめた。大変ではあるが、患者に笑顔が戻り、スタッフもやりがいを感じ、いきいきした表情に変わったという。「安全」の反対は「自由、やりがい、いきいきした表情」といえないだろうか。』
- ・障害のある子どもがいると「育て方が悪い」と言われたことがある。また、学校の体育祭では特別支援学級で色分けされているため憂うつ。差別されることで、自信が持てず、家のなかに居るほうが楽だと言っている。

1 3 災害時への対応等について

- ・災害時における医療のバックアップ体制の検討をお願いします。
- ・個人向けマンションで生活しているが、室内、廊下、外階段すべてに段差があり、避難するときには苦勞が予想されます。

1 4 その他

- ・アンケートの質問も多く、回答するのが大変だった。(同様の意見複数)
- ・中学生未満の児童に何が聞きたいのか、理解できなかった。

第5次朝霞市障害者プラン及び第5期朝霞市障害福祉計画
策定のための
障害福祉に関するアンケート
【平成29年6月実施】
結果報告書

平成29年8月発行

発行：朝霞市

編集：福祉部障害福祉課

〒351-8501 埼玉県朝霞市本町1-1-1

電話 (048) 463-1111 (代表)

FAX (048) 463-1025

URL <http://www.city.asaka.lg.jp>